# 花巻市 子ども・子育て支援事業 ニーズ調査結果報告書

# <u>目次</u>

第 1	章 調査実施の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の設計	1
_•	 (1)調査票の種類と調査対象者等	
3.	調査の実施方法と配布・回収状況	2
	(1)調査時期と調査方法	
	(2) 調査の配布・回収状況	2
4.	報告書の見方について	2
	(1) 年齢・学年の定義	2
	(2) 電算処理の注意点	2
5.	調査対象者の属性・家族状況	3
	(1) 就学前児童の属性	3
	(2) 就学児童の属性	3
	(3) 居住地域の状況	4
	(4) 調査回答者の状況と配偶者有無	5
6.	利用できる子育て支援サービスの種類	6
第2	<sup>)章 子育て家庭を取り巻く環境</sup>	8
1.	子育ての環境について	8
	(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	8
	(2) 子育てに関する相談や支援事業の状況	11
2.	保護者の就労状況	13
	(1)母親の就労状況	13
	(2) 父親の就労状況	19
第3	『章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	24
1.	平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	24
	(1) 平日の定期的な教育・保育事業(全体)	24
	(2)幼稚園	28
	(3) 幼稚園の預かり保育	31
	(4)認可保育所	34
	(5) 認定こども園	37
	(6) 小規模な保育施設	40

(8)事業所内保育施設	43
(9) 自治体の認証・認定保育施設	46
(10)その他認可外の保育施設	49
(11)居宅訪問型保育	51
(12) ファミリー・サポート・センター	52
(13)児童発達支援センター等	53
(14) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由	56
(15) 休日の教育・保育事業の利用意向	58
(16) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	61
2. 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向	69
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について	69
(2) 不定期の一時保育の利用について	71
(3) 宿泊を伴う一時保育の利用について	81
3. 放課後の過ごし方について	85
(1) 平日の放課後の過ごし方について	85
(2) 土曜の学童クラブ利用について	93
(3) 日曜・祝日の学童クラブの利用について	94
(4) 長期休暇期間中の学童クラブ利用について	95
(5) 放課後の居場所について	97
4. 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について	98
第4章 育児休業制度の利用状況	100
1. 育児休業制度の利用状況	100
(1)育児休業の取得	100
(2) 育児休業に関する制度	102
(3)育児休業後の対処	103
(4)短時間勤務制度	106
第5章 花巻市の子育て支援事業について	108
1. 障がい児のサービスについて	108
(1)就学前	
	109
(2)就学時	
<ul><li>(2) 就学時</li><li>2. 地域の子育て支援の環境や支援への満足度</li></ul>	110
2. 地域の子育て支援の環境や支援への満足度	110
2. 地域の子育て支援の環境や支援への満足度	110 111
2. 地域の子育て支援の環境や支援への満足度         (1) 共通         資料編 調査に使用したニーズ調査票	110 111 111

# 第1章 調査実施の概要

#### 1. 調査の目的

平成24年8月に、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現に寄与することを目的とする「子ども・子育て支援法」が成立し、平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」が施行されました。

新しい制度では、これまで以上に安心して子どもを生み育てられる環境を整備していくために「質の高い幼児期の学校教育・保育の一体的な提供」や「地域における子育て支援の充実」「保育の量的拡大」を図る必要があることから、幼児期の学校教育や保育、子育て支援などに関するニーズを把握し、適切なサービスの確保を行うことを目的とした事業計画の策定が自治体に義務化されました。

そのため、花巻市においても他自治体と同様に、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育ての意義を踏まえて、5年間の事業計画を作成することになり、現行計画の計画期間が平成31(2019)年度までとなっています。次期計画(計画期間2020年度~2024年度)の策定にあたり、必要な情報を得るため、子育て家庭ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て支援における課題を整理することを目的にアンケート形式によるニーズ調査を実施しました。

#### 2. 調査の設計

調査票は調査対象者別に、2種類の調査票を作成し調査を行いました。

#### (1) 調査票の種類と調査対象者等

調査対象者別の調査内容は、以下のとおりです。

#### 表 1 調査の実施方法

①調:	①調査票「子ども・子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童用)」		
	調査対象者	就学前児童を持つ保護者	
	調査人数	3,173人	
	調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、定期的な教育・保育事業の現状・利用意向、地域の子育て事業の現状・利用意向、育児休業の現状・利用意向に関する設問市の支援等への満足度	
②調:	②調査票「子ども・子育て支援に関するニーズ調査(就学児童用)」		
	調査対象者	就学児童(1 年生~4 年生)を持つ保護者	
	調査人数	2,547人	
	調査内容	家庭等の子育て環境、保護者の就労状況、放課後の過ご し方に対する希望に関する設問、市の支援等への満足度	

# 3. 調査の実施方法と配布・回収状況

#### (1) 調査時期と調査方法

子ども・子育て支援ニーズ調査は、平成31年2月8日(金)~平成31年3月13日(水)にかけて実施しました。

調査方法について、就学前児童は、施設を利用している保護者は施設を通じ配布回収、 未就園児は郵送により配布回収しました。

一方、市立小学校に通学している就学児(1年生~4年生)の保護者には、小学校を通じ調査票を配布・回収しました。

#### (2) 調査の配布・回収状況

ニーズ調査の配布と回収の状況は以下の通りです。

表 2 調査票の配布・回収状況

就学前児童の保護者 区分			就学児童の保護者			
区刀	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
市全域	3,173人	2,300人	72.5%	2,547人	2,131人	83.7%

### 4. 報告書の見方について

#### (1)年齢・学年の定義

就学前児童・就学児童の年齢定義は、ニーズ調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

表 3 ニーズ調査における年齢・学年定義

年齡区分	該当する生年月	年齡区分	該当する生年月
O 歳児	平成 29 年 4 月以降	6歳児	平成23年4月~平成24年3月
1 歳児	平成28年4月~平成29年3月	7歳児	平成22年4月~平成23年3月
2 歳児	平成27年4月~平成28年3月	8歳児	平成21年4月~平成22年3月
3 歳児	平成26年4月~平成27年3月	9 歳児	平成20年4月~平成21年3月
4 歳児	平成25年4月~平成26年3月	10 歳児	平成19年4月~平成20年3月
5 歳児	平成24年4月~平成25年3月	11 歳児	平成18年4月~平成19年3月

<sup>※</sup>調査期間 平成30年度における年齢定義

#### (2) 電算処理の注意点

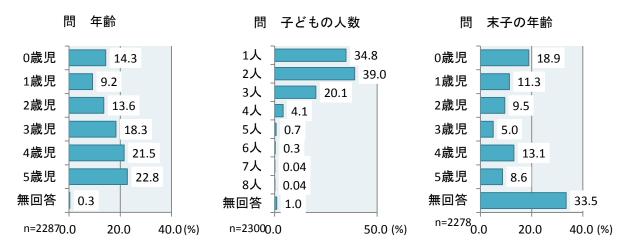
調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

グラフ図の「n」は、有効サンプル数のことであり、回収した調査票数の設問ごとの対象者から無効票を除いた数です。

# 5. 調査対象者の属性・家族状況

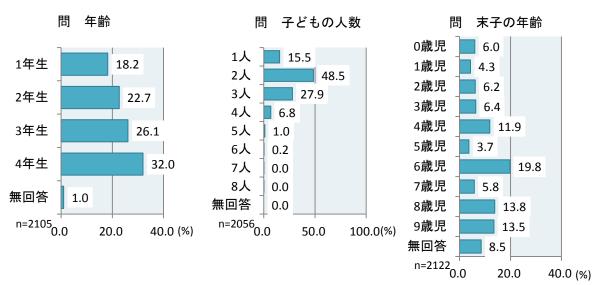
#### (1) 就学前児童の属性

回答された 2,300 件の就学前児童の属性は、以下のとおりです。



#### (2) 就学児童の属性

回答された 2,131 件の就学児童の属性は、以下のとおりです。

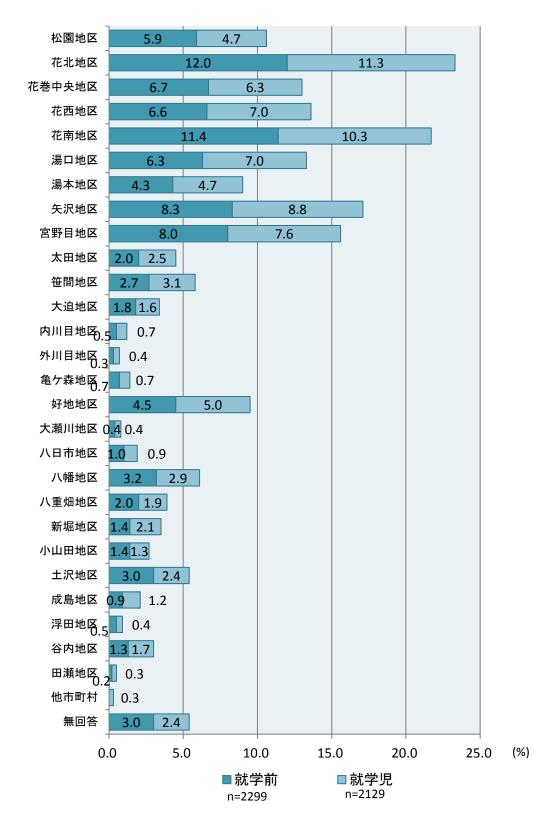




# (3) 居住地域の状況

回答者が居住している地域の状況は、以下のとおりです。

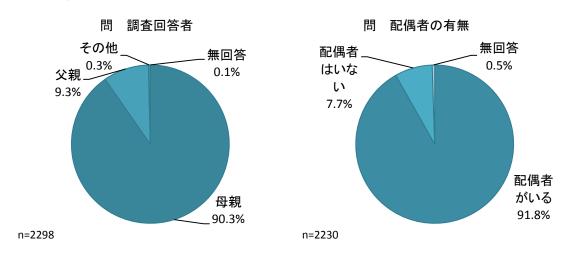
問 地域(市全体)



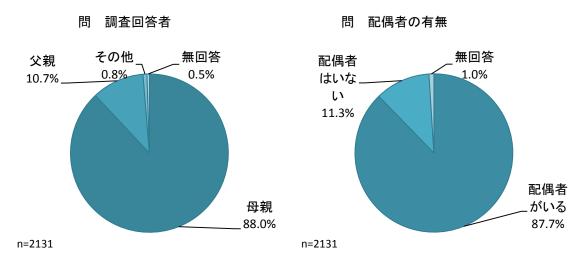
# (4) 調査回答者の状況と配偶者有無

この調査の回答者は、以下のとおりです。

#### 1) 就学前児童



# 2) 就学児童



# 6. 利用できる子育て支援サービスの種類

花巻市の子育て家庭が、現在利用できる環境にある子育て支援サービスは下表のとおりです。

表 4 花巻市で利用できる環境にある教育・保育と地域子ども・子育て支援事業

分類	子育て支援サービス名	事業の説明
(1)幼!	- 児期の教育・保育事業	
	幼稚園	通常の就園時間の利用
	幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定 期的な利用のみ
	認可保育所	国が定める最低基準に適合した施設で都道府県 の認可を受けた定員 20 人以上のもの
	認定こども園	幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
	小規模保育施設	国が定める最低基準に適合した施設で市町村の 認可を受けた定員概ね6~19人のもの
	事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
	認可外保育施設	認可保育所以外の保育施設
	障がい児通所支援	イーハトーブ養育センター等の療育機関
(2)地	域の子ども・子育て支援事業	
	利用者支援事業	教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑 に利用できるよう、情報の集約・提供及び必要 に応じ相談・助言等を行う事業
	延長保育事業	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用 時間以外の時間において、保育園等で延長して 保育を実施する事業
	実費徴収に係る補足給付を行う事業	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用等について、公費により助成する事業
	学童クラブ(放課後児童健全育 成事業)	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業
	子育て短期支援事業	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等への入所により、必要な保護を行う事業で、短期入所生活援助事業(ショートステイ事業)及び夜間養護等事業(トワイライトステイ事業)がある
	乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供を行うとともに、母と子の心身の状況や育児環境の把握を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつける事業

養育支援訪問事業	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅
	を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うこ
	とにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保
	する事業
子どもを守る地域ネットワー	
ク機能強化事業(その他要保護	ネットワーク)の機能強化を図るため、調整機
	│関職員やネットワーク構成員(関係機関)の専│
児童等の支援に資する事業)	門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を
	図る取り組みを実施する事業
地域子育て支援拠点事業(こど	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所
もセンター等)	を開設し、子育てについての相談、情報の提供、
0000 47	助言その他の援助を行う事業
一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難
5317/0 2 4 2/	になった乳幼児について、主として昼間におい
	て、保育園などの場所において、一時的に預か
	る事業
病児保育事業	病気や病気回復期の児童で、保護者の就労等の
	理由で、保護者が保育できない際に、病院・保
	育園等に付設された専用スペース等において、
	看護師等が一時的に保育等する事業
ファミリー・サポート・センタ	子育て中の保護者を会員として、児童の預かり
一事業	等の援助を受けることを希望する者(おねがい
	会員)と当該援助を行うことを希望する者(あ
	ずかり会員)との相互援助活動に関する連絡、
	調整を行う事業
妊婦健康診査	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に
Y TAPREMUS EL	対する健康診査として、[1]健康状態の把握、
	[2]検査計測、[3]保健指導を実施するととも
	に、妊娠期間中の適時に応じた医学的検査を実
	施する事業

# 第2章 子育て家庭を取り巻く環境

#### 1. 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

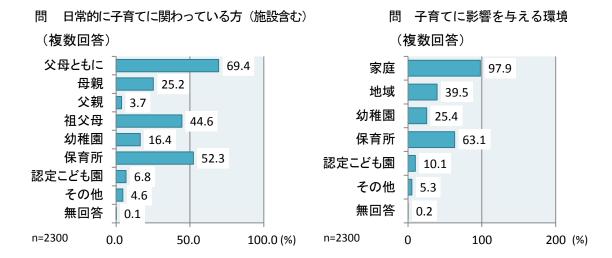
#### 1) 共通

主な保育者の状況をみると、就学前児童では「父母ともに」(66.4%)と「主に母親」 (32.0%)が大半を占めています。就学児童でも「父母ともに」(64.7%)と「主に母 親」(31.9%)と、同じような傾向となっています。

問 主な保育者の状況 就学前 66.4 32.0 n=2238 就学児 n=2068 64.7 31.9 20% 70% 0% 10% 30% 40% 50% 60% 80% 90% 100% ■父母ともに ■主に母親 ■主に父親 ■主に祖父母 ■その他 □無回答

#### 2) 就学前

日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、「父母ともに」(69.4%)が最も多 く、次いで「保育所」(52.3%)となり、子育てに影響を与える環境については、「家庭」 (97.9%) が最も多い回答となっています。

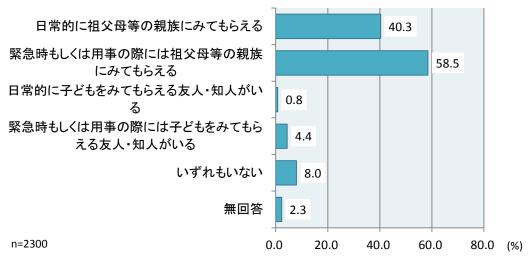


主な親族等協力者の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(58.5%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(40.3%)の順となっています。周囲の援助が得られない子育て環境にいる家庭は2,300人中184人(8.0%)となっています。

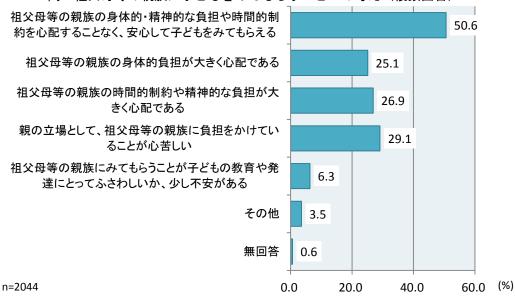
祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えについて、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(50.6%)方がいる一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と思いながらも子どもを見てもらっている方(29.1%)もいます。

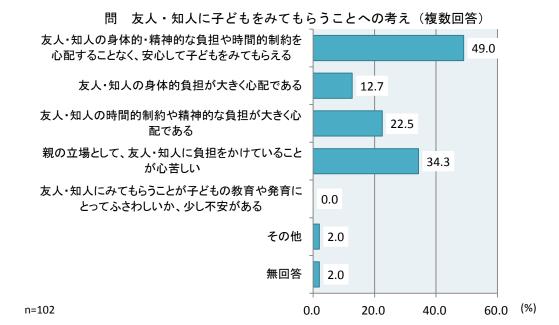
また、友人・知人に預かってもらうことへの考えに対して、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(49.0%)方がいる一方で、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と思いながら子どもを見てもらっている方(34.3%)もいます。

# 問 主な親族等協力者の状況(複数回答)



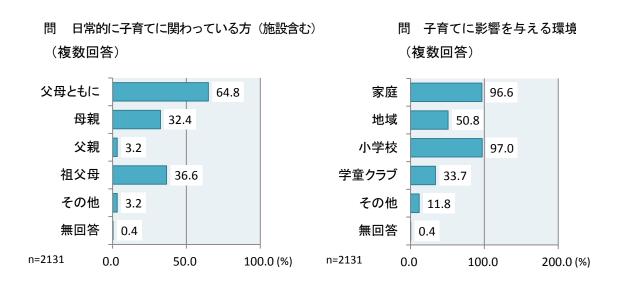
問 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え (複数回答)





#### 3) 就学児

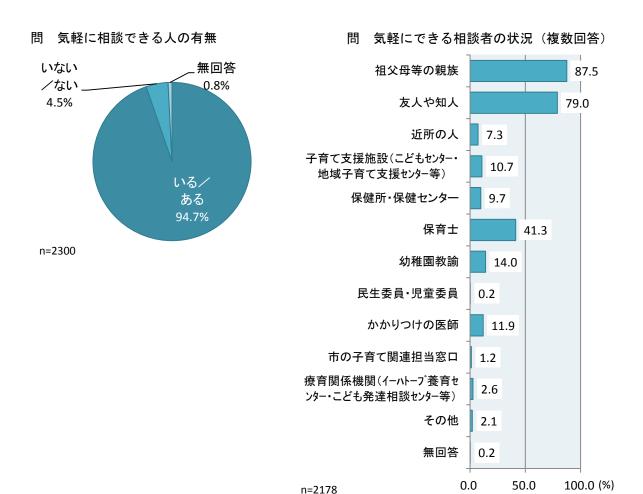
日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、「父母ともに」(64.8%)が最も多く、次いで「祖父母」(36.6%)となり、子育てに影響を与える環境については、「小学校」(97.0%)、「家庭」(96.6%)が多い回答となっています。

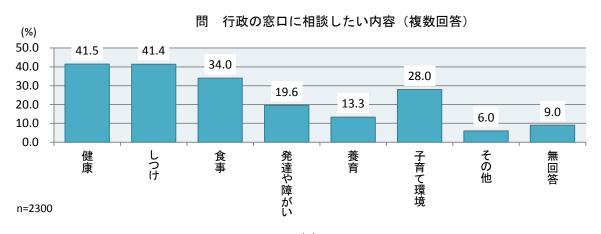


#### (2) 子育てに関する相談や支援事業の状況

#### 1) 就学前

気軽に相談できる人の有無をみると、「いる/ある」(94.7%)が大半を占めています。 子育てする上で気軽に相談できる相手がいない方は、2,300 人中 104 人(4.5%) います。気軽にできる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(87.5%)、「友人や知人」(79.0%)、「保育士」(41.3%)の順となり、より身近な人に相談をしている状況です。 行政の窓口に相談したい内容は、「健康」(41.5%)、「しつけ」(41.4%)、「食事」(34.0%)の順で高くなっています。しかし、公的相談機能へ相談する割合は、10%前後から 1%台となっています。



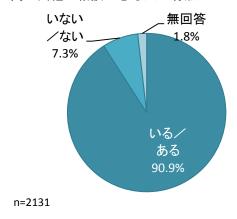


#### 2) 就学児

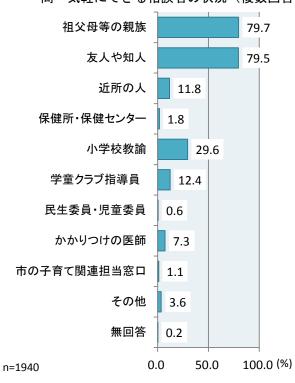
気軽に相談できる人の有無をみると、「いる/ある」(90.9%)が大半を占めています。 子育てする上で気軽に相談できる相手がいない方は、2,131 人中 156 人(7.3%)います。気軽にできる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(79.7%)、「友人や知人」(79.5%)、「小学校教諭」(29.6%)の順となっています。

行政の窓口に相談したい内容は、「学習」(34.6%)、「健康」(27.3%)、「しつけ」(25.6%)の順で高くなっています。しかし、公的相談機能へ相談する割合は、1%台に留まっています。

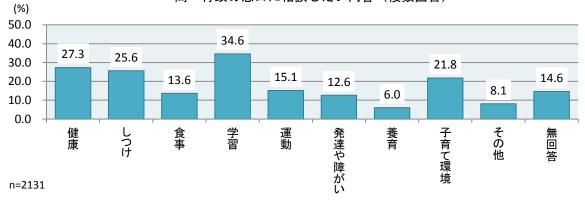
問 気軽に相談できる人の有無



問 気軽にできる相談者の状況(複数回答)



問 行政の窓口に相談したい内容(複数回答)



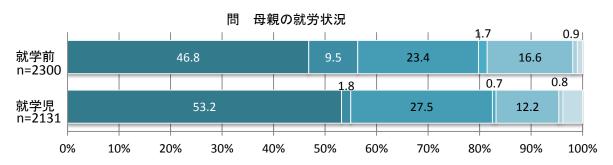
#### 2. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

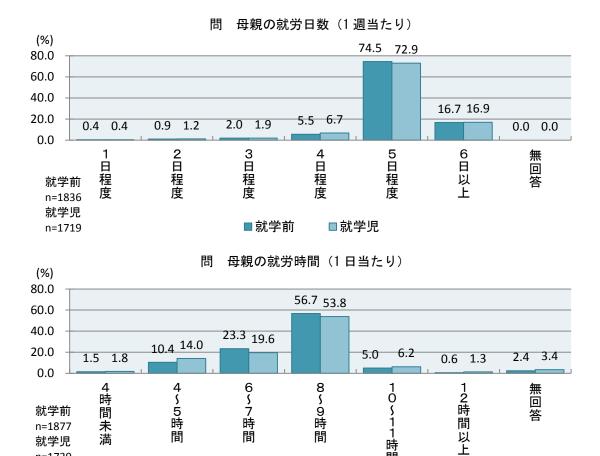
#### 1) 共通

母親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、産休・育休・ 介護休業中ではない」(46.8%)をはじめ81.4%の方が就労し、そのうち「産休・育休・ 介護休業中である」が11.2%となっています。

就学児童についても「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」 (53.2%)が半数以上を占め、83.2%の方が就労し、そのうち「産休・育休・介護休業中である」が 2.5%となり、前者に比べて休業中の割合が少なく、就労者全体はやや多くなっています。



- ■フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ■フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ■パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ■パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ■以前は就労していたが、現在は就労していない
- ■これまで就労したことがない
- ■無回答



■就学前

n=1739

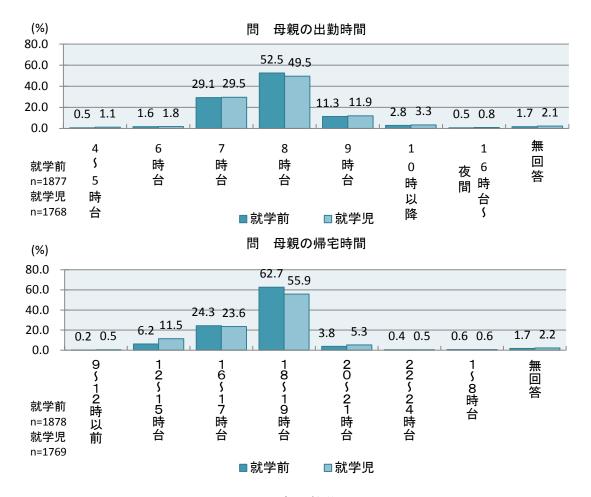
母親の就労日数・就労時間をみると、就学前児童では「5日程度」(74.5%)、「8~9時間」(56.7%)、小学校児童では「5日程度」(72.9%)、「8~9時間」(53.8%)が最も多くなっていますが、両者ともに「6日以上」就労している方が15%ほどみられます。

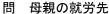
■就学児

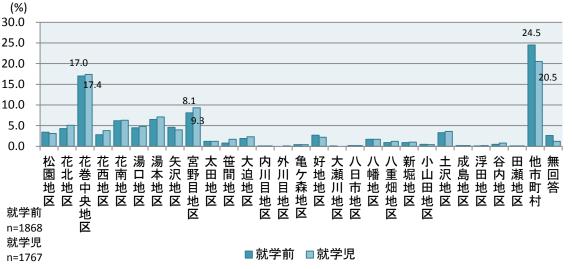
母親の出勤時間について、就学前児童では「8時台」(52.5%)、「7時台」(29.1%)、「9時台」(11.3%)、就学児童も同様に「8時台」(49.5%)、「7時台」(29.5%)、「9時台」(11.9%)の順となっています。

また帰宅時間について、就学前児童では「18~19 時台」(62.7%)、「16~17 時台」(24.3%)、就学児童も同様に「18~19 時台」(55.9%)「16~17 時台」(23.6%)の順となっており、両者ともに 20 時以後の帰宅も就学前児童では 4.8%、就学児童で6.4%みられました。

母親の就労先は、就学前、就学児ともに「花巻中央地区」(就学前 17.0%・就学児 17.4%)、「他市町村」(就学前 24.5%・就学児 20.5%)、「宮野目地区」(就学前 8.1%、就学児 9.3%)の順となっています。



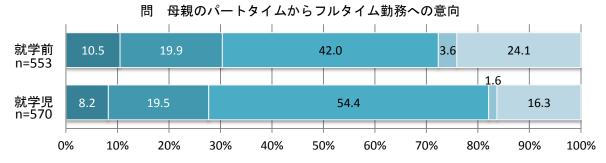




母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、就学前児童ではフルタイムを希望する方は30.4%ですが、実現できる見込みのある方は10.5%にとどまっています。

一方、就学児童でもフルタイムを希望する方は 27.7%ですが、実現できる見込みのある方は、8.2%にとどまっています。

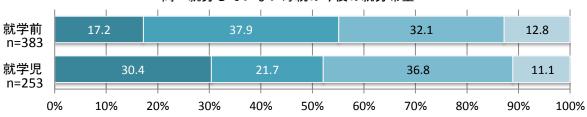
就学前児童よりも、就学児童の方が「パート・アルバイト等での就労を続けることを 希望」する母親の割合が 12.4 ポイント多くなっています。



- ■フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ■フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ■パート・アルバイト等での就労を続けることを希望
- ■パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- ■無回答

就労していない母親の今後の就労希望をみると、就学前児童では就労意向のある方が70.0%おり、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」(37.9%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(32.1%)、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(70.5%)、「フルタイム」(26.2%)となっています。就労時期となる子どもの年齢については「0~3歳」(55.6%)、次いで「6~8歳」(23.6%)となっています。

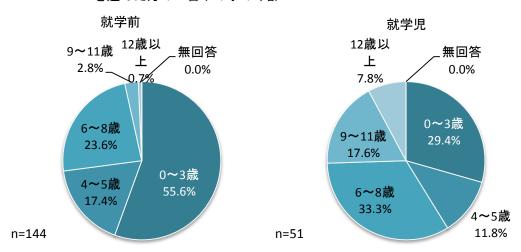
就学児童では就労意向のある方が52.1%で、その内訳は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(36.8%)、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」(21.7%)、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(82.0%)、「フルタイム」(15.7%)、となっています。就労時期となる子どもの年齢については「6~8歳」(33.3%)、次いで「0~3歳」(29.4%)と回答しています。



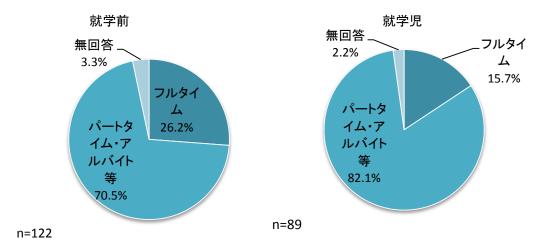
問 就労していない母親の今後の就労希望

- ■子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- ■1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- ■無回答

問 「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」 を選んだ方の一番下の子の年齢



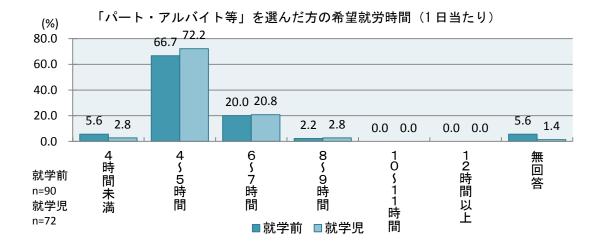
問 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態



「パート・アルバイト等」を選択した母親が希望する就労形態をみると、就学前児童では就労日数が「5日」(48.2%)、就労時間「4~5時間」(66.7%)となり、ともにおよそ半数を占めています。

就学児童についても同様に、就労日数が「5 日」(50.0%)、就労時間「4~5 時間」(72.2%)となり、同じ傾向がみられます。

「パート・アルバイト等」を選んだ方の希望就労日数(1週当たり) (%) 80.0 60.0 48.2 50.0 40.0 30.6 29.2 17.6 19.4 20.0 2.4 1.4 1.2 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 1日 2日 3日 4日 5日 6日以上 無回答 就学前n=85 就学児n=72 ■就学前 ■就学児

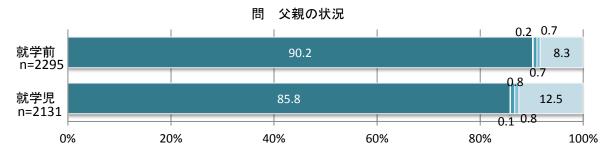


#### (2) 父親の就労状況

#### 1) 共通

父親の就労状況をみると、就学前児童では「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(90.2%)が大半を占め、「産休・育休・介護休業中である」が 0.2% となっています。

就学児童についても「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(85.8%) をはじめ、およそ8割の方が就労しています。「産休・育休・介護休業中である」が0.1% となっています。



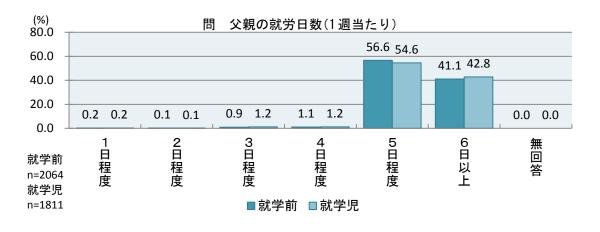
- ■フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ■フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ■パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ■パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ■以前は就労していたが、現在は就労していない
- ■これまで就労したことがない
- ■無回答

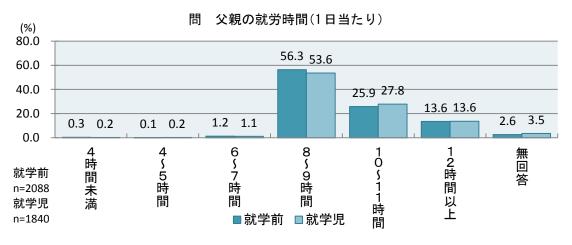
父親の就労日数・就労時間をみると、就学前児童では「5日程度」(56.6%)、「8~9時間」(56.3%)が最も多く、就学児童も同様に「5日程度」(54.6%)、「8~9時間」(53.6%)となっています。

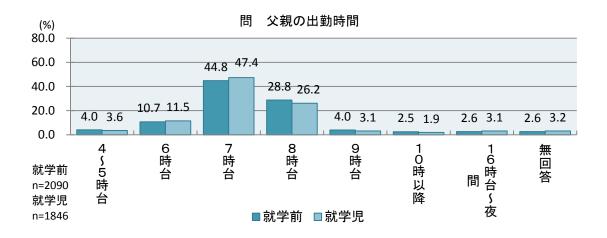
父親の出勤時間について、就学前児童では「7時台」(44.8%)、「8時台」(28.8%)、 就学児童も同様に「7時台」(47.4%)「8時台」(26.2%)の順となっています。

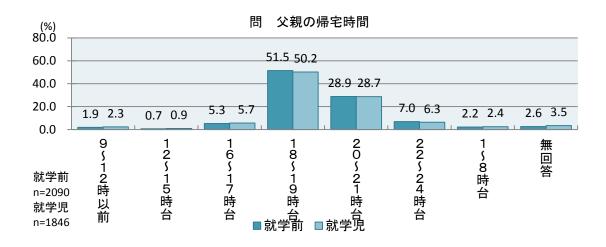
また帰宅時間について、就学前児童・就学児童ともに「18~19 時台」(51.5%・50.2%)が最も多く、次いで「20~21 時台」(28.9%・28.7%)となっています。 22 時以降の帰宅は、就学前児童が9.2%、就学児童が8.7%となっています。

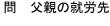
父親の就労先は、就学前、就学児ともに「他市町村」(就学前 45.0%・就学児 47.0%)、「花巻中央地区」(就学前 10.5%・就学児 9.5%)、「宮野目地区」(就学前 7.6%、就学児 6.5%)の順となっています。

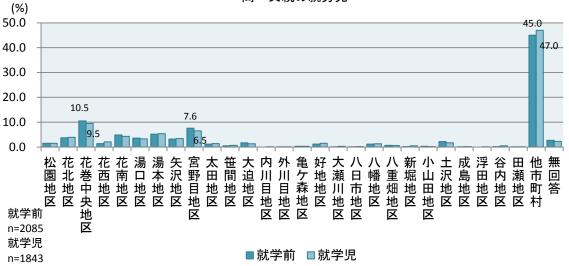






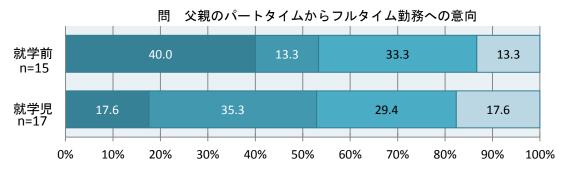






父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、就学前児童ではフルタイムを希望する方は53.3%いますが、実現できる見込みのある方は40.0%となっています。

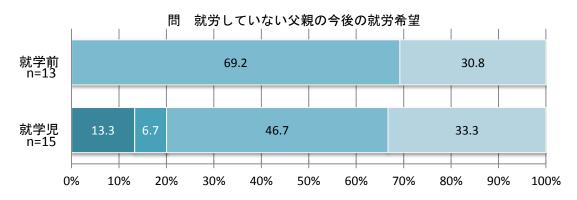
就学児童は、フルタイムを希望する方は 52.9%いますが、実現できる見込みのある方は 17.6%となっています。



- ■フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ■フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- ■パート・アルバイト等での就労を続けることを希望
- ■パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- ■無回答

就労していない父親の今後の就労希望をみると、就学前児童では「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」(69.2%、9 人)、希望する就労形態は「フルタイム」(100.0%)となっています。

なお、就学児童については、就労意向のある方が53.4%となっており、「1年より先、 一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」(6.7%、1人)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(46.7%、7人)と回答しています。希望する就労形態は、「フルタイム」(71.4%)、「パート・アルバイト等」(28.6%)となっています。

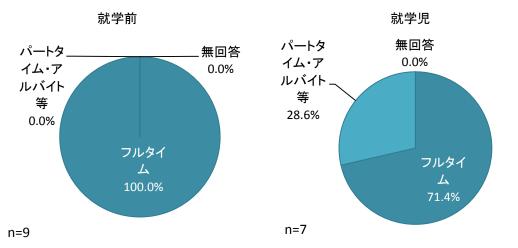


- ■子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- ■1年より先、一番下の子どもが○歳になったころに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- ■無回答

問「1 年より先、一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」 を選んだ方の一番下の子の年齢

就学前の該当者はあり ませんでした。 12歳以 上 100.0%

問「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態



「パート・アルバイト等」を選んだ方の希望就労日数(1週当たり)

就学前では該当者はありませんでした。 就学児では「5日」が2人でした。

「パート・アルバイト等」を選んだ方の希望就労時間(1日当たり)

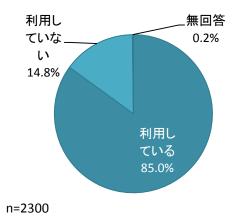
就学前では該当者はありませんでした。 就学児では、「4~5時間」が1人、「6~7時間」が1人でした。

# 第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

- 1. 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望
  - (1) 平日の定期的な教育・保育事業(全体)

#### 1) 就学前

問 定期的な教育・保育事業の利用状況

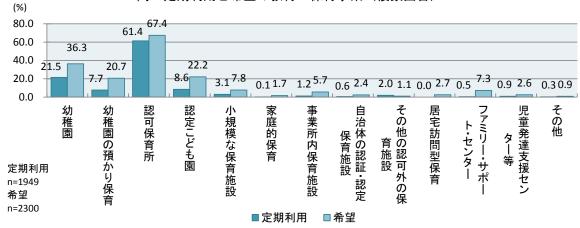


定期的な教育・保育事業(全体)の利用状況をみると、85.0%の方が利用していると回答しています。

利用中の事業としては、「認可保育所」 (61.4%)、「幼稚園」(21.5%)、「認定こども 園」(8.6%)の順となっています。

一方、今後の利用希望では「認可保育所」 (67.4%)、「幼稚園」(36.3%)、「認定こども 園」(22.2%)の順となっており、現在の定期利 用に比べ「認可保育所」は6.3 ポイント、「幼稚 園」は14.6 ポイント高くなっています。

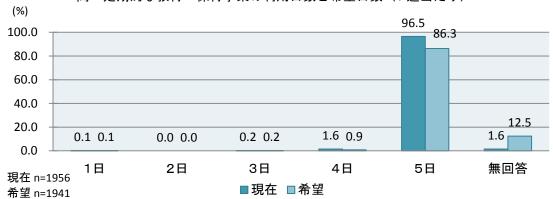
問 定期利用と希望の教育・保育事業(複数回答)

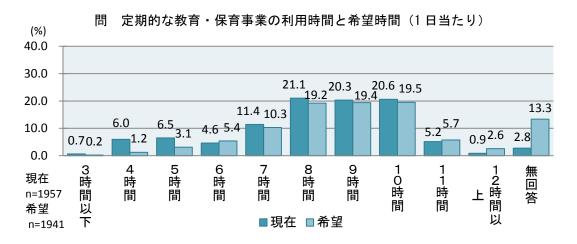


平日の定期的な教育・保育事業(全体)の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(現在96.5%、希望86.3%)、「4日」(現在1.6%、希望0.9%)の順となっています。

また、利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「8時間」(21.1%)、「10時間」(20.6%)、「9時間」(20.3%)の順となっており、希望では「10時間」(19.5%)、「9時間」(19.4%)、「8時間」(19.2%)の順となっています。

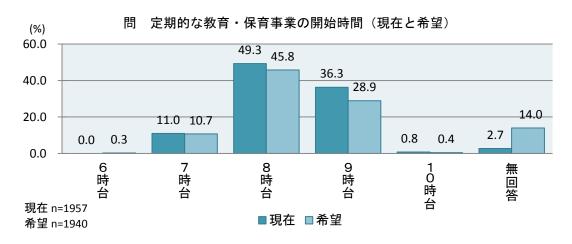
# 問 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)

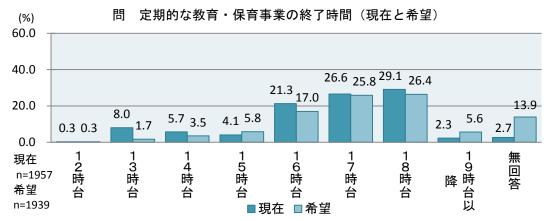




定期的な教育・保育事業(全体)の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(49.3%)、「9時台」(36.3%)、「7時台」(11.0%)の順、終了時間は「18時台」(29.1%)、「17時台」(26.6%)、「16時台」(21.3%)の順となっています。

希望の開始時間は現在の開始時間と比べると「8 時台」(45.8%)、「9 時台」(28.9%)、「7 時台」(10.7%)が高くなっています。希望の終了時間は「18 時台」(26.4%)、「17 時台」(25.8%)、「16 時台」(17.0%)となっています。





定期的な教育・保育事業(全体)の教育・保育施設の実施場所をみると、ほとんどの方が「花巻市内」(97.0%)と回答し、市内の施設を利用しています。一方、希望実施場所としては「花巻市内」(83.6%)となっています。

現在 n=1946 希望 n=2296 0% 20% 40% 60% 80% 100%

■花巻市内 ■他の市町村 ■無回答

問 教育・保育の実施場所 (現在と希望)

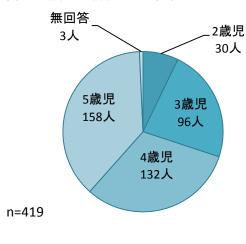
#### (2) 幼稚園

#### 1) 就学前

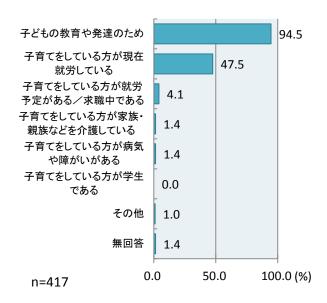
幼稚園の年齢別利用者数は、5歳(158人)、4歳(132人)、3歳(96人)、2歳(30人)の順となっています。

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(94.5%)「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(47.5%)、の順となっており、その他の理由は少数となっています。他の施設に比べて「子どもの教育や発達のため」の割合が高くなっており、教育や発達面で期待されていることが分かります。

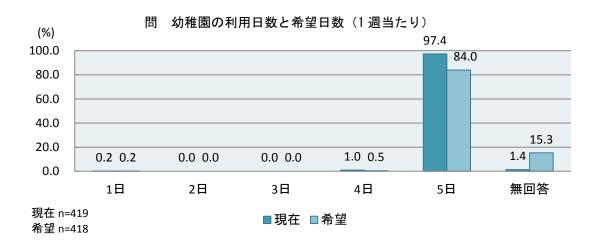
#### 問 幼稚園の年齢別利用者数



# 問 幼稚園を利用している理由(複数回答)



平日の幼稚園の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(97.4%)、「4日」(1.0%)の順となっており、希望では「5日」(84.0%)となっています。また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「5時間」(27.2%)、「4時間」(23.6%)、「6時間」(16.0%)、の順となっており、希望では「4時間」と「5時間」が減少した一方で、「6時間」以降で増加しており、今より伸ばして欲しいという希望がみられます。

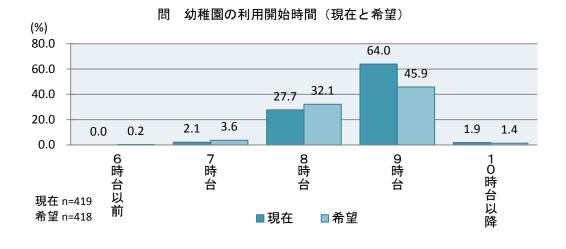


問 幼稚園の利用時間と希望時間(1日当たり)

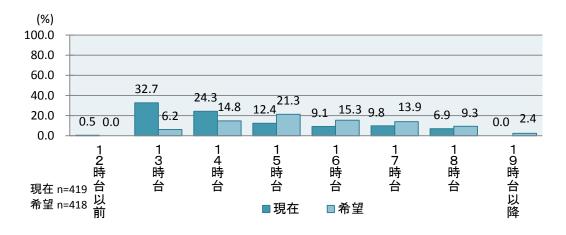


平日の幼稚園の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「9 時台」(64.0%)、「8 時台」(27.7%)の順、終了時間は「13 時台」(32.7%)、「14 時台」(24.3%)、「15 時台」(12.4%)の順となっています。

希望する開始時間は「9時台」(45.9%)「10時台以降」(1.4%)が若干減少し、「8時台」(32.1%)。「7時台」(3.6%)が増加しています。希望する終了時間は、「15時台」以降で増加し、「14時台」以前で減少しています。



問 幼稚園の利用終了時間(現在と希望)



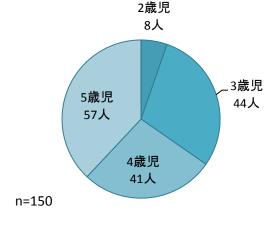
#### (3) 幼稚園の預かり保育

#### 1) 就学前

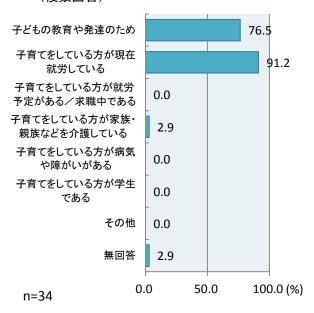
幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数は、5 歳(57人)、3 歳(44人)、4 歳(41人)、2 歳(8人)の順となっています。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(91.2%)、「子どもの教育や発達のため」(76.5%)の順となっており、その他の理由は少数となっています。

問 幼稚園の預かり保育の年齢別利用者数

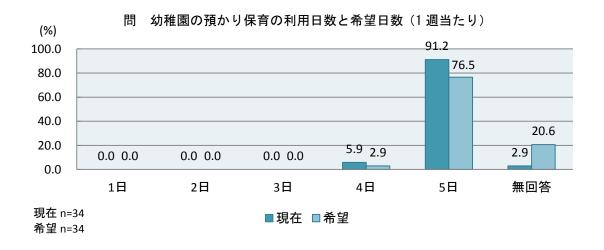


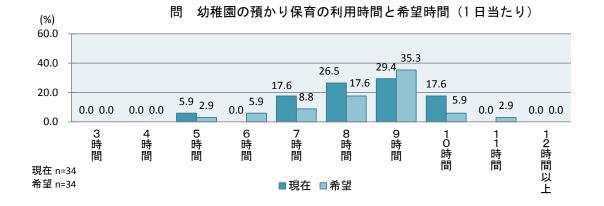
問 幼稚園の預かり保育を利用している理由 (複数回答)



平日の幼稚園の預かり保育の利用日数と希望日数(1 週当たり)をみると、利用では「5日」(91.2%)、「4日」(5.9%)の順となっており、希望では「5日」(76.5%)となっています。

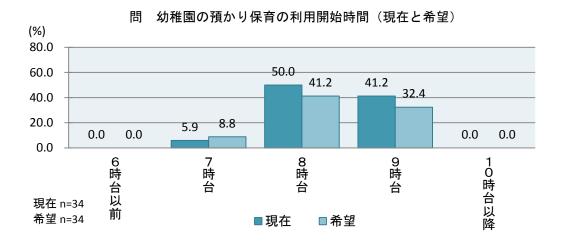
また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「9時間」(29.4%)、「8時間」(26.5%)、「7時間」「10時間」(各17.6%)の順となっており、希望では「9時間」「11時間」が増加しており、それ以外では減少しています。

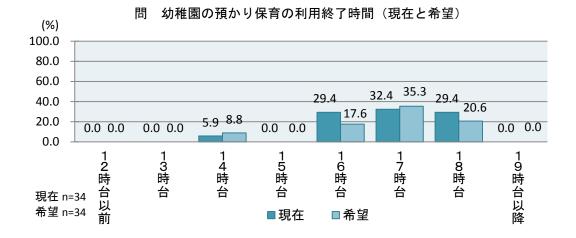




平日の幼稚園の預かり保育の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(50.0%)、「9時台」(41.2%)、「7時台」(5.9%)の順、終了時間は「17時台」(32.4%)、「16時台」「18時台」(各29.4%)、「14時台」(5.9%)の順となっています。

希望する開始時間は「8時台」(41.2%)、「9時台」(32.4%)。「7時台」(8.8%)の順となっています。希望する終了時間は、「17時台」(35.3%)、「14時台」(8.8%)が増加し、「18時台」(20.6%)、「16時台」(17.6%)が減少しています。





33

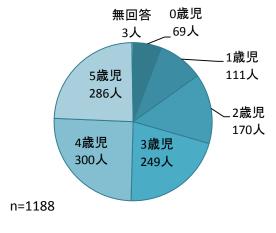
#### (4) 認可保育所

#### 1) 就学前

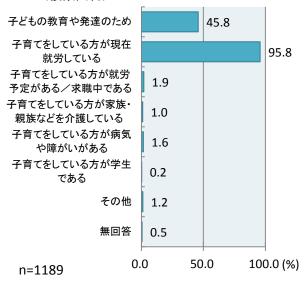
認可保育所の年齢別利用者数は、4歳(300人)、5歳(286人)、3歳(249人)、2歳(170人)、1歳(111人)、0歳(69人)の順となっています。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(95.8%)、「子どもの教育や発達のため」(45.8%)の順となっており、その他の理由は少数となっています。

#### 問認可保育所の年齢別利用者数



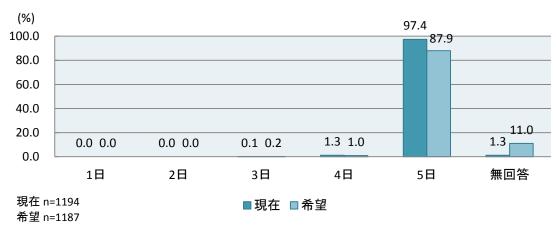
## 問 認可保育所を利用している理由 (複数回答)

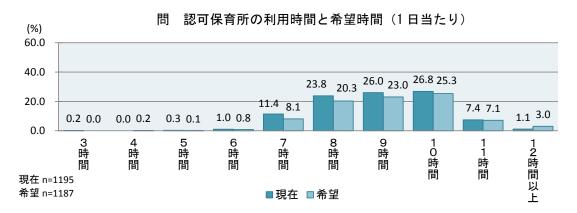


平日の認可保育所の利用日数と希望日数(1 週当たり)をみると、利用では「5 日」(97.4%)、「4 日」(1.3%)の順となっており、希望では「5 日」(87.9%)となっています。

また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「10時間」(26.8%)、「9時間」(26.0%)、「8時間」(23.8%)、「7時間」(11.4%)の順となっており、希望では「12時間以上」で若干増加しており、それ以外では減少しています。

問 認可保育所の利用日数と希望日数(1週当たり)





平日の認可保育所の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(57.2%)、「9 時台」(26.5%)、「7 時台」(14.5%)の順、終了時間は「18 時台」(37.2%)、「17 時台」(32.7%)、「16 時台」(23.7%)の順となっています。

希望する開始時間は「8 時台」(51.1%)、「9 時台」(22.3%)。「7 時台」(13.4%) となっています。希望する終了時間は、「19 時台以降」(6.8%)が若干増加し、「18 時台」(33.1%)、「17 時台」(29.6%)、「16 時台」(16.5%)が減少しています。

認可保育所の利用開始時間 (現在と希望) (%) 0.08 57.2 51.1 60.0 40.0 26.5 22.3 14.5 13.4 20.0 0.0 0.3 0.1 0.1 0.0 6時 8時台 9時台 7時台 10時台以降 台以 現在 n=1195 前 希望 n=1186 ■現在 ■希望

認可保育所の利用終了時間(現在と希望) (%) 100.0 80.0 60.0 32.7 29.6 37.2 33.1 40.0 23.7 16.5 3.4 6.8 20.0 1.1 0.7 0.2 0.4 0.1 0.1 0.0 0.0 0.0 13時台 1 4 時 15時 16時 1 7 時 18時台 12時台以前 19時台以降 現在 n=1195 台 台 台 希望 n=1185 ■現在 ■希望

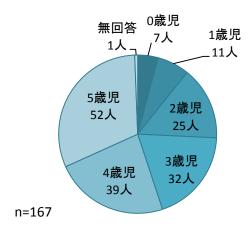
## (5) 認定こども園

#### 1) 就学前

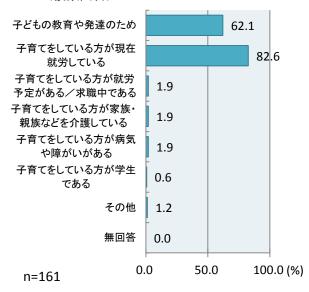
認定こども園の年齢別利用者数は、5歳(52人)、4歳(39人)、3歳(32人)、2歳(25人)、1歳(11人)、0歳(7人)の順となっています。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(82.6%)、「子どもの教育や発達のため」(62.1%)の順となっており、その他の理由はごく少数となっています。

#### 問 認定こども園の年齢別利用者数

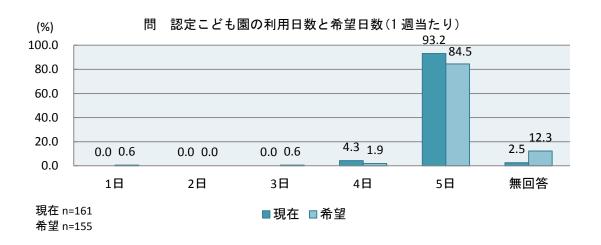


問 認定こども園を利用している理由 (複数回答)



平日の認定こども園の利用日数と希望日数(1 週当たり)をみると、利用では「5 日」 (93.2%)、「4 日」(4.3%)の順となっており、希望では「5 日」(84.5%)となっています。

また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「8時間」(23.0%)、「7時間」「9時間」(各18.6%)、「10時間」(16.1%)の順となっており、希望では「5時間」「6時間」「9時間」「11時間」が増加し、それ以外で減少しています。



問 認定こども園の利用時間と希望時間(1日当たり)



平日の認定こども園の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(44.1%)、「9 時台」(42.2%)、「7 時台」(8.7%)の順、終了時間は「16 時台」(29.2%)、「18 時台」(26.7%)、「17 時台」(24.8%)の順となっています。

希望時間の開始時間は現在とあまり大きな差は見られません。希望の終了時間は、「17時台」(27.7%)、「15時台」(5.8%)、「19時以降」(4.5%)でやや増加し、「16時台」(24.5%)、「18時台」(21.3%)と「14時台」以前でやや減少しています。

問 認定こども園の利用開始時間(現在と希望) (%) 0.08 60.0 44.1 42.6 42.2 38.1 40.0 20.0 8.7 7.7 1.9 0.0 0.0 0.6 0.0 7時台 8時台 9時台 6時台以 10時台以降 現在 n=161 前 希望 n=155 ■現在 ■希望

認定こども園の利用終了時間(現在と希望) (%) 100.0 80.0 60.0 24.5 24.8 27.7 26.7 40.0 21.3 20.0 1.2 5.8 4.5 3.2 3.7 1.9 0.0 0.0 0.0 0.0 17時台 12時 15時台 18時台 14時台 16時台 19時台以降 現在 n=161 台 希望 n=155 以 ■現在 ■希望

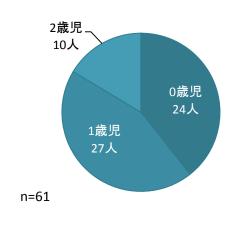
## (6) 小規模な保育施設

#### 1) 就学前

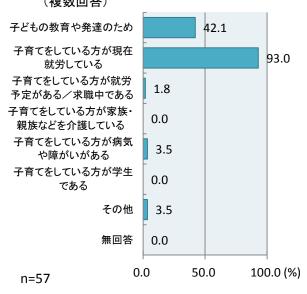
平日の小規模な保育施設の年齢別利用者数は、1歳(27人)、0歳(24人)、2歳(10人)の順となっています。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」 (93.0%)「子どもの教育や発達のため」(42.1%)の順となっており、その他の理由 は少なくなっています。

#### 問 小規模な保育施設の年齢別利用

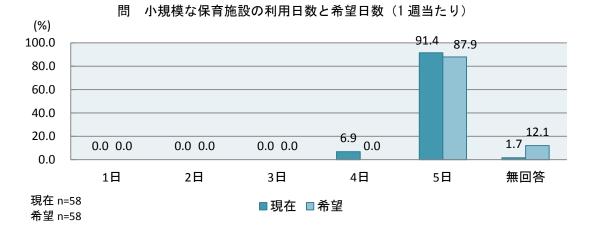


問 小規模な保育施設を利用している理由 (複数回答)



平日の小規模な保育施設の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、利用では「5日」(91.4%)、次いで「4日」(6.9%)と回答し、希望では「5日」(87.9%)となっています。

また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「10時間」(25.9%)、「8時間」「9時間」(各20.7%)、「7時間」(19.0%)の順となっており、希望では「9時間」、「11時間」が増加し、「7時間」、「8時間」、「10時間」で減少しています

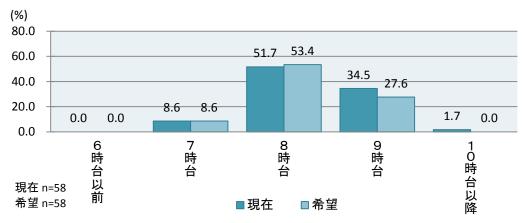


問 小規模な保育施設の利用時間と希望時間(1 日当たり)

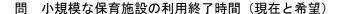


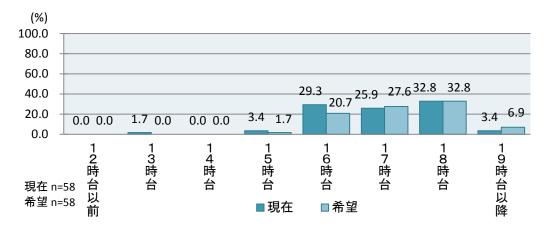
平日の小規模な保育施設の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8時台」(51.7%)、「9時台」(34.5%)、「7時台」(8.6%)の順、終了時間は「18時台」(32.8%)、「16時台」(29.3%)、「17時台」(25.9%)の順となっています。

利用開始時間は現在に比べて希望は「8 時台」(53.4%)でやや増加し、「9 時台」(27.6%)「10 時台以降」で減少しています。利用終了時間は「18 時台」(32.8%)は変わらず、「17 時台」(27.6%)、「19 時台以降」(6.9%)で増加し、「16 時台」(20.7%)以前で減少しています。



問 小規模な保育施設の利用開始時間 (現在と希望)





#### (7) 家庭的保育

#### 1) 就学前

家庭的保育の年齢別利用者は、「1歳」「5歳」が各1人となっています。 利用している理由や時間等は「無回答」でした。

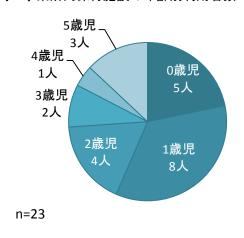
#### (8) 事業所内保育施設

#### 1) 就学前

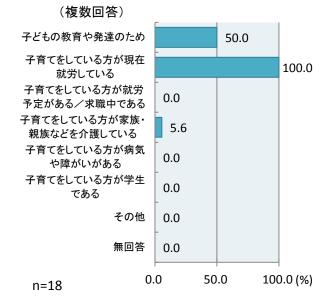
事業所内保育施設の年齢別利用者数は、1歳(8人)、0歳(5人)、2歳(4人)、5歳(3人)、3歳(2人)、4歳(1人)の順となっています。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」 (100.0%)、「子どもの教育や発達のため」(50.0%)の順となっており、その他は、 「子育てをしている方が家族・親族などを介護している」(5.6%)となっています。

#### 問 事業所内保育施設の年齢別利用者数

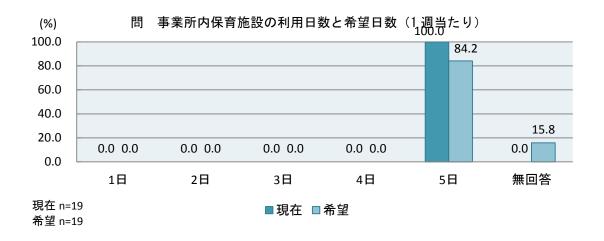


#### 問 事業所内保育施設を利用している理由



平日の事業所内保育施設の利用日数と希望日数(1 週当たり)をみると、利用・希望とも全員が「5日」(利用 100.0%、希望 84.2%)と回答しています。

また、利用時間と希望時間(1日当たり)について、利用では「10時間」(31.6%)、「8時間」(31.6%)、「7時間」「9時間」「11時間」(各10.5%)の順となっており、希望では「6時間」「9時間」「12時間以上」で増加し、それ以外で減少しています。

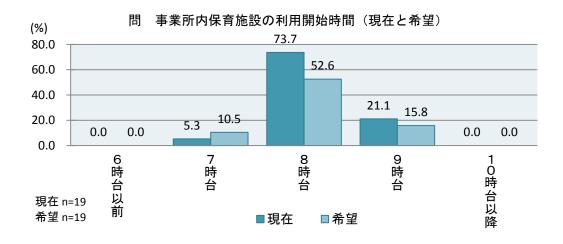


問 事業所内保育施設の利用時間と希望時間(1日当たり)

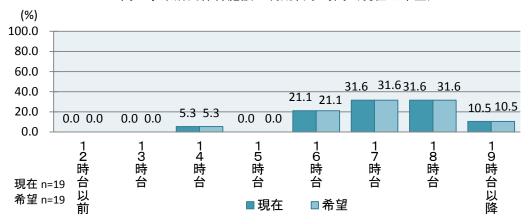


事業所内保育施設の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は「8 時台」(73.7%)、「9 時台」(21.1%)、「7 時台」(5.3%)の順、終了時間は現在及び希望ともに「17 時台」「18 時台」(各 31.6%)、「16 時台」(21.1%)、「19 時台以降」(10.5%)の順となっています。

平日の利用開始希望時間は、現在に比べて「7時台」(10.5%)が増加し、「8時台」(52.6%)「9時台」(15.8%)がそれぞれ減少しています。



問 事業所内保育施設の利用終了時間(現在と希望)



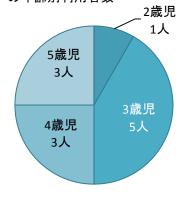
#### (9) 自治体の認証・認定保育施設

#### 1) 就学前

自治体の認証・認定保育施設の年齢別利用者数は、3歳(5人)、4歳・5歳(各3人)、2歳(1人)の順となっています。ただし、(10)その他認可外の保育施設と混同して有効サンプル数が少ない回答結果となった可能性があります。

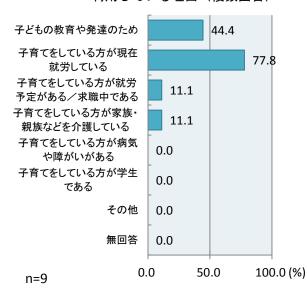
利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」 (77.8%)、「子どもの教育や発達のため」(44.4%)となっており、その他の理由は「子 育てをしている方が就労予定がある/求職中である」「子育てをしている方が家族・親族 などを介護している」がそれぞれ11.1%となっています。

## 問 自治体の認証・認定保育施設 の年齢別利用者数



n=12

#### 問 自治体の認証・認定保育施設を 利用している理由(複数回答)



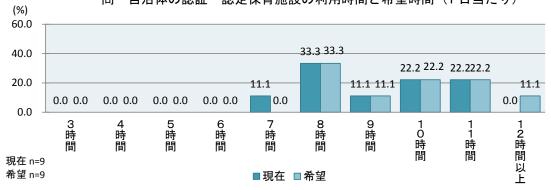
平日の自治体の認証・認定保育施設の利用日数と希望日数(1 週当たり)をみると、 現在・希望とも「5日」が 100.0%となっています。

また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、現在・希望とも「8時間」 (33.3%)、「10時間」「11時間」(各22.2%)の順となっています。

問 自治体の認証・認定保育施設の利用日数と希望日数(1週当たり)



問 自治体の認証・認定保育施設の利用時間と希望時間(1日当たり)

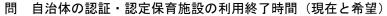


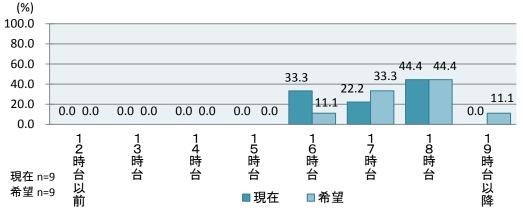
平日自治体の認証・認定保育施設の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は現在「7時台」(44.4%)、「8時台」(33.3%)、「9時台」(22.2%)となっており、終了時間は「18時台」(44.4%)、「16時台」(33.3%)、「17時台」(22.2%)となっています。

自治体の認証・認定保育施設では利用開始希望時間は「7時台」(55.6%)で増加し、「8時台」(22.2%)で減少し、終了希望時間は「18時台」(44.4%)は変わらず、「17時台」(33.3%)、「19時台以降」(11.1%)で増加し、「16時台」(11.1%)で減少しています。

(%) 0.08 55.6 60.0 44.4 33.3 40.0 22.2 22.2 22.2 20.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 7 時 8 時 9 時 6時台以 10時台以降 台 台 台 現在 n=9 前 希望 n=9 ■現在 ■希望

問 自治体の認証・認定保育施設の利用開始時間(現在と希望)





#### (10) その他認可外の保育施設

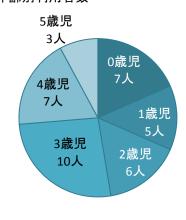
#### 1) 就学前

n=38

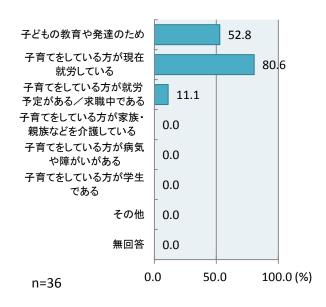
その他認可外保育施設の年齢別利用者数は、3歳(10人)、0歳・4歳(各7人)、2歳(6人)、1歳(5人)、5歳(3人)の順となっています。ただし、(9)自治体の認証・認定保育施設と混同して有効サンプル数が多い回答結果となった可能性があります。

利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(80.6%)、「子どもの教育や発達のため」(52.8%)となっており、その他の理由は「子育てをしている方が就労予定がある/求職中である」(11.1%)となっています。

## 問 その他認可外の保育施設の 年齢別利用者数

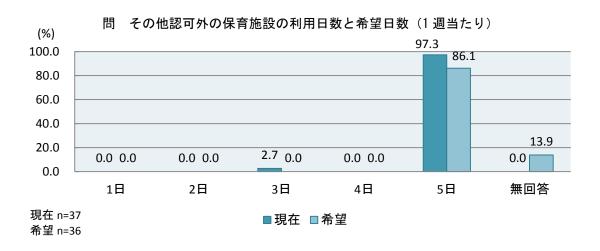


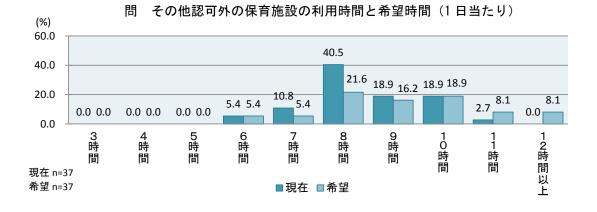
問 その他認可外の保育施設を利用 している理由(複数回答)



平日のその他認可外保育施設の利用日数と希望日数(1 週当たり)をみると、現在は「5 日」(97.3%)、「3 日」(2.7%)となっています。希望は「5 日」が 86.1%となっています。

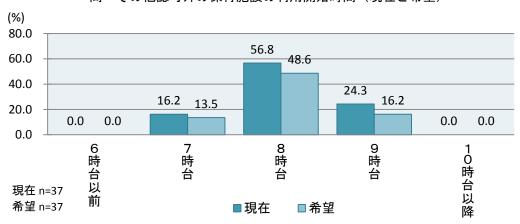
また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、現在は「8時間」(40.5%)、「9時間」「10時間」(各 18.9%)となっています。希望では「8時間」(21.6%)、「10時間」(18.9%)、「9時間」(16.2%)の順となっています。



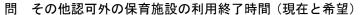


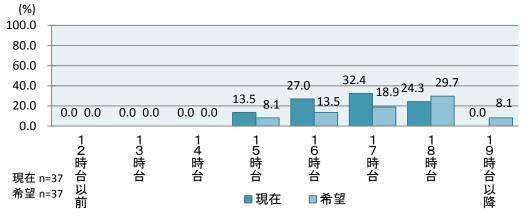
平日その他認可外保育施設の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は現在「8時台」(56.8%)、「9時台」(24.3%)、「7時台」(16.2%)の順となっています。 就労時間は「17時台」(32.4%)、「16時台」(27.0%)、「18時台」(24.3%)の順となっています。

その他認可外の保育施設では利用開始希望時間は現在と同じような傾向となっています。終了時間希望時間は「18時台」(29.7%)、「19時台以降」(8.1%)で増加し、17時台以前で減少しています。



問 その他認可外の保育施設の利用開始時間(現在と希望)





#### (11) 居宅訪問型保育

#### 1) 就学前

回答はありませんでした。

(12) ファミリー・サポート・センター

## 1) 就学前

ファミリー・サポート・センターの年齢別利用者数は、4歳(3人)、2歳・3歳(82人)、0歳(1人)の順となっています。

利用している理由の回答や利用時間等についての回答はありませんでした。

## 問 ファミリー・サポート・セン ターの年齢別利用者数



n=8

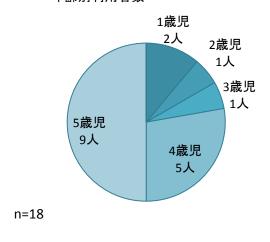
#### (13) 児童発達支援センター等

#### 1) 就学前

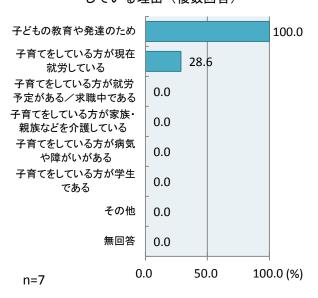
児童発達支援センター等の年齢別利用者数は、5歳(9人)、4歳(5人)、1歳(2人)、2歳・3歳(各1人)の順となっています。

利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(100.0%)、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(28.6%)となっており、その他の理由はありませんでした。

## 問 児童発達支援センター等の 年齢別利用者数

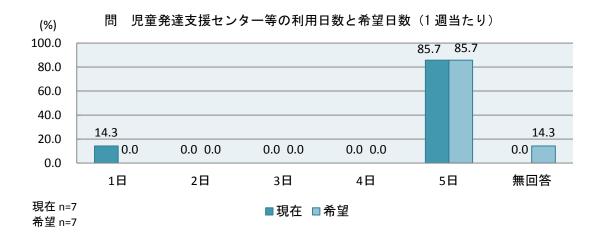


## 問 児童発達支援センター等を利用 している理由(複数回答)

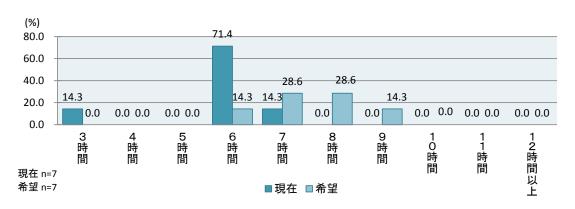


平日の児童発達支援センター等の利用日数と希望日数(1週当たり)をみると、現在・希望とも「5日」が85.7%、現在では「1日」(14.3%)となっています。

また、平日の利用時間と希望時間(1日当たり)について、現在は「6時間」(71.4%)、「3時間」「7時間」(各14.3%)となっています。希望では「7時間」から「9時間」で増加し、「6時間」「3時間」は減少しています。ニーズと利用時間が合っていない状況となっています。



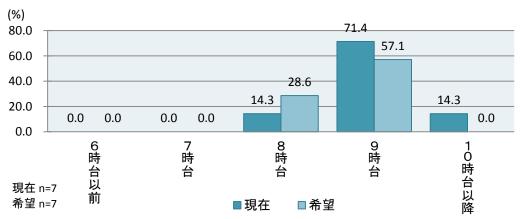
問 児童発達支援センター等の利用時間と希望時間(1 日当たり)



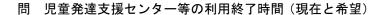
平日児童発達支援センター等の利用開始時間と利用終了時間をみると、開始時間は現在「9時台」(71.4%)、「8時台」「10時台以降」(各14.3%)となっており、終了時間は「15時台」(85.7%)、「12時台以前」(14.3%)となっています。

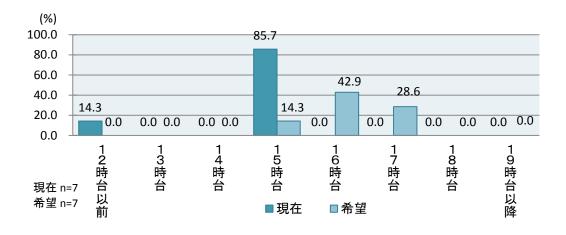
利用開始希望時間は「9時台」(57.1%)、「10時台以降」(0.0%)が減少し、「8時台」(28.6%)が増加しています。利用終了希望時間は「16時台」(42.9%)、「17時台」(28.6%)で増加し、「15時台」(14.3%)、「12時台以前」(0.0%)で減少しています。

児童発達支援センター等の利用終了時間は、現状とニーズが合っていない状況となっています。



問 児童発達支援センター等の利用開始時間(現在と希望)





#### (14) 定期的な教育・保育の利用理由と未利用の理由

#### 1) 就学前

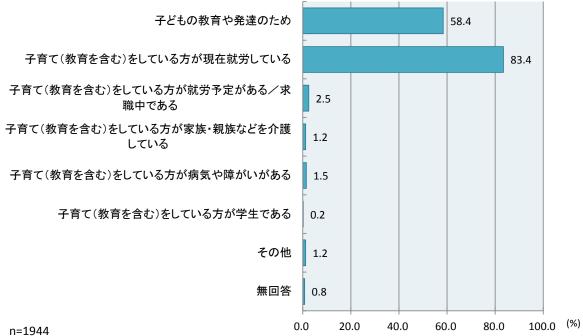
定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子育て(教育を含む)をしている方 が現在就労している」(83.4%)、「子どもの教育や発達のため」(58.4%)の順となっ ており、その他の理由はごく少数となっています。

一方、利用しない理由は、「子どもがまだ小さいため」(43.8%)、「利用する必要がな い」(42.3%)、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(19.9%) の順とな っています。

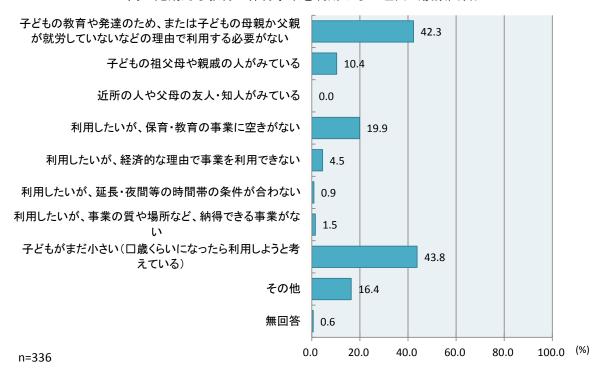
利用を希望する子どもの年齢については、「3歳」(45.4%)、「1歳」(30.0%)、「4 歳」(13.8%)の順となっており、およそ半数は幼稚園の利用開始や、保育所での定員 が増加する3歳での利用を希望し、次いで育児休業が終了する1歳からの利用を希望し ていることが窺えます。

問 定期的な教育・保育事業を利用している理由(複数回答)

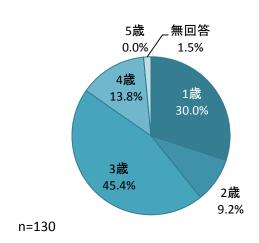
# 子どもの教育や発達のため 58.4



#### 問 定期的な教育・保育事業を利用しない理由 (複数回答)



問 「子どもがまだ小さいため」を選んだ方 定期的な教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢



#### (15) 休日の教育・保育事業の利用意向

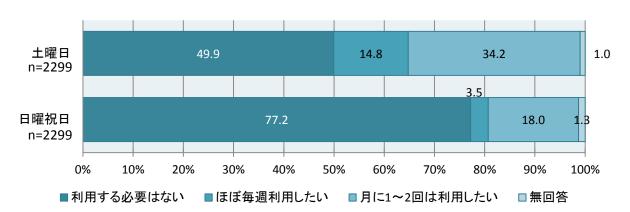
#### 1) 就学前

#### ①土曜日 • 日曜祝日

土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」(49.9%)がほぼ半数を占め、次いで「月に 1~2 回は利用したい」(34.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(14.8%)と、49.0%の方が利用を希望しています。

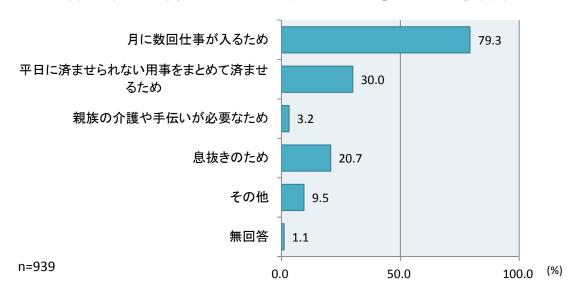
日曜祝日の利用希望は「利用する必要がない」(77.2%)が半数以上を占め、「次いで「月に1~2回は利用したい」(18.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(3.5%)と、21.5%の方が利用を希望しています。

土曜・日曜祝日において「月に 1~2 回は利用したい」方の理由は、「月に数回仕事が入るため」(79.3%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(30.0%)、「息抜きのため」(20.7%)の順となっています。



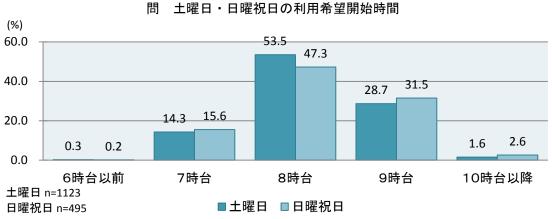
問 土曜日・日曜祝日の利用希望有無

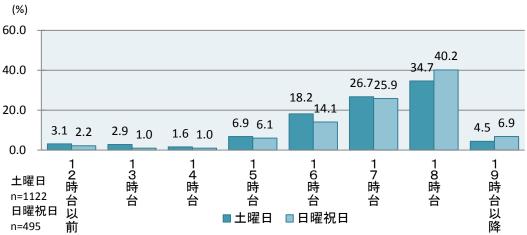




利用希望の開始時間は土曜日・日曜祝日とも「8 時台」(土曜日 53.5%、日曜祝日 47.3%) が最も多く、次いで「9時台」(土曜日 28.7%、日曜祝日 31.5%)、「7時台」 (土曜日 14.3%、日曜祝日 15.6%) の順となっています。

終了時間は、「18時台」(土曜日34.7%、日曜祝日40.2%)、「17時台」(土曜日 26.7%、日曜祝日 25.9%)、「16 時台」(土曜日 18.2%、日曜祝日 14.1%) の順と なっています。





土曜日・日曜祝日の利用希望終了時間

#### ②幼稚園の長期休暇期間

幼稚園の長期休暇期間の利用希望をみると、「利用希望はない」(45.2%)がほぼ半数 を占め、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(28.5%)、「休みの期間中、ほ ぼ毎日利用したい」(25.2%)と、53.7%の方が利用を希望しています。

利用希望の開始時間は「9時台」(53.6%)が最も多く、次いで「8時台」(40.7%)、 「7時台」(2.6%)の順となっています。

終了時間は、「17 時台」(26.3%)、「15 時台」「16 時台」(各 19.1%)、「18 時台」 (16.0%) の順となっています。

「週に数日利用したい」を選んだ方の理由は「週に数回仕事が入るため」(48.6%)、 「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(39.6%)、「息抜きのため」(38.7%)の 順となっています。

長期休暇期間の利用希望開始時間 長期休暇期間の利用希望有無 (%) 休みの期 無回答 53.6 60.0 間中、週に 1.1% 40.7 数日利用 40.0 したい 28.5% 利用希望 20.0 はない 2.6 2.1 1.0 0.0 45.2% 0.0 休みの期 6時, フ 時 8時 9時 10時台以 間中、ほぼ. 回 台以 台 台 台 毎日利用

n=361

前

n=194

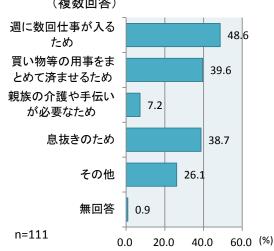
長期休業期間の利用希望終了時間

したい

25.2%



週に数日利用したい理由 (複数回答)



#### (16) 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

#### 1) 就学前

保護者のうち71.2%の方は、子どもの病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験がありました。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(80.6%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(43.3%)、「父親が休んだ」(30.6%)の順となっています。

「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」も 0.5%みられました。

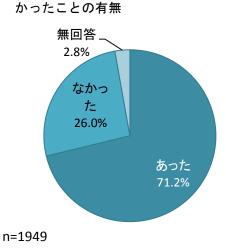
母親が休んだ日数は、「10日」(16.5%)、「5日」(16.2%)、「2日」(13.4%)の順、父親では「1日」(26.2%)、「2日」「3日」(18.9%)、「5日」(13.7%)の順となっています。

(同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数は、「2日」(20.1%)、「5日」(18.1%)、「10日」(12.6%)の順、就労していない保護者がみた日数は「5日」「10日」(各13.0%)、「3日」(14.2%)、「2日」(11.7%)の順となっています。

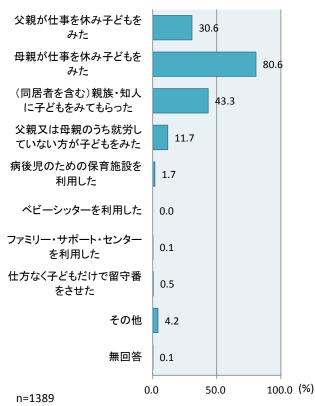
病児保育事業を利用した日数は、「2日」(21.7%)、「1日」「3日」「6日」(各17.4%)、「4日」「6日」(8.7%)の順となっています。

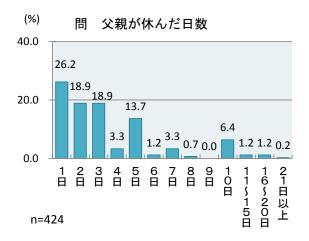
子どもだけで留守番させた日数は「2日」「3日」(各28.6%)、「1日」「4日」「5日」 (14.3%) の順となっています。

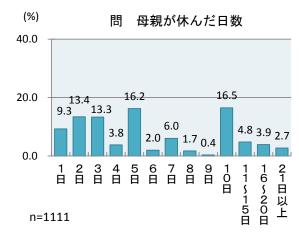
# 問 病気やケガで、通常の事業が利用できな

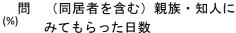


問 1年間の対処法(複数回答)





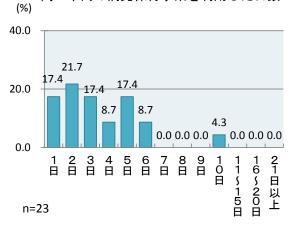


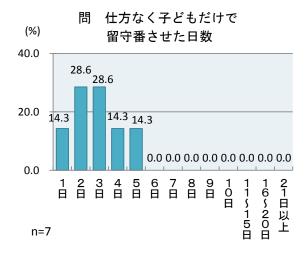






## 問 市内の病児保育事業を利用した日数



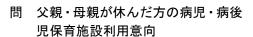


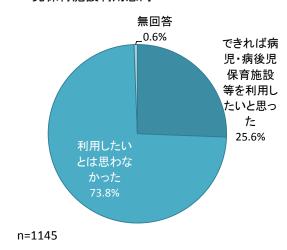
問 ベビーシッターを利用した日数 1人が「5日」と回答しています。

問 ファミリー・サポート・センターを利用した日数 1 人が「1日」、1人が「2日」と回答 しています。

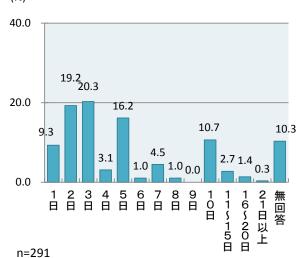
父親・母親のいずれかが休んだと回答した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、25.6%の方が希望し、その利用希望日数は「3日」(20.3%)、「2日」(19.2%)、「5日」(16.2%)の順となっています。

利用意向のない方の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(56.1%)、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(53.0%)、「利用料がかかる・高い」(27.8%)の順となっています。

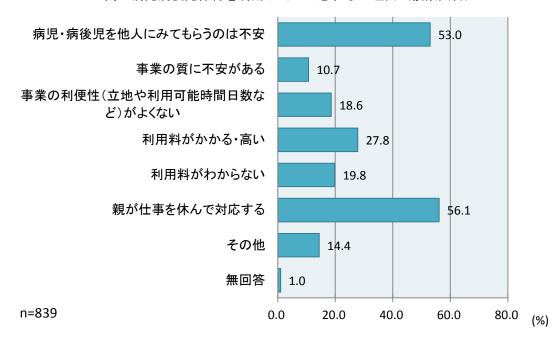




(%) 問 子どもを預ける場合の希望日数 (年間)

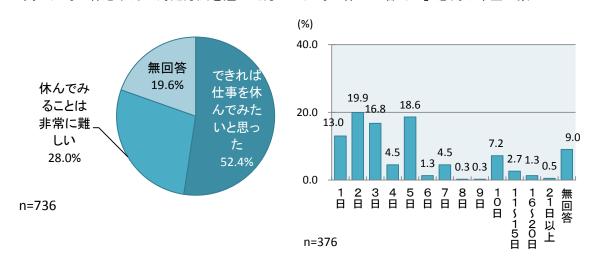


問 病児病後児保育を利用したいと思わない理由 (複数回答)

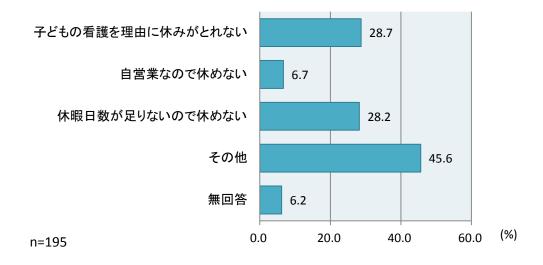


父母のいずれかが休む以外の対処方法を選んだ方に対して「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」という意向をみると、52.4%の方が「できれば仕事を休んでみたい」と回答しています。一方、「休んでみることは非常に難しい」の理由は、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(28.7%)「休暇日数が足りないので休めない」(28.2%)、の順となっています。

#### 問 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい」意向と希望日数



問 「休んでみることは非常に難しい」理由(複数回答)



#### 2) 就学児

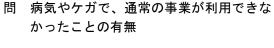
保護者のうち55.7%の方は、子どもの病気やケガで通常の教育事業が利用できなかっ た経験がありました。その際の対処方法は、「母親が休んだ」(65.7%)、「(同居者を含 む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(34.7%)、「父親が休んだ」(17.8%) の順 となっています。

「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」も4.4%みられました。

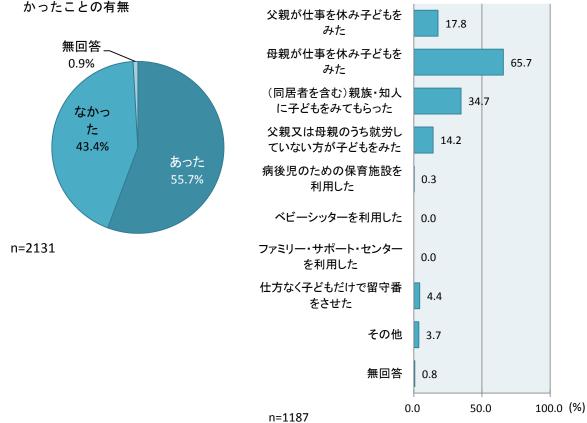
母親が休んだ日数は、「1日」(29.7%)、「2日」(22.2%)、「3日」(15.8%)の順、 父親では「1日」(46.5%)、「2日」(26.5%)、「3日」(11.2%)の順となっていま す。

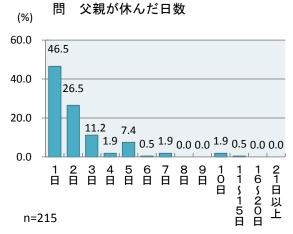
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった日数は、「1日」(27.7%)、「2日」(22.3%)、 「3 日」(16.9%) の順、就労していない保護者がみた日数は「1 日」(22.6%)、「2 日」(19.0%)、「5日」(14.9%) の順となっています。

子どもだけで留守番させた日数は「1日」(38.5%)、「2日」(25.0%)、「3日」(13.5%) の順となっています。

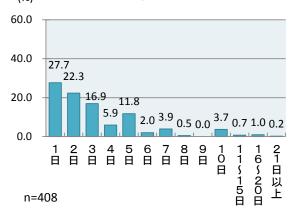


問 1年間の対処法(複数回答)



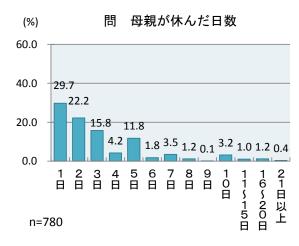


(同居者を含む) 親族・知人に (%) みてもらった日数



問 市内の病児保育事業を利用した日数 3人が「1日」、1人が「2日」と回答し ています。

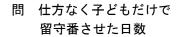
問 ファミリー・サポート・センターを利用した日数 回答はありませんでした。

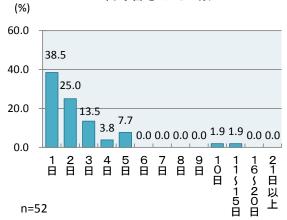


問 就労していない保護者がみた日数 (%) 60.0 40.0 22.6 19.0 20.0 4.2 <sup>5.4</sup> 0.6 1.2 <sup>4.2</sup> 0.0 0.6 0.6 0.0 7 8 9 日 日 21日以上 11~15日 16~20日

問 ベビーシッターを利用した日数 回答はありませんでした。

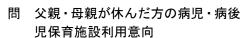
n=168

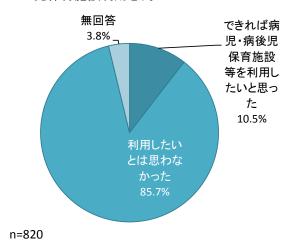




父親・母親のいずれかが休んだと回答した方の病児・病後児保育施設の利用意向をみると、10.5%の方が希望し、その利用希望日数は「1日」「3日」(各23.2%)、「2日」(18.3%)、「5日」(9.8%)の順となっています。

利用意向のない方の理由は、「親が仕事を休んで対応する」(54.8%)、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(43.7%)、「利用料がかかる・高い」(23.0%)の順となっています。

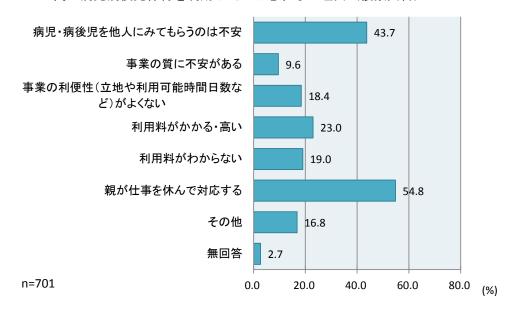




問 子どもを預ける場合の希望日数(年間)

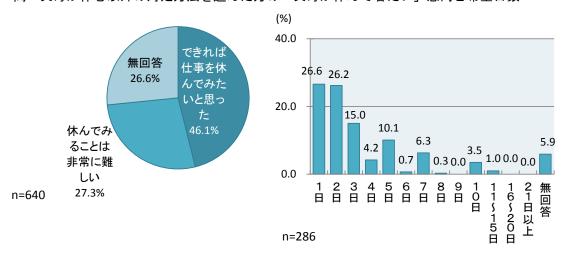


問 病児病後児保育を利用したいと思わない理由 (複数回答)

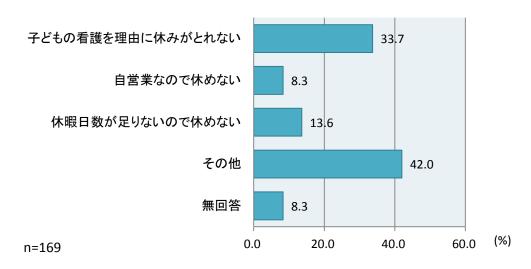


父母のいずれかが休む以外の対処方法を選んだ方に対して「父母のいずれかが仕事を休んで看たい」という意向をみると、46.1%の方が「できれば仕事を休んでみたい」と回答しています。一方、「休んでみることは非常に難しい」の理由は、「子どもの看護を理由に休みが取れない」(33.7%)「休暇日数が足りないので休めない」(13.6%)、の順となっています。

# 問 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が休んで看たい」意向と希望日数



問 「休んでみることは非常に難しい」理由(複数回答)

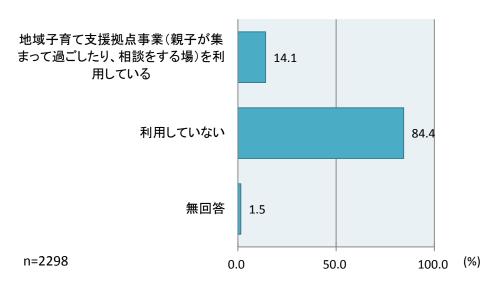


# 2. 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

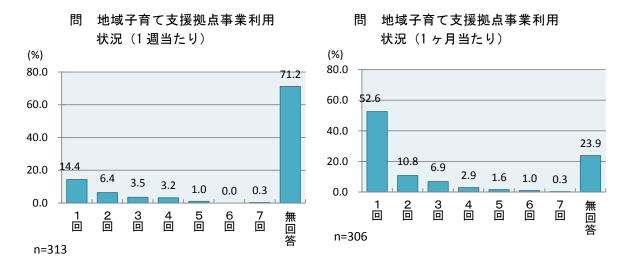
#### 1) 就学前

地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「地域子育て支援拠点事業」の利用者が14.1%、「利用していない」84.4%となっています。



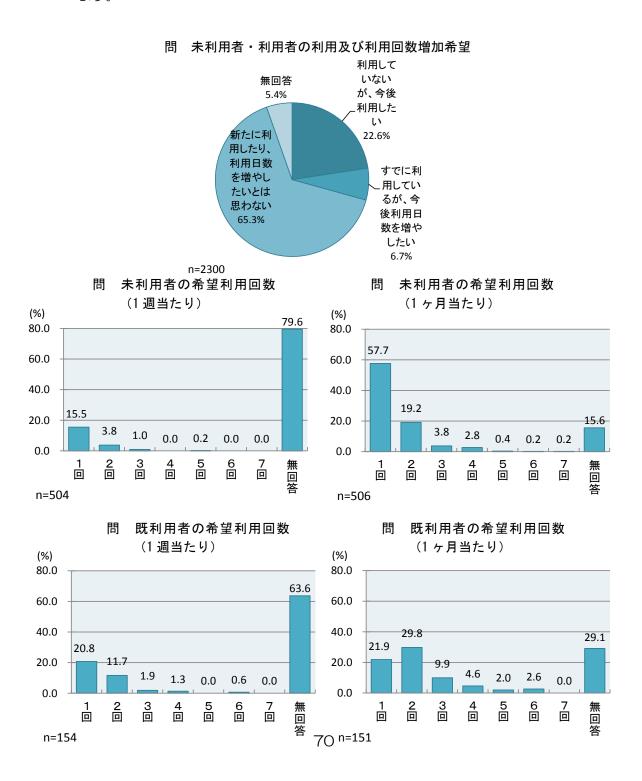
問 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業の利用回数 (1 週当たり) は、「1 回」 (14.4%) が最も多く、次いで「2 回」 (6.4%)、「3 回」 (3.5%) の順となっています。地域子育て支援拠点事業利用回数 (1 ヶ月当たり) は「1 回」 (52.6%)、「2 回」 (10.8%)、「3 回」 (6.9%)の順となっています。



未利用者は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 65.3%を 占め、次いで「利用していないが今後利用したい」(22.6%)、利用者は「すでに利用し ているが今後利用日数を増やしたい」(6.7%) と回答しています。

未利用者の希望利用回数(1週当たり)は、「1回」(15.5%)、「2回」(3.8%)の順で多くなっています。未利用者の希望利用回数(1ヶ月当たり)は「1回」(57.7%)、「2回」(19.2%)の順となっています。また、利用者の増やしたい利用回数(1週当たり)は、「1回」(20.8%)、「2回」(11.7%)の順となっており、利用者の増やしたい利用回数(1ヶ月当たり)は「2回」(29.8%)、「1回」(21.9%)の順となっています。

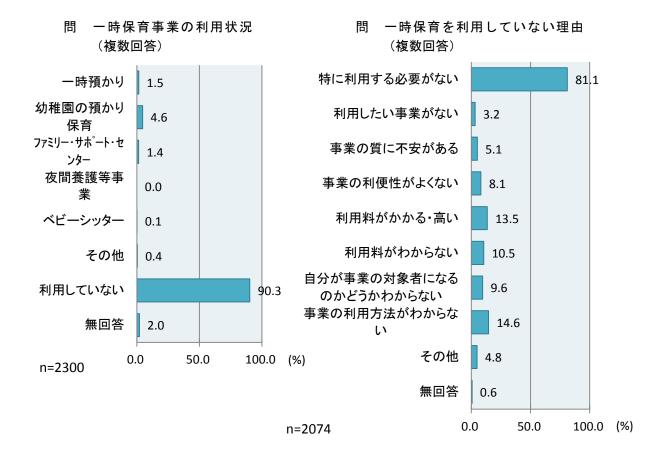


## (2) 不定期の一時保育の利用について

## 1) 就学前

一時保育の利用状況をみると、「利用していない」(90.3%)がほとんどを占め、「幼稚園の預かり保育」(4.6%)、「一時預かり」(1.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.4%)と、あまり利用がない状況です。

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(81.1%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.6%)「利用料がかかる・高い」(13.5%)、の順となっています。

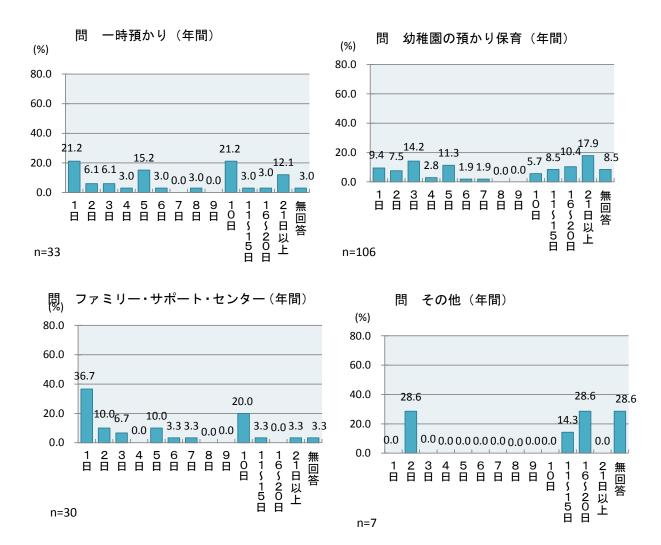


事業ごとに利用日数をみると、一時預かりは年間「1日」「10日」(各21.2%)、「5日」(15.2%)、「21日以上」(12.1%)の順となっています。

幼稚園の預かり保育は「21 日以上」(17.9%)、「3 日」(14.2%)、「5 日」(11.3%)の順となっています。

ファミリー・サポート・センターは「1日」(36.7%)、「10日」(20.0%) となっています。

その他は「2日」「16~20日」(各28.6%)、「11~15日」(14.3%) となっています。

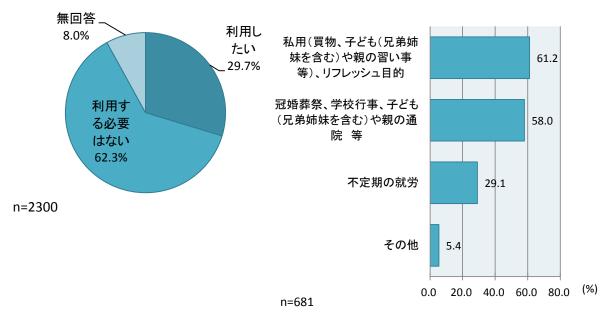


問 夜間養護等事業 「2日」が1人でした。

問 ベビーシッター 「10日」が1人、「21日以上」 が1人でした。

一時保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」(62.3%)、「利用したい」(29.7%)となっています。利用したい方の利用目的は、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(61.2%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(58.0%)、「不定期の就労」(29.1%)の順となっています。また、利用希望年間合計日数では、「21 日以上」(18.3%)が最も多くなっています。

問 一時保育事業の利用希望とその目的(複数回答)



問 利用希望年間合計日数

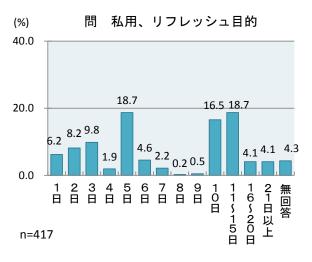


目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「11~15 日」 「5日」(各18.7%)、「10日」(16.5%)の順となっています。

冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「5日」(23.7%)、「3日」「10日」(13.6%)、「1日」(10.1%)の順となっています。

不定期の就労目的は、「10 日」(13.7%)、「21 日以上」(11.7%)、「11~15 日」「16~20日」(10.2%) の順となっています。

その他の目的は、「21 日以上」(27.0%)、「1 日」(13.5%)、「10 日」「11~15 日」(10.8%) の順で多くなっています。

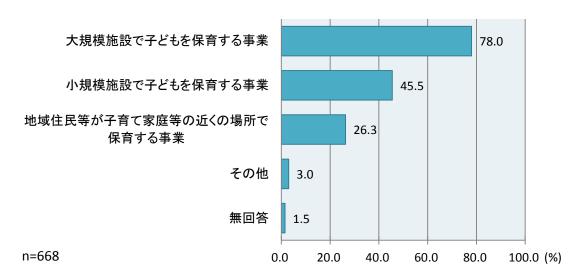






子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」(78.0%)、「小規模施設で子どもを保育する事業」(45.5%)、「地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」(26.3%)の順となっています。

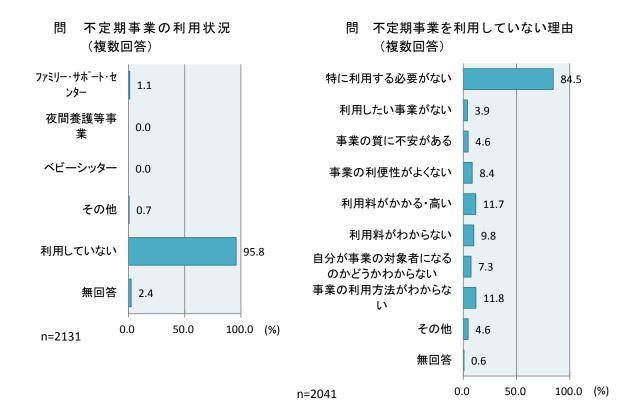
問 子どもを預ける場合の望ましい事業形態(複数回答)



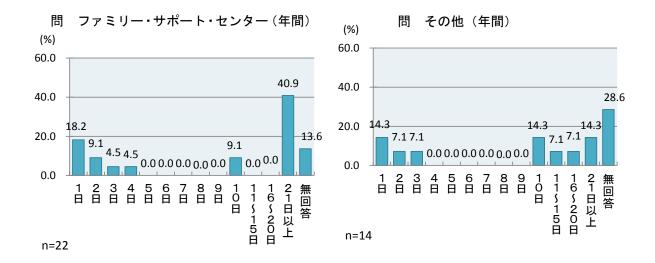
# 2) 就学児

不定期事業の利用状況をみると、「利用していない」(95.8%)がほとんどを占め、「ファミリー・サポート・センター」(1.1%)と、あまり利用がない状況です。

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(84.5%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(11.8%)「利用料がかかる・高い」(11.7%)、の順となっています。



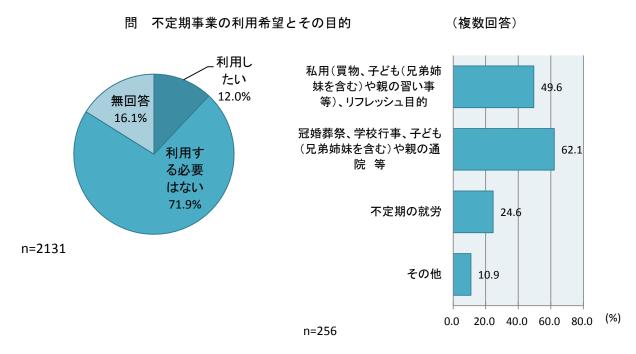
事業ごとに利用日数をみると、ファミリー・サポート・センターは「21 日以上」(40.9%)、「1 日」(18.2%)、「2 日」「10 日」(各'9.1%) となっています。 その他は「1 日」「10 日」「21 日以上」(各 14.3%)、「2 日」「3 日」「11~15 日」「16~29 日」(各 7.1%) となっています。



問 夜間養護等事業 「21 日以上」が 1 人でし

問 ベビーシッター等 「4日」が1人でした。

不定期事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」(71.9%)、「利用したい」(12.0%)となっています。利用したい方の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(62.1%)、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(49.6%)、「不定期の就労」(24.6%)の順となっています。また、利用希望年間合計日数では、「5日」(15.1%)、「10日」(13.5%)、「21日以上」(13.1%)の順となっています。



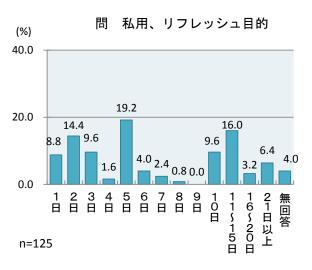


目的ごとの希望利用日数をみると、私用・リフレッシュ目的は、年間「5日」(19.2%)、「11~15日」(16.0%)、「2日」(14.4%)の順となっています。

冠婚葬祭、学校行事、家族の通院目的は、「5日」(28.1%)、「1日」「2日」(各12.5%)、「10日」(10.6%)の順となっています。

不定期の就労目的は、「5日」「11~15日」(各 16.1%)、「10日」(12.5%)、「3日」「7日」(各 10.7%)の順となっています。

その他の目的は、「3日」(21.1%)、「21日以上」(15.8%)、「1日」「5日」「7日」 「11~15日」(各10.5%)の順で多くなっています。



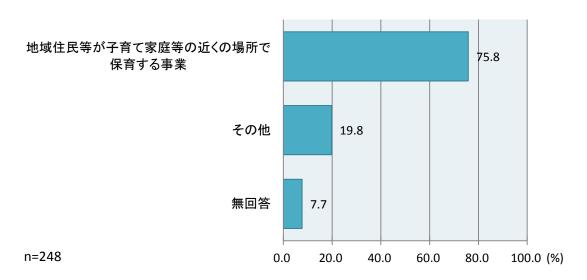






子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「地域住民等が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」(75.8%)となっています。

# 問 子どもを預ける場合の望ましい事業形態(複数回答)



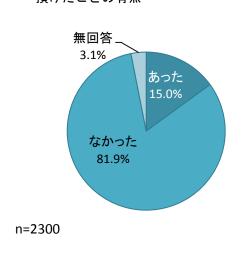
## (3) 宿泊を伴う一時保育の利用について

## 1) 就学前

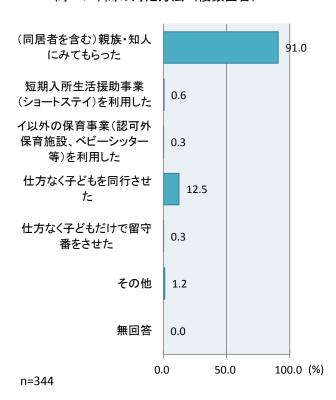
この 1 年間に保護者の用事等で子どもを泊まりがけで家族以外に預けた方は、15.0%となっています。

この対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(91.0%) が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「特に困難ではない」(54.0%)、「どちらかというと困難」(34.6%)、「非常に困難」(11.4%) となっています。

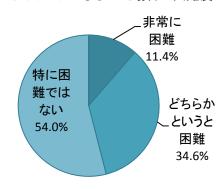
問 この1年間に保護者の用事等で子 どもを泊まりがけで家族以外に 預けたことの有無



問 1年間の対処方法(複数回答)



問 親族・知人にみてもらった場合の困難度



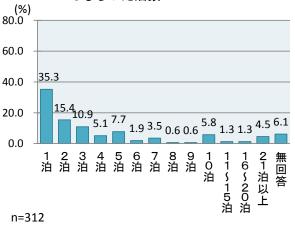
n=315

(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった預けた泊数は、「1 泊」(35.3%)、「2 泊」 (15.4%)、「3 泊」(10.9%) の順となっています。

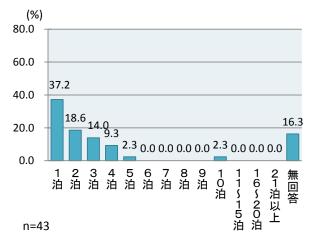
仕方なく子どもを同行させた泊数は、「1 泊」(37.2%)、「2 泊」(18.6%)、「3 泊」(14.0%)、の順となっています。

その他の対処をした泊数では、「1泊」「2泊」「4泊」(各25.0%)となっています。

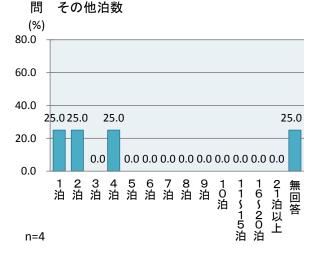
問 (同居者を含む)親族・知人にみ てもらった泊数



問 仕方なく子どもを同行させた泊数



田 スの仏治粉



問 短期入所短期入所生活援助事業泊数 2人が「2泊」と回答しています。

# 問 (認可外保育施設、ベビーシッター等 泊数

1人が「2泊」と回答しています。

# 問 仕方なく子どもだけで留守番をさ せた泊数

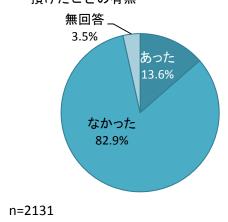
1人が「3泊」と回答しています。

## 2) 就学児

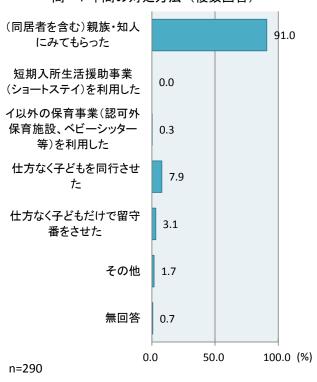
この 1 年間に保護者の用事等で子どもを泊まりがけで家族以外に預けた方は、13.6%となっています。

この対処方法は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(91.0%) が最も多くなっています。また、親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「特に困難ではない」(57.8%)、「どちらかというと困難」(34.6%)、「非常に困難」(6.5%) となっています。

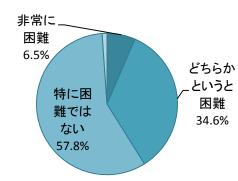
問 この1年間に保護者の用事等で子 どもを泊まりがけで家族以外に 預けたことの有無



問 1年間の対処方法(複数回答)



問 親族・知人にみてもらった場合の困難度

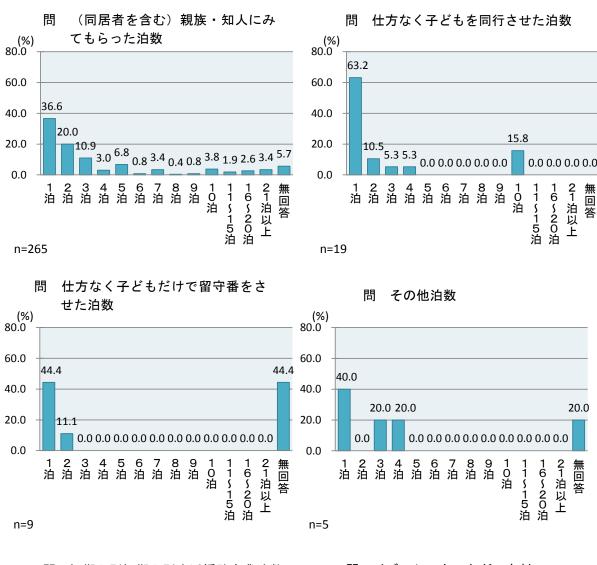


(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった預けた泊数は、「1 泊」(36.6%)、「2 泊」(20.0%)、「3 泊」(10.9%) の順となっています。

仕方なく子どもを同行させた泊数は、「1 泊」(63.2%)、「10 泊」(15.8%)、「2 泊」(10.5%) の順となっています。

仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数は、「1泊」(44.4%)、「2泊」(11.1%)、 の順となっています。」

その他の対処をした泊数では、「1 泊」(40.0%)、「3 泊」「4 泊」(各 20.0%) となっています。



問 短期入所短期入所生活援助事業泊数 2人が「2泊」と回答しています。

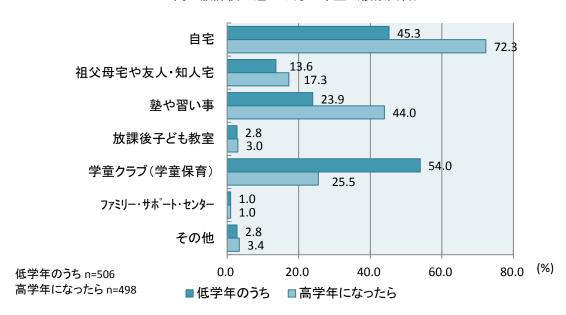
問 ベビーシッターなどの有料の 預かりサービス泊数 1人が「1泊」と回答しています。

# 3. 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

#### 1) 就学前

放課後の過ごし方をみると、就学前児童の希望では小学校低学年のうちは「学童クラブ(学童保育)」(54.0%)、「自宅」(45.3%)、「塾や習い事」(23.9%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.6%)の順となっています。また、小学校高学年になると「自宅」(72.3%)、「塾や習い事」(44.0%)、「学童クラブ(学童保育)」(25.5%)「祖父母宅や友人・知人宅」(17.3%)となり、「学童クラブ」が減少した反面、「自宅」と「塾や習い事」が増加しています。



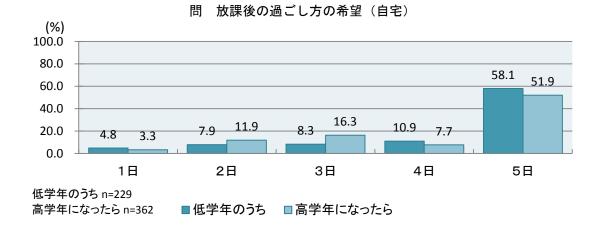
問 放課後の過ごし方の希望(複数回答)

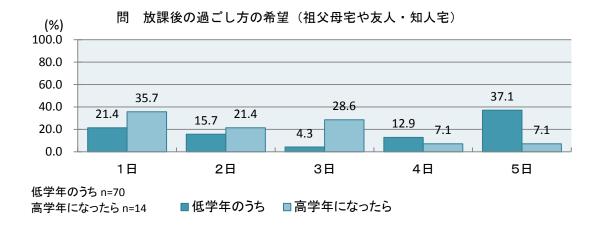
就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と日数をみると、「自宅」では「5日」(低学年時期58.1%・高学年時期51.9%)が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では、低学年時期は「5日」(37.1%)、高学年時期は「1日」(35.7%)が最も多くなっています。

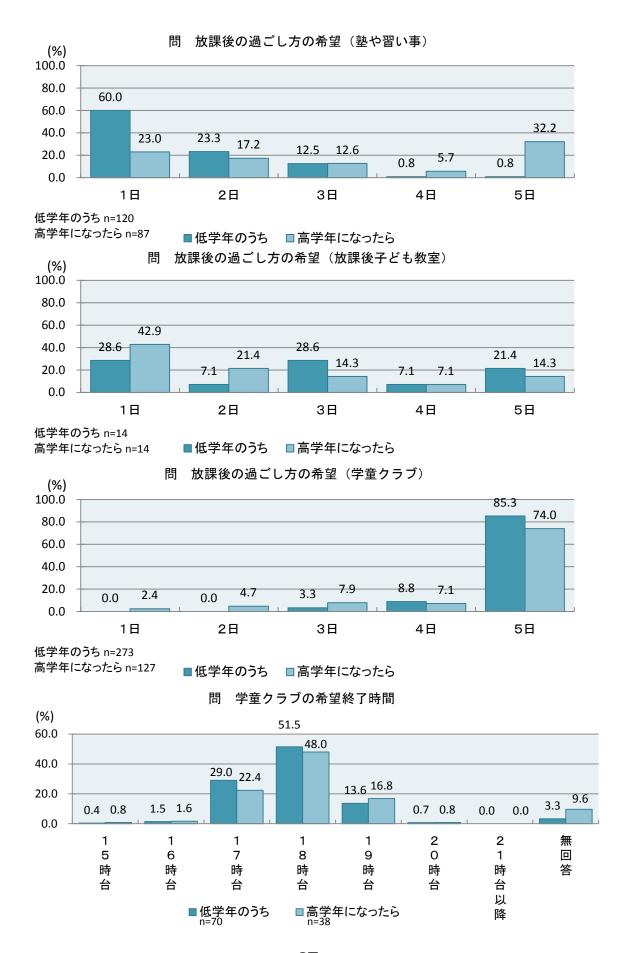
「塾や習い事」では、低学年時期は「1日」(60.0%)、高学年時期は「5日」(32.2%) が最も多くなっています。「放課後子ども教室」では、低学年時期「1日」「3日」(各28.6%)、高学年時期は「1日」(42.9%) が最も多くなっています。

「学童クラブ(学童保育)」でも「5 日」(低学年時期 85.3%・高学年時期 74.0%) が最も多くなっています。利用時間は、「18 時台」まで(低学年時期 51.5%・高学年時期 48.0%) が最も多くなっています。

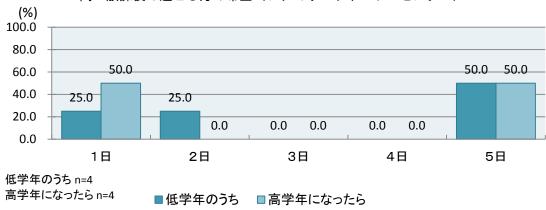
「ファミリー・サポート・センター」では、低学年時期で「5 日」(50.0%)、高学年時期で「1 日」「5 日」(各 50.0%)が最も多くなっています。「その他(公民館、公園など)」では、低学年時期で「2 日」(35.7%)、高学年時期「5 日」(41.2%)が最も多くなっています。



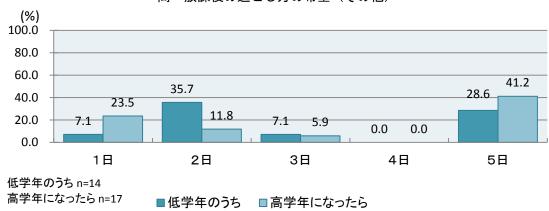




# 問 放課後の過ごし方の希望(ファミリーサポート・センター)



# 問 放課後の過ごし方の希望(その他)



# 2) 就学児

現在は、「自宅」(62.5%)、「学童クラブ(学童保育)」(32.5%)、「塾や習い事」(31.4%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(12.2%)の順となっています。

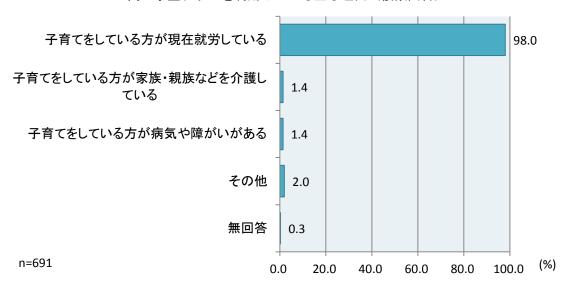
お子さんが高学年になった時の希望は、「自宅」(73.9%)、「塾や習い事」(44.5%)、「学童クラブ(学童保育)」(19.4%)の順となっています。

62.5 自宅 73.9 12.2 祖父母宅や友人・知人宅 13.7 31.4 塾や習い事 44.5 0.4 放課後子ども教室 2.9 32.5 学童クラブ(学童保育) 19.4 0.3 ファミリー・サホ゜ート・センター 0.3 1.9 その他 3.6 80.0 (%) 0.0 現在 n=2131 20.0 40.0 60.0 高学年になったら n=2131 ■現在 ■高学年になったら

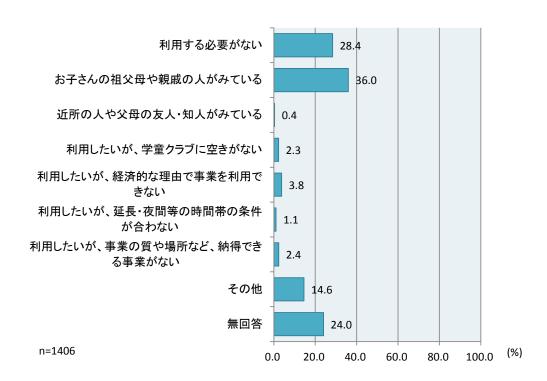
問 放課後の過ごし方の希望(複数回答)

学童クラブを理由している主な理由は「子育てをしている方が現在就労している」 (98.0%)が理由のほとんどを占め、その他の理由はごく僅かとなっています。 学童クラブを利用していない主な理由は「お子さんの祖父母や親戚の人がみている」 (36.0%)、次いで「利用する必要がない」(28.4%)の割合が多くなっています。

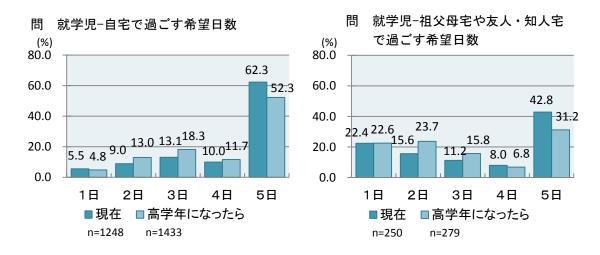
問 学童クラブを利用している主な理由(複数回答)



問 学童クラブを利用していない主な理由(複数回答)



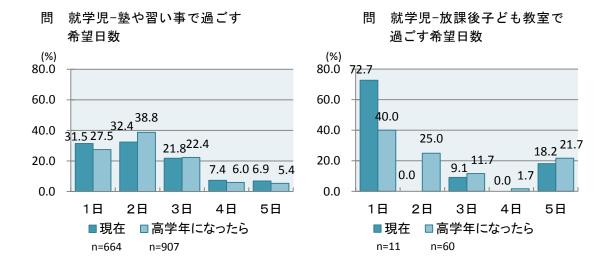
就学児が放課後を現在過ごしている場所と日数と希望の場所と日数をみると、「自宅」では「5日」(現在62.3%・高学年時期52.3%)が最も多くなっています。「祖父母宅や友人・知人宅」では「5日」(現在42.8%・高学年時期31.2%)が最も多くなっています。

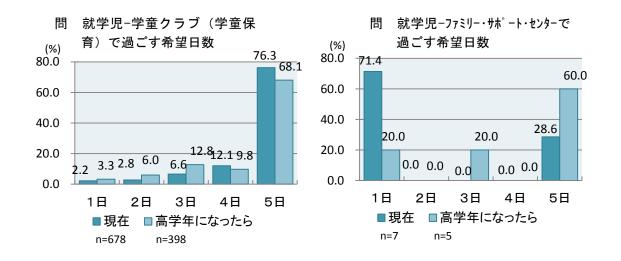


「習い事」では「2日」(現在32.4%・高学年時期38.8%)が最も多くなっています。「放課後子ども教室」では「1日」(現在72.7%・高学年時期40.0%)が最も多くなっています。

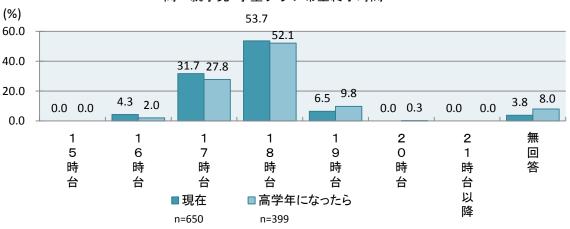
「学童クラブ(学童保育)」では、「5 日」(現在 76.3%・高学年時期 68.1%) が最も多くなっています。利用終了時間は、「18 時台」(現在 53.7%・高学年時期 52.1%) が最も多くなっています。

「ファミリー・サポート・センター」では現在「1日」(71.4%)、高学年時期は「5日」(60.0%)が最も多くなっています。「その他(公民館、公園など)」では「2日」(現在28.2%・高学年時期40.3%)が最も多くなっています。

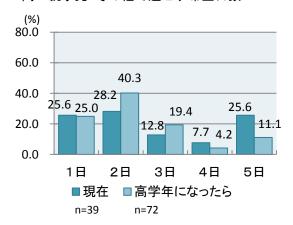




問 就学児-学童クラブ希望終了時間



問 就学児-その他で過ごす希望日数



# (2) 土曜の学童クラブ利用について

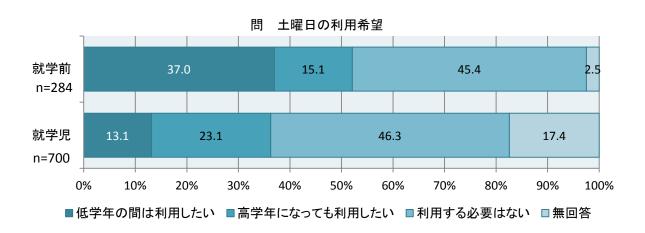
#### 1) 共通

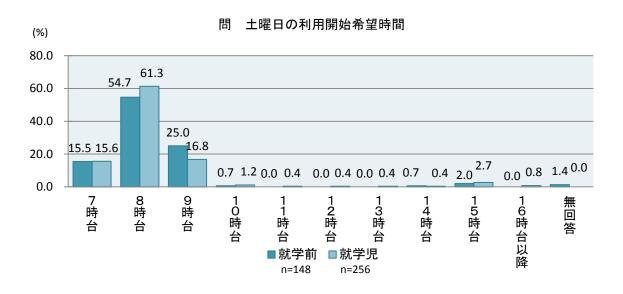
就学前児童の保護者が、子どもが小学生になった際の学童クラブ(学童保育)の、土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」(45.4%)、「低学年の間は利用したい」(37.0%)、「高学年になっても利用したい」(15.1%)の順となっています。

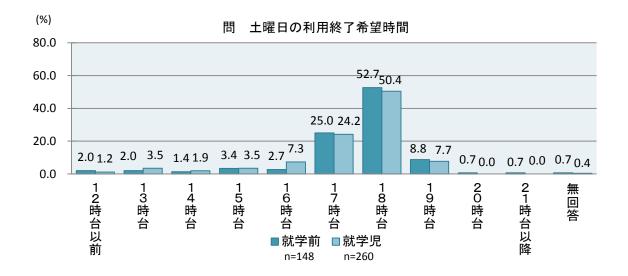
就学児における土曜日利用希望をみると、「利用する必要はない」(46.3%)、「高学年になっても利用したい」(23.1%)、「低学年の間は利用したい」(13.1%)となっています。就学前は高学年までよりも低学年までの方が高く、就学児では低学年までよりも高学年までの方が高くなっています。

土曜の利用開始希望時間は「8 時台」(就学前 54.7%・就学児 61.3%)、「9 時台」(就学前 25.0%・就学児 16.8%)、「7 時台」(就学前 15.5%・就学児 15.6%) の順となっています。

土曜の利用終了希望時間は「18 時台」(就学前 52.7%・就学児 50.4%)、「17 時台」 (就学前 25.0%・就学児 24.2%)、「19 時台」(就学前 8.8%・就学児 7.7%)の順となっています。







#### (3) 日曜・祝日の学童クラブの利用について

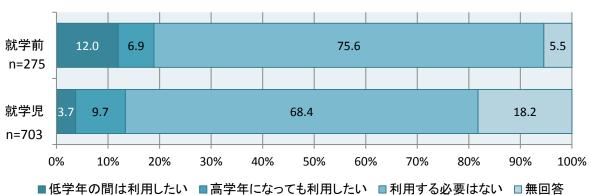
#### 1) 共通

就学前児童の保護者が、子どもが小学生になった際の学童クラブ(学童保育)の、日曜・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」(75.6%)、「低学年の間は利用したい」(12.0%)、「高学年になっても利用したい」(6.9%)の順となっています。

就学児における日曜・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」(68.4%)、「高学年になっても利用したい」(9.7%)、「低学年の間は利用したい」(3.7%)となっています。就学前は高学年までよりも低学年までの方が高く、就学児では低学年までよりも高学年までの方が高くなっています。

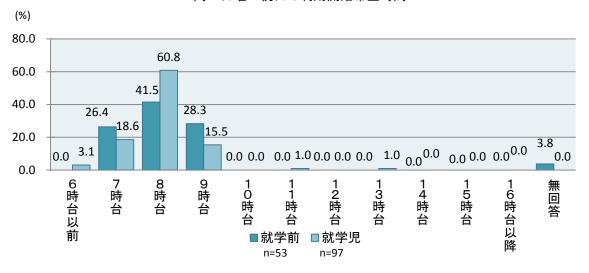
日曜・祝日の利用開始希望時間は「8時台」(就学前41.5%・就学児60.8%)、2番目に就学前は「9時台」(28.3%)、就学児は「7時台」(18.6%)、3番目に就学前は「7時台」(26.4%)、就学児は「9時台」(15.5%)の順で多くなっています。

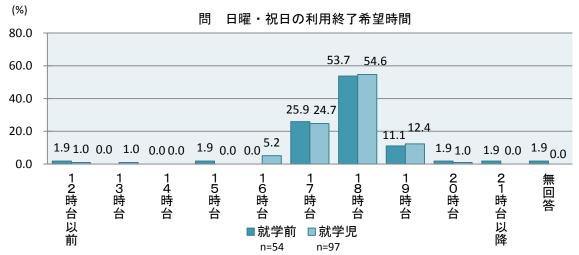
日曜・祝日の利用終了希望時間は「18 時台」(就学前 53.7%・就学児 54.6%)、「17 時台」(就学前 25.9%・就学児 24.7%)、「19 時台」(就学前 11.1%・就学児 12.4%)の順となっています。



問 日曜・祝日の利用希望

問 日曜・祝日の利用開始希望時間





# (4) 長期休暇期間中の学童クラブ利用について

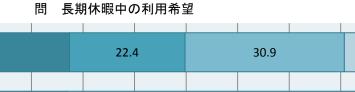
#### 1) 共通

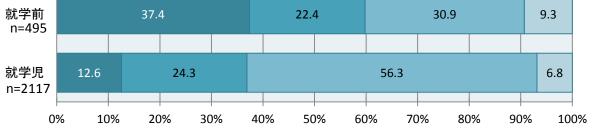
就学前児童の保護者が、子どもが小学生になった際の学童クラブ(学童保育)の、長期休暇中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(37.4%)、「利用する必要はない」(30.9%)、「高学年になっても利用したい」(22.4%)の順となっています。

就学児における長期休暇中の利用希望をみると、「利用する必要はない」(56.3%)、「高学年になっても利用したい」(24.3%)、「低学年の間は利用したい」(12.6%)となっています。就学前は高学年までよりも低学年までの方が高く、就学児では低学年までよりも高学年までの方が高くなっています。

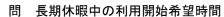
長期休暇中の利用開始希望時間は「8 時台」(就学前 63.3%・就学児 66.2%)、「9 時台」(就学前 21.8%・就学児 17.2%)、「7 時台」(就学前 12.1%・就学児 13.3%)、の順で多くなっています。

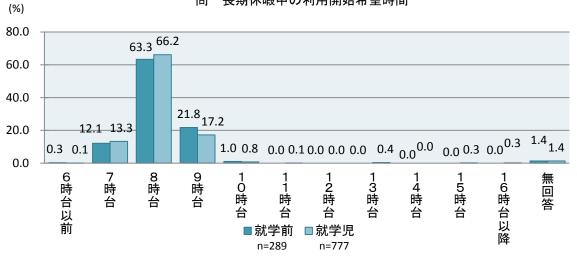
長期休暇中の利用終了希望時間は「18時台」(就学前53.4%・就学児52.8%)、「17時台」(就学前27.6%・就学児27.0%)、3番目に就学前は「19時台」(6.6%)、就学児は「16時台」(7.7%)の順で多くなっています。





■低学年の間は利用したい ■高学年になっても利用したい ■利用する必要はない □無回答





長期休暇中の利用終了希望時間

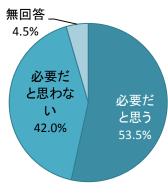


# (5) 放課後の居場所について

## 1) 就学児

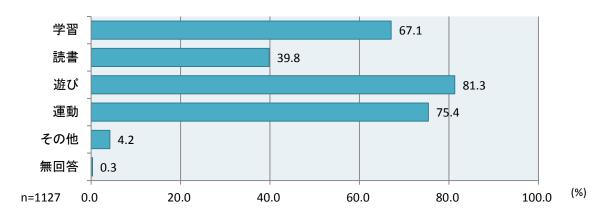
(1) 平日の放課後の過ごし方で示した普段放課後を過ごす場所以外に、放課後や土曜・休日にお子さんの居場所必要か聞いたところ、およそ半数が「必要だと思う」(53.5%)と回答しており、必要だと考える活動は、「遊び」(81.3%)、「運動」(75.4%)、「学習」(67.1%)の順で高くなっています。

問 普段放課後や休日を過ごす場所以外の居場所が必要か



n=2131

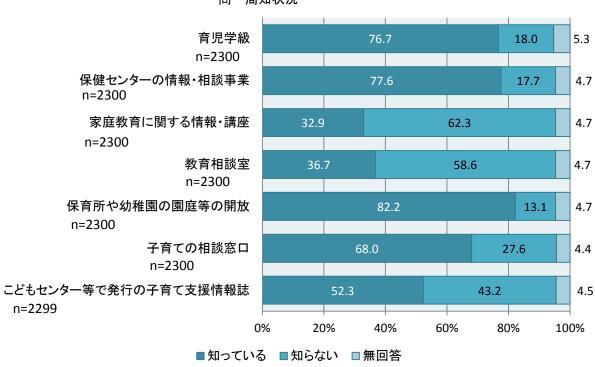
問 普段放課後や休日を過ごす場所以外の居場所での活動内容(複数回答)



## 4. 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

## 1) 就学前

子育て支援事業の周知度をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(82.2%)、「保健センターの情報・相談事業」(77.6%)、「育児学級」(76.7%)、「子育ての相談窓口」(68.0%)、「こどもセンター等で発行の子育て支援情報誌」(52.3%)は5割以上の周知度となっていますが、「教育相談室」「家庭教育に関する情報・講座」は3割台の周知度にとどまっています。



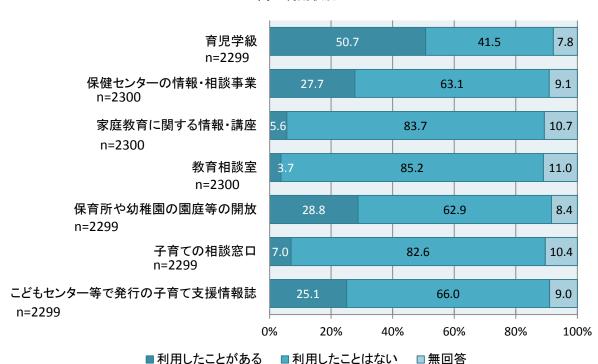
問 周知状況

利用状況は「育児学級」(50.7%)が5割となっている以外は、3割以下の利用度となっています。

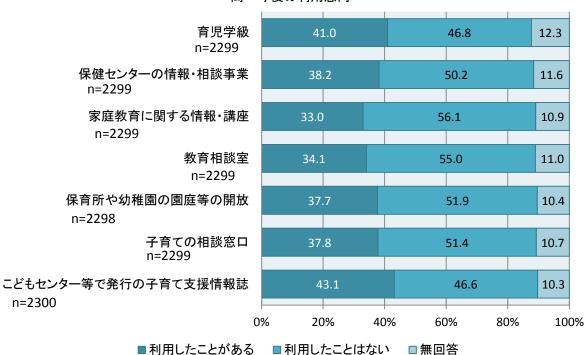
今後の利用希望では全てにおいて5割を下回っています。特に「保健センターの情報・ 相談事業」は周知度が77.6%と高いのに対し、利用希望は38.2%にとどまっています。

「家庭教育に関する情報・講座」「教育相談室」は、周知度、利用度、今後の利用希望においても、他に比べて低い割合となっています。

問 利用状況



#### 問 今後の利用意向



# 第4章 育児休業制度の利用状況

## 1. 育児休業制度の利用状況

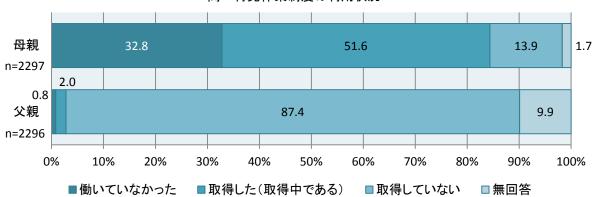
## (1) 育児休業の取得

#### 1) 就学前

育児休業制度の利用状況をみると、母親は「取得した(取得中である)」(51.6%)に対して、父親は「取得した(取得中である)」(2.0%)となり、父親が取得することの難しさが窺えます。

また、育児休業を利用しない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(29.7%)、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(26.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(24.8%)の順に多くなっています。

一方父親は、「配偶者が育児休業制度を利用した」(38.5%)、「仕事が忙しかった」(37.1%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(31.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(28.6%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(26.0%)など、母親の理由との違いが見られます。

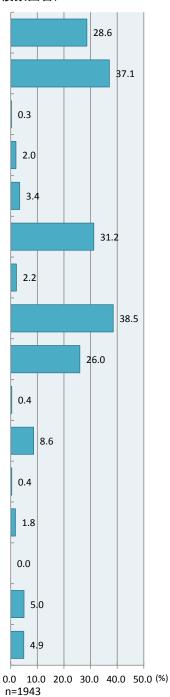


問 育児休業制度の利用状況

問 母親の育児休業を利用しない理由 (複数回答)

問 父親の育児休業を利用しない理由 (複数回答)



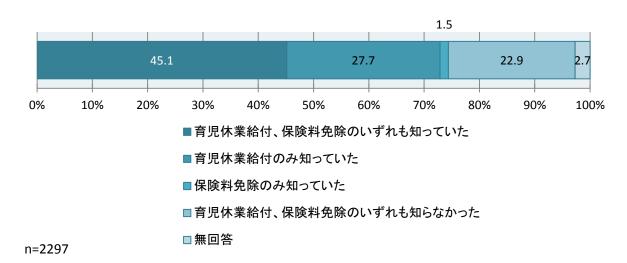


## (2) 育児休業に関する制度

## 1) 就学前

育児休業給付と社会保険料免除の仕組みの認知状況をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(45.1%)、「育児休業給付のみを知っていた」(27.7%)、「保険料免除のみ知っていた」(1.5%)となっている一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(22.9%)という回答もまだ多い状況です。

# 問 育児休業給付の支給と健康保険・厚生年金保険料免除の仕組みを知っているか

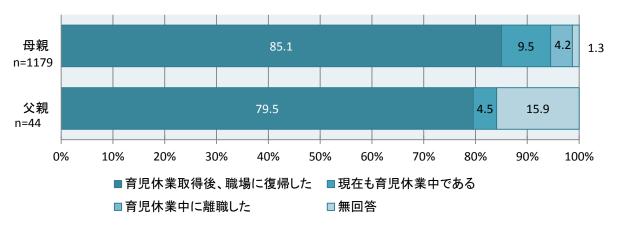


#### (3) 育児休業後の対処

## 1) 就学前

育児休業取得後の対処をみると、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」(85.1%)、「現在も育児休業中である」(9.5%)、「育児休業中に離職した」(4.2%)となっています。

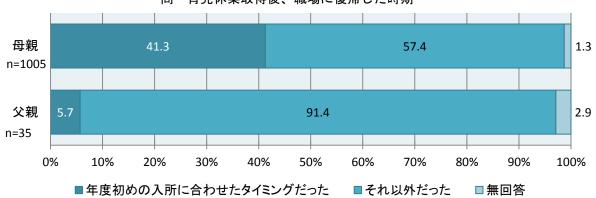
一方父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」(79.5%)、「現在も育児休業中である」(4.5%)となっており「育児休業中に離職した」方はいませんでした。



問 育児休業取得後、職場に復帰したか

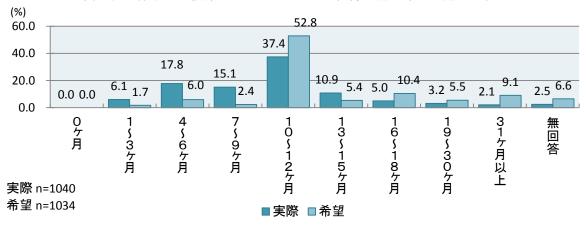
育児休業取得後に職場へ復帰した時期をみると、母親は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(41.3%)、「それ以外だった」(57.4%)、一方父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(5.7%)、「それ以外だった」(91.4%)となっています。

育児休業から復帰したときの子どもの実際月齢をみると、母親は「10~12 ヶ月」(37.4%)が最も多く、希望する月齢でも「10~12 ヶ月」(52.8%)が最も多くなっています。一方、父親は「1~3 ヶ月」(35.9%)が最も多く、希望する月齢も「1~3ヶ月」(28.2%)が最も多くなっています。

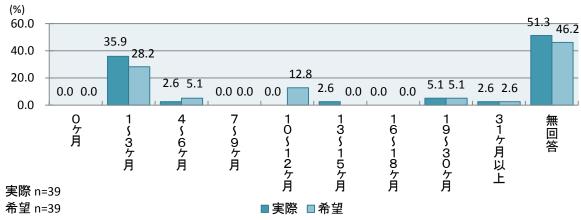


問 育児休業取得後、職場に復帰した時期

問 育児休業から復帰したときの子どもの実際月齢と希望月齢(母親)

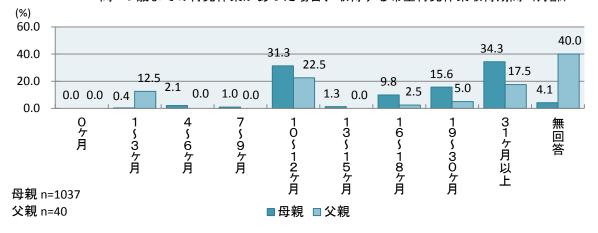


問 育児休業から復帰したときの子どもの実際月齢と希望月齢(父親)



3 歳までの育児休業制度があった場合の子どもの希望月齢ついて、母親は「31 か月以上」(34.3%)、次いで「10~12 ヶ月」(31.3%)の順となっており、父親は「10~12 ヶ月」(22.5%)が最も多く、次いで「31 ヶ月以上」(17.5%)の順となっています。

問 3歳までの育児休業があった場合、取得する希望育児休業取得期間 (月齢)

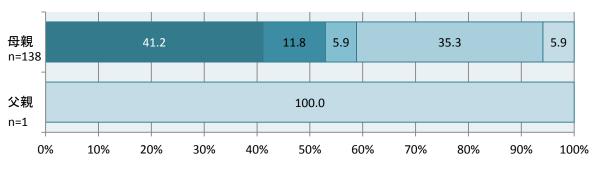


育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、母親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(34.7%)、「希望する保育所に入るため」(34.9%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(27.2%)の順となっています。父親は、12人の方から回答があり「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(5人、41.7%)、「希望する保育所に入るため」、「配偶者や家族の希望があったため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(各1人、8.3%)となっています。

一方、育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由をみると、母親は「希望する保育所に入れなかったため」(41.2%)が最も多く、父親は「無回答」でした。

問 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由(複数回答) 母親 34.9 27.2 23.1 5.9 3.6 34.7 n=611 父親 8.3 8.3 41.7 8.3 41.7 n=12 20% 40% 70% 90% 100% 0% 10% 30% 50% 60% 80% ■希望する保育所に入るため ■配偶者や家族の希望があったため ■経済的な理由で早く復帰する必要があった ■人事異動や業務の節目の時期に合わせるため ■その他 ■無回答

問 育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由(複数回答)



- ■希望する保育所に入れなかったため
- ■配偶者や家族の希望があったため
- ■子どもをみてくれる人がいなかったため
- ■無回答

- ■自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- ■職場の受入態勢が整っていなかったため
- ■その他

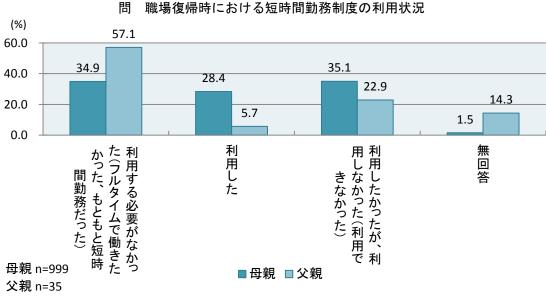
### (4) 短時間勤務制度

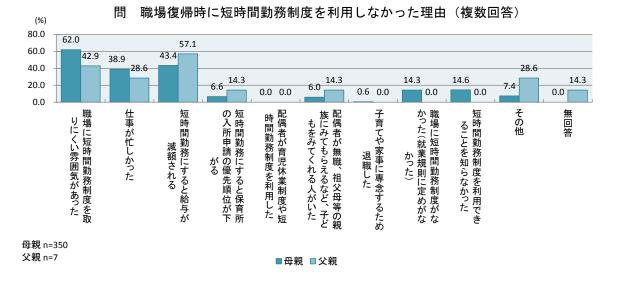
### 1) 就学前

職場復帰時における短時間勤務制度の利用状況をみると、母親は28.4%の利用に対し て、父親は 5.7%でした。利用状況では、母親は「利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」(35.1%)、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかっ た、もともと短時間勤務だった)」(34.9%)、「利用した」(28.4%)、の順となってい ます。

父親は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務 だった)」(57.1%)、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」(22.9%)、 「利用した」(5.7%) となっています。

職場復帰時に短時間勤務制度を利用しない理由をみると、母親は「職場に短時間勤務 制度を取りにくい雰囲気があった」(62.0%)、父親は「短時間勤務にすると給与が減額 される」(57.1%) が最も多くなっています。

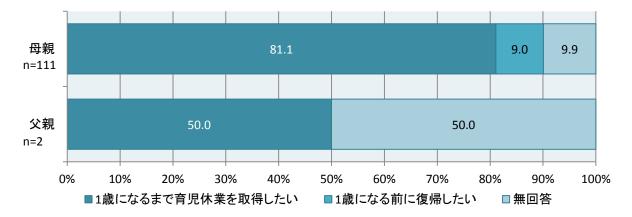




現在育児休業中の方の、1 歳になった時に預け先が保障された場合の育児休業取得の希望をみると、母親は「1 歳になるまで育児休業を取得したい」(81.1%)、「1 歳になる前に復帰したい」(9.0%) となっています。

父親かは 1 人が「1 歳になるまで育児休業を取得したい」と回答しています。

### 問 1歳になった時に預け先が保障される場合の育児休業取得の希望(現在も育児休業中の方)



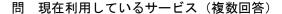
## 第5章 花巻市の子育て支援事業について

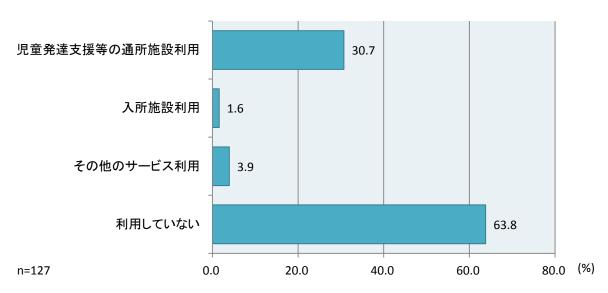
### 1. 障がい児のサービスについて

### (1) 就学前

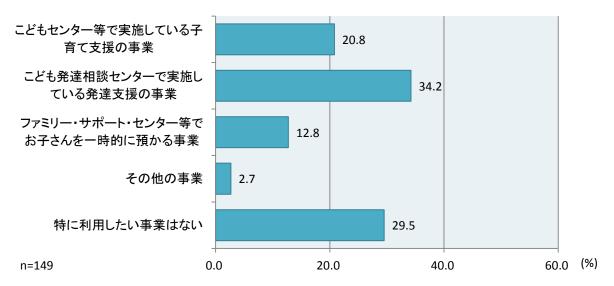
障がいのある小学校入学前の子どもが現在利用しているサービスは「児童発達支援等の通所施設利用」(30.7%)、「その他のサービス利用」(3.9%)、「入所施設利用」(1.6%)の順となっています。

利用したいと考える子育て支援事業は「こども発達相談センターで実施している発達 支援の事業」(34.2%)、「こどもセンター等で実施している子育て支援の事業」(20.8%)、 「ファミリー・サポート・センター等でお子さんを一時的に預かる事業」(12.8%)の 順となっています。





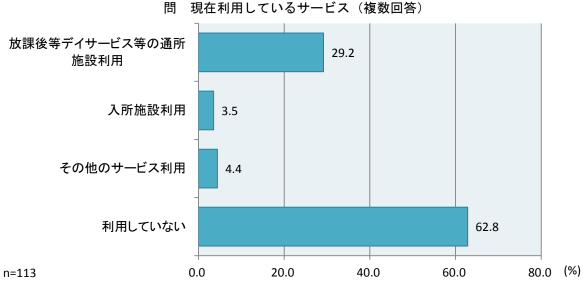
問 利用したい子育て支援事業(複数回答)



### (2) 就学時

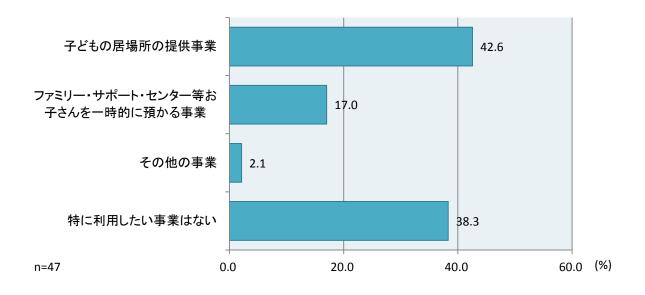
障がいのある就学児が現在利用しているサービスは「放課後等デイサービス等の通所施設利用」(29.2%)、「その他のサービス利用」(4.4%)、「入所施設利用」(3.5%)の順となっています。

利用したいと考える子育て支援事業は「子どもの居場所の提供事業」(42.6%)、「ファミリー・サポート・センター等でお子さんを一時的に預かる事業」(17.0%)、「その他の事業」(2.1%)の順となっています。



0.0 20.0 40.0

問 利用したい子育て支援事業(複数回答)



### 2. 地域の子育て支援の環境や支援への満足度

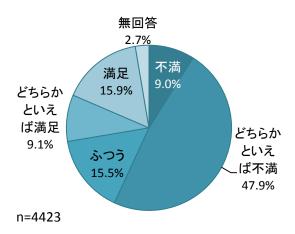
### (1) 共通

地域の子育て支援の環境や支援に対する満足度の状況について、「満足」と「どちらかといえば満足」の計が25.0%、「どちらかといえば不満」「不満」の計が56.9%で、不満の方が31.9ポイント上回っています

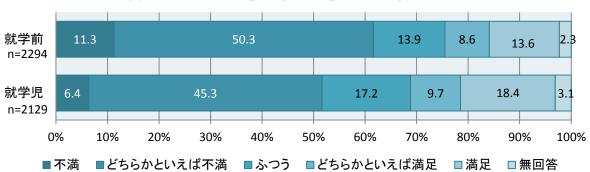
就学前児童と就学児童を比べると、「不満」「どちらかといえば不満」どちらも就学前 児童の方が就学児よりも高くなっていますが、おおよそ同じような回答となっています。

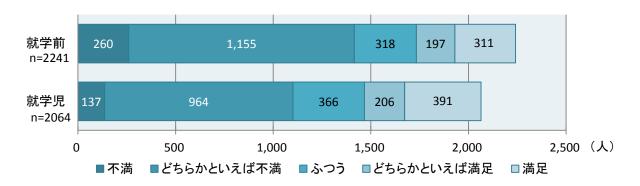
また、「不満(1点)」「どちらかといえば不満(2点)」「ふつう(3点)」「どちらかといえば満足(4点)」「満足(5点)」として(無回答は除く)、回答者数に点数を掛けて満足度に対する回答者の平均点数を計算すると、就学前児童が2.62点、就学児童が2.88点で、ともに「ふつう(3点)」を下回っています。

### 問 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況 (就学前と就学児の合計)



問 地域の子育て支援の環境や支援への満足度の状況





# 資料編 調査に使用したニーズ調査票

1. 就学前児童の保護者用

7. 間定にども圏 8. その他(

1、家庭 6、その他(

### 花巻市子ども・子育で支援に関するニース調査票(就学前児童保護者用)

<ol> <li>松園地区</li> </ol>	2. 花北地区	3、花器中東地区	4. 花内地	E 5 TEA	SUV.
6. MOME	7、 城本地区		9. 206		T 1 T 3 T 5 T 5
11. WRMS	12. 大道地区	13、内川貝地区	14, 500	15. 电分	森地区
16、好地地区	17、大瀬川地区		19, 八億封	(4.1.4.1.4.1.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	
21. 新城地区 26. 岩内地区	22. 小山田地区 27. 田瀬地区	23, 土沢地区	24、核區地	Ø 25. ₩B	HBE
2 宛名のお子さ	んの生年月をご記	入ください。(口内に敷	<u>(字でご記入</u> くださ	t.")	
平成 □□#	□□用生まれ				
	Di.	and the second section of the second section of the second	a man market	- Fillenner	
きょうだい部		曲下のお子さんの生年を	9 FM [][1	: □□a±an	
4 この調査系に	ABASA N	はどなたですか。宛名の			eren ere
4 この調査系に	ご開答いただく方	はどなたですか。宛名の	のお子さんからみ)		eren ere
4 この調査票に はまる番号 <u>1つ</u> 1. 毎朝	ご開答いただく方 にOをつけてくだ 2、父親 ご回答いただいて!	はどなたですか。宛名の さい〉	のお子さんからみ)	<b>- 関係でお答えぐた</b>	) (41.4
4 この調査票に はまる番号1つ 1. 母明 5 この調査票に	ご開答いただく方 EOをつけてくだ 2. 父親 ご回答いただいて)	はどなたですか。宛名の さい〉 3. その他!	Oお子さんからみ) いてお答えくださ	<b>- 関係でお答えぐた</b>	) (41.5
4 この調査票に はまる番号1つ 1. 毎明 5 この調査票に つけてください 1. 配調者が6 6 宛名のお子さ	ご開着いただく方! EOをつけてくだ 2. 父親 ご回答いただいて! )	はどなたですか。 発名のさい) 3. その他 : いる方の配偶勝任につけ 2. 配集者) を含む)を主に行ってい	のお子さんからみ) いてお答えくださ よいない	と関係でお答えくた い。(生てはまる番	(8tr. (
4 この調査票に はまる番号1つ 1. 毎明 5 この調査票に つけてください 1. 配調者が6 6 宛名のお子さ	ご問答いただく方に○をつけてくだ  2. 父祖  ご回答いただいて!  !  !  !  !  !  !  !  !  !  !  !  !	はどなたですか。発名のさい)  3. その他 ! いる方の配偶関係につけ  2. 配集者) を含む)を主に行って! ください。	のお子さんからみ) いてお答えくださ よいない	上間係でお答えくたい。 (当てはまる番・ すか。 お干さんか・	(8tr. (
4 この調査票に はまる番号 1つ 1. 毎報 5 この調査票に つけてください 1. 配実品が。 5 宛名のお子さ 当てはよる番号	ご問答いただく方に○をつけてくだ  2. 父祖  ご回答いただいて!  !  !  !  !  !  !  !  !  !  !  !  !	はどなたですか。発名のさい)  3. その他 ! いる方の配偶関係につけ  2. 配集者) を含む)を主に行って! ください。	のお子さんからみ) いてお答えくださ は) (な) いるのはどなたで	上間係でお答えくたい。 (当てはまる番・ すか。 お干さんか・	:èv. ( ) ₩126

問9 日頃、陶名のお子さんをみてもらえる戦略・知人はいますか。当てはまる番号すべてEOをつけてください。

- 1. 日常的に指文係等の機像にみてもらえる
   2. 常意時もしては用手の際には指文指等の機能にみてもらえる
   3. 日常的に子だもをみてもらえる友人・知人がいる
   4. 常意時もしては用事の際には子だもをみてもらえる友人・知人がいる
   5. いずれもいない
   10 周10 へ
- 開9-1 開9で「!」または「2」にOをつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてにOをつけてください。
  - 祖父母等の興酸の身体的・精神的な負担や時間的制約を心証することなく、安心して子どちをみて もらえる。
  - 2. 祖父母等の雑餘の身体的負担が大きく心配である
  - 3、祖父母等の観測の時間的制的や精神的な負担が大きく心配である
  - 4、 減の立場として、祖父母等の解放に告担をかけていることがも苦しい
  - 6、 格父母寺の解放にみてもらうことが子どもの教育や発達にとってふさわしいか、少し不安がある
  - 6. **20**th (

⇒ 問10へあ進みください

間9-2 間9で「3.」または「4.」にOをつけた方にうかがいます。某人・知人にお干さんをみてもらって いる検説についてお答えください。当てはまる番号<u>すべてに</u>Oをつけてください。

- 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく。安もして子どもをみてもらえる。
- 2、 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 3、 友人・知人の独切的制的や精神的な負担が大きく心配である
- 4、親の立場として。灰人・知人に負担をかけていることが必苦しい
- 5. 友人・知人にみてもらうことが子どもの教育や発育にとってふさわしいか、少し不安がある
- 6、その他(

⇒ 間10へお進みください

競名 総名のお子さんの子育で (教育を含む) に、影響すると思われる環境すべてEOをつけてください。
 1、水塩 2、効核 3、効料協 4、保育所 5、即立こだも固

#### 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

間10 宛名のお子さんの保護者の現在の似労状況(自営業、家族従事者を含む)についてうかがいます。

1) 母親の親方状況 当てはまる参与1つにひをつけてください。[文子家歴の場合	は配入	<b>小张</b> 子
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の製労) で献労しており。 産体・資体・介護体験中ではない 2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間提定の献労) で献労しているが、 産体・資体・介護体業中である 3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の献労) で献労しており、 産体・資体・介護体業中ではない 4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の執労) で献労しているが、 産体・資体・介護体業中ではない	•	(1) -1 (1) -2 ^ (1) -3
5、以前は飲労していたが、現在は飲労していない 5、これまで辞書したことがない。	ๅ์∍	(Z) ^

次の(1)-l~(1)-3は、(1)で「L~4」(就労している)にOをつけた方にうかがいます。

- (1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をそれぞれお答えください。
  - ・就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いバターンについてお答えください。
  - ・産体・青体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。(口内に<u>数字で</u>ご記入ください。)

1週当たり	□в	1日当たり	

- (1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
  - 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
  - ・産体・資体・介護体業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
  - ・時間は、2.4時間制でお答えください。(例) 0.8時、1.8時(□内に数字でご記入ください。)

PERSONAL DISTRIBUTION	Carmon Circa a	the o'cre	 CENTRAL STREET	
家を出る時刻		标宅時刻		

(1) -3 就労先(勤務先又は自営の事業所等)のある地区をお答えください。当てはまる番号、1つにOをつけてください。

	261 6 41	45.4.4							
1,	松陽助区	2,	花北地区	3,	花卷中央地区	4,	花西地区	5,	花南地区
6,	黑口地区	7.	基本地区	8,	矢沢地区	9,	宫野目地区	10.	太田地区
11.	笹間地区	12,	大遊物区	13,	内川目地区	14,	外川自地区	15,	衛ケ春地区
16,	好物地区	17.	大瀬川地区	18,	八日市地区	19,	八幡地区	20,	八重维地区
21,	新城地区	22,	少山田地区	23,	<b>土</b>	24,	成局地区	-25,	浮田地区
28	經內地区	27	印籍协区	28	memory (where				

前-3

⇒ (2)へお進みください

(2)	父親の就労状況	当てはまる番号1つに〇を	つけてください。	【母子家庭の場合は記入不要】

<ol> <li>フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており。 育休・介護休棄中ではない。</li> </ol>	)	
<ol> <li>フルタイム(1担5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 資休・介護休備中である</li> </ol>	223	(Z) -1
3、バート・アルバイト等(プラルタイム」以外の叙労)で叙労しており。	3	(Z) -Z ~
育体・介護休業中では及い		
4、バート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就問)で就問しているが、		
育体・介護体養中である	1	
5. 以前は対労していたが、現在は対労していない	7 .	<b>⊞ 17 ∧</b>
6. これまで就労したことがない	100	19 14 7

#### 次の(2)-1~(2)-3は、(2)で「1~4」(就労している)にOをつけた方にうかがいます。

- (2) -1 1 週島たりの「鉱労日数」、1日当たりの「鉱労時間(機業時間を含む)」をそれぞれお答えください。
  - ・就労日敷や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
  - ・育体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入 ください)

		0.650000	
19.765 (42.46)	o De	18時だり □□時間	1
「海田に	0 00	TRACO CITIBIL	

- (2)-2 家を出る時刻と帰宅時期をお答えください。
  - ・時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
  - 育体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。
  - ・時間は、2.4時間制でお答えください。(例) 0.8時、1.8時(□内に数字でご記入ください。)

	test consister of the fe-	A R. AMIL O. C. LEE, J. W. P. LEWIS ST. B. S. S. SERRES V.	C
家を出る時刻		和色光料 □□時	

# (2) -3 鉱労先(勤務失又は自営の事業所等)のある地区をお答えください。当てはまる参与1つEOをつけてください。

1.	松間地区	2.	花北地区	3,	花卷中央地区	4.	TEMMES.	5.	花南地区
6.	製口地区	7.	基本地区	8,	矢尺地区	9.	常野日地区	10.	太田地区
11.	部間地区	12,	大迎地区	13,	内川日地区	14.	外川田地区	15,	第ケ森地区
16.	好物地区	17.	大瀬川地区	18.	八日市地区	19.	八幅地区	20.	八重细地区
21.	新超地区	22,	中山田地区	23,	土尺地区	24,	成與地区	25,	浮田地区
26.	台列地区	27.	田耕地区	28,	俄市田村 (市田村)	g			y

#### 間 II 目 10 の (1) または (2) で 「3.4」 (バート・アルバイト等で就労している) に〇をつけた方にう かがいます。該当しない方は、間 12 へお進みください。

フルタイムへの転換希望について、当てはまる器号<u>1つに〇</u>をつけてください。

#### (1) 母親

- 1、フルタイム(1週5日程度・1日8特別程度の就労)への船換希望があり、実現できる見込みがある
- 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の成例)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 3、バート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の似労を続けることを希望
- 4。パート・アルバイト等(「フルタイム」 以外)をやめて子育てや家事に専念したい

_	١
_	
-	٠
-	٠

間 12

(2) 父親	5、小規模な保育施設	6、家庭的保育
1、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	(国が定める場所基準に適合した算粉で	(保育者の旅経等で5人以下の子ども各保育する
2、フルタイム(† 担5日程度・†日8時間程度の軟労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	市町村の福可を受けた定員編ね6~19	(iii)
3、バート・アルバイト等(「ウルタイム」以外)の教労を続けることを希望	人のもの)	4,000
4、バート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専参したい	7. 事業所内保育施設	8、自治体の原証・歴世保育施設
間12 閏10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで扱労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 (⇒該当し谷1万は、閏13へ赤進みください)	(企業が主に従業処用に連勝する施設)	(腰可保育所ではないが自治体が認証・機定) た施設
就労希望について、当てはまる番号・記号それぞれ1つにOをつけ、該当する口内には数字をご記入くだ	9. その他の間可外の保育施設	10、居宅訪問型保育
\$11°		(ベビーシッターのような保育者が子どもの)
(1) 母親	16.51 (22.01.25.1) (19.01.25.1) (19.01.25.1)	庭で保育する事業)
1、子育で世家事などに専念したい(献労の予定はない)	11. ファミリー・サホート・センター	12. 児童発達支援センター等
2、1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに献労したい	(地域住民が子どもを預かる事業)	イーハトーブ賃貸センター等の収容機関
3, すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労彩祭 「 ア フルタイム (1選5日程度・1日8時間程度の収労) )	13. その他( )	
イ. パートタイム、アルバイト等 — 1 適当たり □日 1日当たり □日時間		事業について、現在の状況と希望する状況についてお答えい。 い。時間は、24時間順でご記入ください。(例)09時・
(2) 父親	(1) 現在	
1、子育でや家事などに専念したい(献労の予定はない)	1週当たり □日 1日当たり	□□8900 (□□89~ □□89)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい		
3、すぐにでも、もしくは1年以内に戦労したい	(2) 希望	
希望する就労移態 ア. フルタイム (1選5日程度・1日8時間程度の就労) イ パートタイム、アルバイト等		
一1週間たり □日 1日間たり □□時間	1週当たり □日 1日当たり	
宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について		場所についてうかがいます。「1.」「2.」の <u>いずれかに</u> ) 内には利用している角膜(幼稚園・保育際等)または 8 をご配入ください。
※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用しているものを指します。具体的には、 幼稚園や保育所など、間13-1に示した事業が含まれます。	1、花卷市内(利用施設・事業所名:	,
	2、他の市町村(市町村名:	χ
間13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。 当てはまる番号1つに〇をつけてください。	第13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用: てはまる番号すべてに〇をつけてください。	されている場由についてうかがいます。主な理由として
1. 利用している ⇒ 間13-1へ 2. 利用していない ⇒ 間13-5へ	1. 手どもの教育や発達のため	
MANUFACTURE CONTROL OF SACRO CONTROL OF PARTY OF TRANSPORTANT CONTROL OF CONT	2. 子育で(教育を含む)をしている方が拥む	E就労している
次の間13-1~間は-4は、間13で「1 利用している」にOをつけた方にうかがいます。	3、子育で(教育を含む)をしている方が就知	9予定がある/求務中である
間 13-1 現名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてにOをつけてください。	4。子育で(教育を含む)をしている方が密放	g・親族などを介護している
1、幼稚園 2、幼稚園の種かり保育	5、子育て(教育を含む)をしている方が始め	なや嫌がいがある
1. 小小工工工		E1004-121

(通常の製団時間を延長して預かる事業のうち

(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)

定期的な利用のみ)

4、認定ことも画

(通常の就国時間の利用)

(国が定める最低基準に適合した路段で 市町村の間可を受けた定員20人

3、原可保育所

以上のもの)

6、子育で(教育を含む)をしている方が学生である

7. その他(

$\equiv$	_	١
_	Τ	
	_	7

間 13-5	間13で「2.	利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。定期的な教育・保育の事業	を料
ш	していない理由	は何ですか。理由として当てはまる番号すべてにOをつけてください。	

- 子どもの教育や発達のため、または子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用するが 響がない
- 2. 子どもの後父母や頼威の人がみている
- 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4、利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6、利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7、利用したいが、事業の質や場所など、結局できる事業がない
- 8、子どもがまだ小さい(口蔵くらいになったら利用しようと考えている)
- 9, その他(

問14 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、知名のお子さんの平日の 教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに 〇をつけてください、なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、

世帯収入に応じた利用料が設定されています。	
1. 幼稚園 (通常の軌間時間の利用)	<ol> <li>幼稚園の預かり保育 (通常の就留時間を延長して預かる事業のうつ 定期的な利用のみ)</li> </ol>
<ol> <li>護可保育所 (国が定める版店基準に適合した機設で 市町村の銀可を受けた定義20人 以上のもの)</li> </ol>	<ol> <li>認定こども圏 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ総股)</li> </ol>
5、小規模な保育施設 (国が定める場所基準に適合した廃設で 申町村の銀司を受けた定員機ね6~19 人のもの)	<ul><li>6、家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)</li></ul>
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	日: 自治体の認証・認定保育施設 (器可保育所ではないが自治体が認証・認定 した施設)
9, その他の認可外の保育施設	10、居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの) 庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (始域住民が子どもを預かる事業) 13. その他(	12. 児童発達支援センター等 イーハトーブ哲育センター等の俯斥機関

問14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」の<u>いずれか</u>に〇をつけてください。また、選択した項目の())向には利用したい強波(幼稚園・保育調等)または事業所の具体名を、他の市前村の場合は市前村名をお答えください。

1	, 花巻市内(施設・事業所名:	)
2	, 他の市町村(市町村名:	3

前-7

問 14-2 「1. 幼稚園 (資常の成園時間の利用)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方にうかがいます。 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはま る番号に○をつけてください。

id II	2. いいえ

### 宛名のお子さんの地域の子育で支援事業の利用状況について

間15 宛老のお子さんは、現在、こどもセンターや地域子育て支援センターの地域子育て支援拠点事業(親子が集 まって選ごしたり、相談をしたり、情報報鉄を受けたりする場)を利用していますか。当てはまる各特に○を つけてください。また、「1」を選択した方は、おおよその利用回数(頻度)を□内に数すてご記入ください。

- 1. 地域子育て支援拠点事業(躺子が集まって過ごしたり、相談をする場)を利用している
  - 1 担当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程度
- 2. 利用していない
- 問 16 問 15 のような地域子育て支援製点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、現在利用している方は利用日数を増やしたいと思いますか、当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を□内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が要生する場合があります。
- 1. 利用していないが、今後利用したい
  - ↑週当たり □回 もしくは 1ヶ月当たり □回程息
- 2、すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
  - ↑週当たり 更に □回 もしくは ↑ヶ月当たり 更に □回程度
- 3、新たに利用したり、利用日数を燃やしたいとは思わない

問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをそれぞれ苦苦えください。(Dーグの事業ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに〇をつけてください。

	A あっている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
① 育児学級	1311	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
2保健センターの情報・相談事業	(41)	0012	(dt)	いいえ	(\$4.)	61612
3家庭飲育に関する情報・講座	はい	いいえ	(31)	いいえ	はい	Divid
<b>主教育相技業</b>	はい	いいえ	(3L)	5/6/天	はい	いいえ
5保育所や幼稚園の園庭寺の開放	131/1	いいえ	(\$1.)	いいえ	はい	いいえ
5子育ての相談窓口	131/1	61612	1317	5707ス	1\$1.1	11112
フこともセンター等で発行の子會 て支援情報誌	はい	いいえ	id!/1	una	はい	いいえ

# 115

(1) 土曜日 1. 利用希望はない

### 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の 「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 18 親名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか (一 時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間等を、0.9時~1.8時(例)のように2.4時 開制で数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、間切外保育施設などの事業を指しますが、雑誌・知人による預かりは含みません。

2)日曜・祝日	
1、利用希望はない	control to the control of the contro
	利用したが時間形
3、月に1~2回程度利用したい」	□□締から □□詩まで
毎週ではなく、たまに利用したい雑曲に	<ol> <li>別に1~2回程度利用したい」にOをつけた方にうかがいます。</li> <li>ついて、当てはまる番号すべてにOをつけてください。</li> </ol>
1。月に数回仕事が入るため	2. 甲日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3、賴族の介護や手伝いが必要なため	4. 息抜きのため
5、その他(	V.
9 現在「幼稚園」を利用している方にうか	かがいます。(⇒利用していらい方が問 20 へお逃みください。)
9 現在「幼稚園」を利用している方にうか 宛名のお子さんについて、原体み・多体など)の利用を希望しますか。希望がある 時間制で数字でご記入ください。なお、こ	かがいます。(⇒利用していない方は間 20 へか選択ください。) よみなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり報 る場合は、利用したい時間帯を、09時~18時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
現在「幼稚園」を利用している方にうけ 宛名のお子さんについて、原体み・多体 など)の利用を希望しますか。希望がある 時間制で数字でご配入ください。なお、こ 利用用配はない	kみなど長期の体報期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり保 る場合は、利用したい時間帯を、0.9時~1.8時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
3 現在「幼稚園」を利用している方にうか 宛名のお子さんについて、原体み・多体 など)の利用を希望しますか、希望がある 助師制で数字でご配入ください。なお、こ 利用希望はない。 休みの相関中、はば毎日利用したい	8みなど長期の体報期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり保 る場合は、利用したい時間帯を、09時~18時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 利用したい時間帯
3 現在「幼稚園」を利用している方にうか 宛名のお子さんについて、原体み・多体 など)の利用を希望しますか、希望がある 助師制で数字でご配入ください。なお、こ 利用希望はない。 休みの相関中、はば毎日利用したい	kみなど長期の体報期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり保 る場合は、利用したい時間帯を、0.9時~1.8時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
現在「幼稚園」を利用している方にうた 宛名のお子さんについて、原体み・名様 などの利用を希望しますか。希望がある 時間観で数字でご配入ください。なお、こ 利用用配製はない。     休みの相関中、以ば毎日利用したい 、休みの相関中、辺に数日利用したい	株みなど長期の体報期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり保 も場合は、利用したい時間帯を、09時~18時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 利用したい時間帯 □□特から □□特まで 1 (COをつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用し
9 現在「幼稚園」を利用している方にうけ 宛名のお子さんについて、原体み・名体 など)の利用を希望しますか。希望がある 時間制度数字でご記入ください。なお、こ 利用用配はない。 休みの相関中、ほぼ毎日利用したい 、体みの相関中、起に数日利用したい 19-1 閏19で、「3.番に数日利用したい	株みなど長期の体報期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり保 も場合は、利用したい時間帯を、09時~18時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 利用したい時間帯 □□特から □□特まで 1 (COをつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用し
9 現在「幼稚園」を利用している方にうけ 宛名のお子さんについて、原体み・名体 など)の利用を希望しますか。希望がある 時間制で数字でご記入ください。なお、こ 利用品間はない。 2. 体みの相関中、ほぼ毎日利用したい 3. 体みの相関中、起じ数日利用したい い理由について、当てはまる番号が	株みなど長期の体報期間中の教育・保育の事業(幼稚園の預かり保 も場合は、利用したい時間帯を、09時~18時(例)のように2 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 利用したり等間帯 □□特から □□特まで り1にQをつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したべてにQをつけてください。

163-9

### 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方にうかがいます)

問題 調査素5ページの間 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。(⇒間 13 で「2.利用していない」と答えた方は、間 21 にお進みください。)

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったこと はありましたか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

1.	あった	⇒	周20-1~	2. なかった	$\Rightarrow$	問打へ
B 20-1	<b>門 20 で「1. あ</b>	ot16	〇をつけた方にうか	かいます。宛名のお子。	きんが	この1年間に病気やケガで普

間 20-1 <u>■ 20 で「1. あった」に〇をつけた方にうかがいます。</u>宛名のお子さんがこの1 年間に病気やケガで普 数利用している教育・保育の事業が利用できなかった期間中どのように対応しましたか。当てはまる番号 <u>すべてに</u>〇をつけ、日数も□内に<u>数字でご記入</u>ください(年日程度の対応の場合も1日とカウントしてく ださい。)。

	対応の内容	日数		
1	父親が仕事を休み子どもをみた		B	⇒60.70-7.ヘ
2	母親が仕事を体み子どもをみた		₿.	→ <b>M</b> 20-2 へ
3	(問居者を含む) 鏡線・知人に子どもをみてもらった		8	)
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた			B	
5.	将後児のための保育施設を利用した		8	
6.	ベビーシッター参利用した		B	⇒問20-4へ
7.	ファミリー・サポート・センターを利用した		Ħ	
8.	仕方なく子どもだけで留守帯をさせた		В	
9.	その他( )		В :	1

閉 20-2 間 20-1 で「1、父親が仕事を体み子どもをみた」または「2、母親が仕事を体み子どもをみた」にO をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後型のための保育施設等を利用したい」と 思われましたか。当てはまる番号 1つに○をつけ、利用したい場合はその日数についても□内に数字 でご記入ください。なお、病型・病後型のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前 にかかりつけ底の受診が必要となります。

1.	できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った	=	$\Rightarrow$	<b>問21へ</b>	
2.	利用したいとは思わなかった				_

間 20-3 間 20-7 で [2 利用したいと思わなかった] に〇をつけた方に倒います。そう思われる理由について当てはまる基分すべてに〇をつけてください。

CHARGE OF THE CALCULATION	
1、病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	2、事業の際に不安がある
<ol> <li>事業の料価性(立動や利用可能務項目数 など)がよくない</li> </ol>	4、利用料がかかる・高い
5、利用料がわからない	6、親が仕事を休んで対応する
7、その他( )	G varieties is environ.
A SACARA SANTES	→ 開サムを建なくださ

⇒ 問 ご へお進みください

開 20-4 開 20-1 で [3] から [9] のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母 のいずれかが仕事を体んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号 1つに○をつけ、間 20-1 の[3] から [9] の日数のうち仕事を体んでみたかった日数についても□内に数字でご記入ください。

1,	できれば仕事を体んでみたいと思った	-	B	10	間 21 へ
2,	休んでみることは非常に難しい				

-	-	-
		,
7	_	_
(		)
1	-	•

間 20-5	間 20-4 で「2	体んでみることは非常に難しい」にOをつけた方にうかがいます。そう思われる理由に	
- e	いて当てはまる	番号すべてにOをつけてください。	

5の看護を理由に休みがとれない	1 4
5の衛電を提出に休みがただない	1 7

2. 白営業なので体めない

- T	69.00	122.80	マの間 四	721	かで休	MATERIA

4. その他(

### 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

間21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育または病気の場合を除いて、私用、額の適飲、不定期の就労等の理由で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてにOをつけ、1年間の大まえその利用目的を「日本に 安全で「ビシスとがさい」。

利用している事業	日数(年間)	
<ol> <li>一時預かり (転用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを 保育する事業)</li> </ol>	00 e	
<ol> <li>幼稚園の種かり保育 (造業の就調時段を延興して積かる事業のうち 不定期に利用する賃舎のみ)</li> </ol>	00 a	⇒ 周22へ
<ol> <li>ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)</li> </ol>	00 a	
4、被問器関帯事業:トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	00 s	
5、ベビーシッター	00 8	
6. その他( )	00 8	
7、利用していない		⇒ 間21-1へ

機21-1 関27で「7.利用していない」にOをつけた方に伺います。現在利用していない理由は何ですか。当て はまる条例すべてにOをつけてくがさい。

	- 1	**の株点は、2.7Fの名 301 C 4 になる。			
	1.	特に利用する必要がない		2.	利用したい事業がない
Ш	3,	事業の例に不受がある		4,	事業の利便性(立地や利用可能時間・日数
					など) がよくない
	5,	利用料がかかる・高い		6,	利用料がわからない
	7.	自分が事業の対象者になるのかどうか		8.	事業の利用方法〈手続き等〉がわからない
Ш		わからない			
	9,	その抽(	33		

育-11

間2 私用、親の連絡、不定期の航労等の目的による不定期の事業の利用についてうかがいます。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてにOをつけ、利用希望がある場合は、年間の必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内限の日数を□内に数字でご記入ください。)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		# 00 8	⇒ 問22-1へ
P.	私用(背類、子ども(兄弟妹妹を怠む)や親 の問い事等)、リフレッジュ目的	00 8	
1.	阻陥斜条、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や箱の通信 性	00 8	
9.	不定期的就労	пп в	
I.	その他 ( )	оо в	
2、利用する必要は	CEG Y		⇒ 間びへ

間 22-1 間 27 で (1 利用したい) に〇をつけた方にうかがいます。間 22 の目的でお子さんを預ける場合、 下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

- 1. 大規模施設で子どもを保育する事業(何:幼稚園・保育所等)
- 2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育で支援総点等)
- 3. 地域住民等が子育で家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
- 4, その他(

間32 この1年間に、保護者の用事(保護券券、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを治りがけて 家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。 あった場合は、その対応として当てはまる参号・記号すべてに〇をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご 記えください。

	対応の内容	自数 (年間)	
1、あった	ア、(問居者を含む)親族・知人にみてもらった		問23-1へ
	イ 短期入所生活接助事業(ショートステイ)を利用した (元金銭開施設号で一定期間、子どもを保護する事業)		
	ウ. イ以外の保育事業(総可外保育結婚、ベビーシッター 等)を利用した	пп в	an commo
	エ. 仕方なく子どもを関行させた	□□ :в	□ 間24~
	オ. 仕方なく子どもだけで留守術をさせた	□□ :e.	
	カ. その物 ( )		
2, なかった			)

問23-1 間23で「1.あった コア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」にOをつけた方にうかがいます。その場合の国難度はどの程度でしたが、当てはまる番号1つにOをつけてください。

		99

2, どちらかというと困難

3、特に困難ではない

### [宛名のお子さんが5歳以上の方]小学校入学後の放課後の過ごし方について

#### ⇒宛名のお子さんが5歳未満の方は間28へお進みください

開24 第名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべて三〇をつけ、それぞれ希望する週雪たりの日数を数字でご記入ください。また、「学ョクラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、24時間前でご記入ください。(例) 18時

「学童クラブ」・学童保育などとも呼ばれています。保護者が就労等により種間家庭にいない場合な どに、接得品の下、子どもの生活の傷を提供するものです。事業の利用にあたって は、一定の利用料がかかります。

, 6°C	73		B<5W
),祖父母笔中友人· 知人答	-23	П	B<641
<ol> <li>結い事、スポーツ少年団 (ピアノ教室、サッカークラブ、学問題など)</li> </ol>	29		B<5%\
、放尿後子ども数量 ※	79		B<501
6、学童グラブ(学量保育)	23		B<641
		-	<ul><li>下松時から □□時後で</li></ul>
i, ファミリー・サボート・センター	81		B<641
· その他(姑娘の活動、公園など)	23		B<50

※ 「成済後子ども政府」…」出述の方々の協力を持て、設済権に小学校などで学者・スポーツ・文化芸術活動などを体 練する設証です。保護者の政治の告別に認わらず、すべての小学生が利用できます。花巻のでは、内川日小学校、集 ケ倉小学校の2学校に設置しています。

問題 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの過当たり日数をご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、24時間制でご記入ください。(例) 18時

※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

WILLEAD DOCT COLOR OF BUILDING OF	A TAC OF PROPERTY OF THE PARTY
1. 自省	週 口 日<500
2、祖父母宅や友人・知人宅	週 🗆 8<50
<ol> <li>器い事、スポーツ少年団 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習語など)</li> </ol>	週 □ 8<50
4、放尿後子ども教室	数 □ 8<50
5、学庭クラブ (学能保育)	週 口 8<60
	→ 下校時から □□時まで
6, ファミリー・サボート・センター	週 🗆 8<6い
7, その他(地域の活動、公園など)	a D 8<90

開発 閏24または開発で「5 学童クラブ (学童保育)」にQをつけた方にうかがいます。現名のお子さんについ て、土曜日と日曜日・祇口に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかか ります。(1)、(2) それぞれについて、当てはまる番号1つにQをつけてください。また利用したい時 関帯を、口内に(例) Q9時~18時 のように24時間制で数字でご記入ください。

(1) 土曜日

1.	低学年(1~3年生)	の間は利用したい	12.0	利用したい時間	5	
2.	萬学年(4~6年生)	になっても利用したい_	Same	口口時から	□□HBET	
3	利用するの要はない					

BV-13

1.	哲学年(1~3年生)の間は利用したい	7		和用したい時間帯
2.	高学年(4~6年生)になっても利用したい		-	□□時から □□時まで
3.	利用する必要はない			

間27 宛名のお子さんについて、お子さんの意味か、冬体かなどの長期の休暇期間中の学量クラブの利用希望はあ りますか、事業の利用には、一堂の利用料がかかります。当てはよる番号、コニロをつけてください。また利 用したい機関帯を、口内に(何)09時~18時 のように24時間制で数字でご記入ください。

1.	哲学年 (1~3年生)	の間は利用したい	100	利用したい時間の	₩
2,	高学年(4~6年生)	になっても利用したい	-	□□時から	□□勝まで
3,	利用する必要はない				

### 育児体業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

間28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児体業を取得しましたか。母親、父親 それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください。また、取 見していない方はその理由をご記入ください。



- 1. 瞬場に育児体業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 日本に戻るいの難してつたった
   昇給+昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7、保育所(質)などに預けることができた
- 8、配偶者が商児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無線、祖父母等の翰族にみてもらえるなど。朝世を利用する必要がなかった
- 10、子育でや家事に専念するため退職した
- 11、頭切に発売休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 12、有期雇用のため育党体業の取得要件を満たさなかった
- 13、 育児体業を取得できることを知らなかった
- 14、産前産後の休暇(産前ら週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他(

[28-1] 子どもが原列1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月)になるまで育児体業給付が支給される仕組み、子どもが実3歳になるまでの育児体業等(法定の育児体業及び企業が法定を上回る類目除けた背児体業に挙ずる措置)類間について健康保険及び厚生年金	問 29-5 お勤め先に青児のために3歳まで体料を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何違か ヶ月のときまで体験を取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。 (1) 母親
保険の保険料が免弊になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つにO	□ # □□7B
をつけてください。	
1. 育児体業給付、保険料免除のいすれも知っていた	(2) 父親
2. 育児体薬給付のみ知っていた	□ 歳 □□ヶ月
3、保険料免除のみ知っていた	
4. 電児体業賠付、保険料免除のいずれも知らなかった	間 28-6 間 28-4 で実際の復帰時期と希望の復帰時期が異なる方にうかがいます。
間 28-2 間 28 で 「2 取得した (取得中である)」にOをつけた方にうかがいます。 (それ以外にOをつけた方は、19ページの間 29 へお進みください)	希望時期に職場復帰とならなかった理由について、次の(1)。(2)から当てはまる番号 <u>すべてに</u> をつけてください。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか、当てはまる番号1つに〇をつけてください。	(1) 希望より早く復帰した方
(1) 曲親	①母親
1、 育児休養取引後、 職場に協帰した	1、希望する保育所に入るため 2、配偶者や家族の希望があったため
2. 現在も育児体量中である	3. 経済的な理由で早く遊婷する必要があったため 4. 人事異数や業務の節目の特別に合わせるため
3. 育児休業中に健康した	<ol> <li>その他(</li> </ol>
Park All Statement Lendling (1970)	
(2) 父親	②父親
1、 育児休頼取附後、職場に復居した	
2、現在も育元休菓中である	1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 韓児休養中に苗嶋した	3、経済的な理由で草く復帰する必要があったため 4、人事異数や業務の節目の特期に合わせるため
	5. その他(
職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに〇をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月~2月 頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。  (1) 母親  (1) 母親	(2) 「希望」より遅く復帰した方 (1)母数 1. 希望する保育前に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体験が指わしくなかったため 3. 記偶名や家族の希望があったため 4. 戦機の受け入れ感銘が整っていなかったため
	5、子どもをみてくれる人がいなかったため
1、年度初めの入時に合わせたタイミングだった 2、それ以外だった	6. その他(
(2) 父親	0.232.0
1. 年度初めの入別に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	②父親
1, 年度初知の人所に合わせにタイミングとうに 2, それは外とうに	1、希望する保書所に入れなかったため 2、自分や子どもなどの体験が思わしくなかったため
間 29-4 育児体業からの実際の職場管轄時期は、お子さんが何識何ヶ月のときでしたか。また、希望として	<ol> <li>配偶者や家族の希望があったため</li> <li>環境の受け入れ感銘が整っていなかったため</li> </ol>
は、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
でご記入ください。	6. その他(
(1) 母親	
実際の復報時期 □ 旅 □ □ ヶ月 希望の饗解時期 □ 旅 □ □ ヶ月	問 29-7 16 ページの間 29-2 で「1. 肯児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方にうかがいます。 児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに〇をつけ ください。
(2) 父親	(1) 母親
実際の復報時期 □ 歳 □□ヶ月 希望の変揚時期 □ 歳 □□ヶ月	<ol> <li>利用する必要がなかった(フルタイムで側きたかった。もともと短時間動程だった)</li> <li>利用した</li> </ol>
	3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

#### (2) 父親

- 1、利用する必要がなかった(フルタイムで耐きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 2. 利用した
- 3、利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 間 28-8 間 28-7 で「3 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」にOをつけた方に何い ます。短時間数表制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由すべ てにOをつけてください。

#### (1) 母親

- 1. 職構に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3、短時間動器にすると給与が解節される
- 4、短時間勤務にすると採開所の入所申請の優先順位が下がる
- 5、記憶者が育児体棄制度や短時間勤務制度を利用した
- 6、配偶者が無調である、祖父母等の関係にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7、子育てや家事に専念するため辺舞した
- 8、韓雄に知時間動務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 9、短時間動務制度を利用できることを知らなかった
- 10. その他(

(2) 父親

- 1、韓国に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3、短時間動物にすると給与が減額される
- 4、 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先請位が下がる
- 5、配偶者が育党体電制度や短時間勤務制度を利用した
- 6、配偶者が無論である、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
- 7. 子育てや家事に専恵するため退職した
- 8、環境に短時問勤笞制度がなかった(就策規則に定めがなかった)
- 9. 短時間動資制度を利用できることを知らなかった
- 10. その他(

開 28-9 16 ページの別 28-2 で「2 現在も育児休業中である」にOをつけた方にうかがいます。現名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまでは育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つにOをつけてください。

#### (1) 母親

- 1、1歳になるまで研究休業を取得しだい
- 2、1歳になる前に復帰したい

#### (2) 父親

- 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
- 2. 1歳になる前に登録したい

#### 花巻市の子とも・子育て支援の事業について

ここでは、子育てについての相談など、花巻市の子ども・子育て支援に関する事業の参考とするため、以下の設問にお答えください。

間29 宛名のお子さんの子育で(数百を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つEOをつけてください。

1, いる/ある ⇒ 間29-1へ 2, いない/ない ⇒ 間30へ

間 29-1 間 29 で「1, いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育で(教育を含む)に関 して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1、祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	<ol> <li>子育て支援施設(こどもセンター・地域子育</li> </ol>
	て支援センター※等)
5、保健所・保健センター	6、保育士
7、幼稚園教諭	8。民生委員・児童委員
9, かかりつけの医師	10, 市の子育て関連担当窓口
11、奈萬即兵機関	12、その他 (前) ベビーシッター
(イーハトーブ後青センター・	(
こども発達相談センター等)	

※ こどもセンター・計画子育て支援センター 審議で子育で中の伝播者の協力の希腊や、割子で自由に加える裏面の 買り、特別ストレスの解析を目的とする事業などを行っています。こともセンターは家なび学問方に、由議子 育て支援センターは同門に・大造・北京・石高谷・土京の位門製造に設置しています。

問3) 宛名のお子さんの子育で (教育を含む) について、行政の窓口で相談する場合、どのようなことを相談した いと思いますか、当てはまる番号すべてにOをつけてください。

1、健康	2. UDH	3. 食事	4、発達や障がら	V
5. 前肩	6. 子育て環境	7. その他(		9

間31 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問22 弊がいのある小学校入学前のお子さんのいる世帯にお問いします。お子さんについて、現在利用されている サービスはありますか。当てはまるものすべてに〇をつけてください。

	A PROJECT AND MANAGEMENT OF A PROPERTY OF A PROPERTY OF	
1.	児童発達支護等の適所施設料用	
2.	入所施股利用	
3.	その他のサービス利用(資体的なサービス名:	3
4	利用していない	

間 32-1	節がいのある小学校入学前のお子さんについて、	利用したい子育で支援の事業はありますか。	あてはま
24.0	すべてにOをつけてください。		

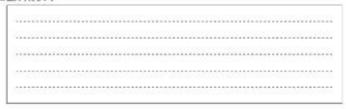
- 1、こどもセンター等で実施している子育で支援の宇宙
- 2、こども発達相談センターで実施している発達支援の非難
- 3. ファミリー・サポート・センターもでお子さんを一時的に預かる事業
- 4. その他の事業「
- 5、特に利用したい事業はない

### 子育で全般について

第33 花巻市の子育ての環境や支援について満足していますか。当てはまる番号に1つにOをつけてください。

- 1. 満足している
- 2、どちらかというと満定している
- 3. どちらかというと満足していない
- 4. 満足していない
- 5. わからない

問34 最後に、教育・保育環境の光実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に ご配入ください。



調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

# 12,

## 2. 就学児の保護者用

### 花巻市子ども・子育で支援に関するニース調査票(小学校児童保護者用)

6, 11, 16, 21,	約額市区 第二地区 被開地区 好地地区 新城地区 谷内地区	7. 12, 17, 22,	花之 思本的 大 次 即 中 田 連 田 田 田	版 13 版 13 随区 18 地区 23	、 若餐中央地区 、 矢沢地区 、 内川日地区 、 八日市地区 、 土沢地区 、 世州町村(H	9, 14, 19, 24,	花西地区 客野日地区 外川日地区 八幡地区 收扁地区	10, 15, 20,	
1. 5, 9,	花像小学校 混口小学校 太田小学校 太田小学校 、内川田小村	t 学校	2. 6. 10. 14. 18.	芒葉小学校 泉本小学校 毎回第一小 亀ケ森小学 八重塔小学	7 (学校 11 (校 15 (校 15	、 解台小师 , 失识小师 , 每四第二 。 右鸣台小	検疫 P校 コ√学校 ・学校	4. 市 8. 思 12. 大	(新小学校 (野日小学校 造小学校 場小学校
2 9	名のお子さ	んの生	年月全	ご記入くださ	尼以外の学校		入ください。)	02	98
2 第 車 3 第	名のお子さ  成   □ □   年  名のお子さ  入ください	んの生 □ □ □	年月を: □月生	ご記入くだ。 まれ いは何人い		数字でご記か、宛名の	お子さんを含	がた人間	数套□内(=)
2 第 車 3 第 ご さ い	名のお子さ  成   □ □   年  名のお子さ  入ください	んの生 □ □ □ んのき 。お2	年月を □月生 ようだ( 人口上)	ご記入くだ。 まれ いは何人いも のお子さんは	きい、(口内に) らっしゃいます	数字でご記 か、宛名の 場合は、一	お子さんを含 番下のお子さ	さめた人間 さんの生き	数を□内に) 本月をご記。
2 第 平 3 第 ご さ い さ 4 こ	名のお子さの 成 □□ 年  名のお子さい   こうだい 数	んの生 □ □ □ □ んのき 。お2 □ □ 人	年月を □ 月生 ようだ( 人以上)	ご記入くださまれ まれいは何人いく のお子さんが 一番下の2	きい、(□内に) うっしゃいます がいらっしゃる	数字でご記 か、宛名の 場合は、一 月 平成	お子さんを含着下のお子さ	がた人間 さんの生命	8を口内に) *月をご記。 まれ
平 平 33 第 ご さ さ は は は は は は ま	名のお子さ   名のお子さ   名のお子さ   えください   ようだい数	んの生 □ □ □ □ し んのき。お2 □ 人 ご回答 にOを	年月を □ 月生 ようだ( 人以上)	ご記入ください。 まれいは何人いは何人いは のお子さんが 一曲下のな く方はどなれ ください)	さい。(口内に) うっしゃいます がいらっしゃる サ子さんの生年	数字でご記 か、宛名の 場合は、一 月 平成 のお子さん	お子さんを含着下のお子さ	がた人間 さんの生命	数を□内(+) を月をご記 (まれ)
2 第 平 平 3 系数 a 2 2 3 3 3 3 2 2 3 3 3 2 3 2 3 3 3 3 3	名のお子さ  成	んの生 □ □ □ □ し んのき。 お2 □ 人 ご回答 ご回答	年月を □ 月生 ようだけ 人以上 いただ つけて 2、父親	ご記入くだら まれ いは何人いい のお子さんが 一帯下の2 く方はどなり ください)	さい。(口内に) うっしゃいます がいらっしゃる 切子さんの生年	数字でご記 か、宛名の 場合は、一 月 平成 のおそさん	お子さんを含 番下のお子さ	対めた人類 さんの生年 □□月生	数を□内に 本月をご記 され ください。

		_	_		
7. V ±	Or Contract to	100 100	0.58	2010	

問7	宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなたですか。	お子さんからみた関係で高てはま
7763	る番号すべてにOをつけてください。	

١.	父母ともに	2.	田親	Э,	父親	4.	祖父母	5.	その他(	3
						- 0.77				

#### 間8 宛名のお子さんの子育て (教育を含む) に、影響すると思われる環境すべてに〇をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 小学校 4. 等	クラブ 5. その物 ( )
-------------------------	----------------

### 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

- 開8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
- (1) 母親の就労状況 当てはまる番号<u>1つに</u>〇をつけてください。【父子家庭の場合は記入不要】

<ol> <li>フルタイム(1回5日収度・1日8時間収性の数労)で就労しており。 産体・育体・介護休業中ではない</li> <li>フルタイム(1週5日収度・1日8時間程度の裁労)で就労しているが、 産体・局体・介護休業中である</li> <li>バート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で試労しており、 産体・資体・介護休業中ではない</li> <li>バート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 産体・資体・介護休業中ではない</li> </ol>	⇒	(1) -1 (1) -2 ^ (1) -3
5、以前は飲労していたが、現在は飲労していない 6、これまで飲労したことがない	ĺ,	(2) ^

- 次の (1) -l~ (1) -3は、(1) で「1~4」(就労している) にOをつけた方にうかがいます。
- (1) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をそれぞれお答えください。
  - 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
  - ・産体・育体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。(口内に費字でご記入ください。)

1海当たり	Dia.	1月当たり □□960	
100			

- (1)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
  - + 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
  - ・産体・育体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。
  - ・時間は、24時間制でお答えください。(例) 08時、18時 (□内に数字でご記入ください。)

_	Transce of Transce	 	 Comp. 1.1. 1900	A. S. S. March 3 . 5 . 5	
	家を出る時期	棉宅時刻			

(1) -3	就労先	(勤務先又は自営の事業所等)	のある地区をお答えください。	当てはまる番号1つに〇を
4	OHT (	Ear.		

4.	松園地区	2.	花北地区	3.	花巻中央地区	4,	16西地区	5.	花南地区
6.	湯口地区	7.	総本地区	8.	失尺地区	9.	宫野目地区	10.	太田地区
11.	笹間地区	12.	大迫地区	13,	内川日地区	14,	外川目地区	15,	地ケ森地区
16,	好地地区	17.	大瀬川地区	18,	八日市地区	19,	八幡地区	20,	八重熔地区
21,	新超地区	22.	可让田地区	23,	± R地区	24.	成高地区	25,	浮田地区
26,	谷内地区	27,	田瀬地区	28,	他市街村(市町村田				- 3

⇒ (2) へお進みください

#### (2) 父親の就労状況 当てはまる番号1つにOをつけてください。【母子家庭の場合は記入不要】

1. フルタイム(1型5日程度・1日8時間程度の鉄労)で鉄労しており、 育体・介護体棄中ではない 2. フルタイム(1担5日程度・1日8時間程度の鉄労)で鉄労しているが、 育体・介護体棄中である 3. バート・アルバイト等(「フルタイム」以外の銭労)で鉄労しており、 育体・介護体棄中ではない 4. バート・アルバイト等(「フルタイム」以外の銭労)で鉄労しており、	3	(Z) -1 (Z) -2 ^ (Z) -3
育体・介護体験中である		
5、以前は就労していたが、現在は就労していない	7 =	M11 ^
6. これまで勧告したことがない		

#### 次の (2) -1~ (2) -3 は、(2) で「1 ~4」(航労している) にOをつけた方にうかがいます。

- (2) -1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をそれぞれお答えください。
  - ・就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いバターンについてお答えください。
  - ・育体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入 ください。)

1週当たり □日 1日当たり □□特問	-	- C 10 C 0.51		
		1週当たり □日	1日当たり □□特問	

- (2)-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
  - ・時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
  - 育体・介護体業中の方は、体業に入る前の状況についてお答えください。
  - 時間は、2.4時間制でお答えください。(例) 0.8時、1.8時 (□内に数字でご記入ください。)

室を出る時刻 □□8	a Nationals	
------------	-------------	--

# (2) -3 鉱労先(動務失又は自営の事業所等)のある地区をお答えください。当てはまる番号1つにOをつけてください。

1.	松園地区	2.	花北地区	3,	花卷中央地区	4.	花香物区	5,	花南地区
6,	第口地区	7,	思本地区	8,	矢沢地区	9,	常野日地区	10.	太田地区
11.	笹間地区	12,	大迫地区	13,	内川目地区	14,	外川日地区	15,	绝与森地区
16,	好地地区	17.	大瀬川地区	18,	八日市地区	19,	八幅地区	20,	//重缩地区
21.	新堀地区	22	小山田地区	23,	土尺地区	24.	成扁地区	25,	浮田地区
26,	谷内地区	27.	田瀬地区	28,	他市町村(市町村名				)

問10 関9の(1)または(2)で「3.4」(パート・アルバイト等で鉄労している)に〇をつけた方にうか がいます。(⇒該当しない方は、間11へお進みください。)

フルタイムへの転換希望について、当てはまる番号1つに〇をつけてください。

#### (1) 母親

- 1. フルタイム(1週5日程度・1日日時間程度の就労)への転換局間があり、実現できる見込みがある
- 2、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の状態)への転換希望はあるが、実践できる見込みはない
- 3、パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを掲載
- 4、パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をかめて子育てや密事に専会したい

#### (2) 父親

- 1、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就物)への転販希望があり、実現できる見込みがある
- 2、フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転販希望はあるが、実現できる見込みはない。
- 3、バート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- 4、パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)を切めて子育て切察事に専念したい

問11 関9の(1)または(2)で「5 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6 これまで 就労したことがない」にOをつけた方にうかがいます。(回該当しおい方は、関12へ計選かください) 数券希望について、当てはまる番号・記号それぞれ1つにOをつけ、該当する口内には数字をご記入くだ さい。

#### (1) #82

- 1. 子育でや家事などに専意したい (就労の予定はない)
- 2、1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい
- 3、すぐにでも、もしくは1年以内に親労したい

→希望する航労形態

7.	フルタイム (1	週5日程	度・	1日8時間	程度の航労
4:	パートタイム、	アルバイ	卜等		
	一1週間たり		1	日為たり	□ □ manta

#### (2) 父親

- 1. 子育てや家事などに専急したい(就労の予定はない)
- 2、1年より先、一冊下の子どもが □□歳になったころに就労したい
- 3、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

一希望する飲労影照

ア・フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ、パートタイム、アルバイト等

→1満当たり □日 1日当たり □□時間

### N G

### 宛名のお子さんの病気の際の対応について

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはあり	りましたか。		<ol> <li>すどもの看護を理由に休みが亡れない。</li> <li>休配日報が足りないので休めない。</li> </ol>	2. 日営業7 4. その他	なので体めない (	1
. あった ⇒ 周12-1へ 2, なかった	⇒ 間13へ		宛名のお子さんの不定期の一時預かり	(宿泊を伴うも	らのを含む)等	の利用につ
2-1 閏12 で「1. あった」に〇をつけた方にうかがいます。宛名のお子 校を体んだ期間に、どのように対応しましたか。当てはまる番号すっ ご記入ください(半日程度の判応の場合も1日とカウントしてくださ	STICOをつけ、日教も		間 13 宛名のお子さんについて、病気による預かりは 用している事業はありますか、ある場合は、当			
対応の内容	日数		数も□内に数字でご記入ください。		115025	
1. 父親が仕事を休み子どもをみた	DO 8	⇒周12-2へ	利用している事業		日数 (年間)	
2. 母親が仕事を休み子どもをみた		J *****	1. ファミリー・サホート・センター		00 8	
3. (問居者を含む) 親族・如人に子どもをみてもらった	DD B	)	(地域住民が子どもを積かる事業)			
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた     納後児の確かり体験を利用した			<ol> <li>被問題蓋等事業;トワイライトステイ (児童器蓋施験等で休日・複問、子どもを保)</li> </ol>	着する(事業)	00 B	⇒間
A STORY STANDARD STANDARD	DD 8	⇒筒 1Z-4へ	3、ベビーシッターなどの看料の預かのサービ	44.4.4	00 8	
<ol> <li>ベビーシッターなどの有料の積かりサービスを利用した</li> <li>ファミリー・サボート・センターを利用した</li> </ol>		-7.5-7.5-7.00	4. その物(		00 8	
Harmon process of the control of the			5、利用していない			⇒ 周13-
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた     9. その他(     )			51, 1945 G C G 1841			
と思われましたか。当てはまる番号1つEOをつけ、利用したい 主でご記入ください。なお、病児・病後見のための事業等の利用( を表しているなど、病児・病後見のための事業等の利用(			3、事業の例に不安がある	\$E) t	<b>りよくない</b>	日子(記録時間・日)
字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用! 病にかかりつけ医の受診が必要となります。	には、一定の利用料が	かかり、利用	<ol> <li>利用料がかかる・高い</li> </ol>	など) た 6、利用料だ	がよくない かわからない	
<b>宇でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用</b>	には、一定の利用料が	かかり、利用	<ol> <li>利用料がかかる・高い</li> <li>自分が事業の対象者になるのかどうか</li> </ol>	など) た 6、利用料だ	<b>りよくない</b>	
字でご記入ください。なお、病児・病後見のための事業等の利用 親にかかりつけ医の受診が必要となります。 、できれば病児・病後児の預かり施設等を利用したいと思った ⇒	には、一定の利用料が	かかり、利用 3 へ 2-3 へ	<ol> <li>利用料がかかる・高い</li> </ol>	など) た 6、利用料だ	がよくない かわからない	かかからない
主でご記入ください。なお、病児・病後兄のための事業等の利用! 額にかかりつけ医の受験が必要となります。 、できれば病児・病後児の種かり施設等を利用したいと思った ⇒ 2. 利用したいとは思わなかった。 2. 割目2-2で「2. 利用したいと思わなかった」にOをつけた方に例いてはまる番号すべてにOをつけてください。 1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 2. 事業の質に	には、一定の利用料が	かかり、利用 3 へ Z-3 へ 連みください	<ul><li>5、利用料がかかる・高い</li><li>7、自分が事業の対象者になるのかどうか わからない</li></ul>	など) 7 6、利用料2 8、事業の利 ) 不定期の事業の利 7、利用希望がある	がよくない かわからない 利用力法(手続き) 用についてうかがい 5場合は、年間の必	<ul><li>がわからない</li><li>⇒ 間14-1 /</li><li>います。利用希望をご配表で記述</li></ul>
字でご記入ください。なお、病児・病後見のための事業等の利用 親にかかりつけ底の受験が必要となります。 1、できれば病児・病後児の預かり態度等を利用したいと思った ⇒ 2、利用したいとは思わなかった。 2、 割12-2 で「2、利用したいと思わなかった」にOをつけた方に倒い ではまる番号字ペエにOをつけてください。 1、 応児・病後児を他人にみてもらうのは不安 2、 事業の例にろ 3、 事業の利便性(立動や利用可能時間日数 4、 利用料がかる など)がよくない	には、一定の利用料が □□日 ⇒ 関1 ⇒ 関13へあ つます。そう思われる時 を安がある かる・高い	かかり、利用 3 へ Z-3 へ 連みください	5、利用料がかかる・高い 7、自分が事業の対象者になるのかどうか わからない 9、その他(  間14 私用、親の通牒、不定期の就労等の目的による について当てはまる番号・記号すべてにひきつ きい(利用したい日数の合計と、目的別の内閣	など) 7 6、利用料2 8、事業の利 ) 不定期の事業の利 7、利用希望がある	がよくない かわからない 利用力法(手続き) 用についてうかがい 5場合は、年間の必	<ul> <li>がわからない</li> <li>⇒ 関14-14</li> <li>います。利用希望</li> <li>優な日敷をご記。</li> <li>、)。なお事業</li> </ul>
主でご記入ください。なお、病児・病後見のための事業等の利用 線にかかりつけ医の受診が必要となります。 、できれば病児・病後児の預かり施設等を利用したいと思った ⇒ 2. 利用したいとは思わなかった。 2. 利用したいとは思わなかった。 2. 利用したいと思わなかった。 2. 可見・病後児を他人にみてもらうのは不安 2. 事業の質にする 3. 事業の利便性(立地や利用可能時間日数 4. 利用料がかななど)がよくない 6. 親が仕事を終	には、一定の利用料が □□日 ⇒ 関1 ⇒ 関13へあ つます。そう思われる時 を安がある かる・高い	かかり、利用 3 へ Z-3 へ 連みください	5、利用料がかかる・高い 7、自分が事業の対象者になるのかどうかわからない 9、その他( 間14 私用、親の連続、不定期の数労等の目的によるについて当てはまる番号・記号すべてに〇をつきい(利用したい日教の合計と、目的別の内談にあたっては、一定の利用料がかかります。 1、利用したい	など)だ 6、利用料な 8、事業の表 ) 不定期の事業の利 7、利用事業がある の日数を口内に数す	がよくない がわからない 同用方法(手続き) 用についてうかがら 場合は、年間のの ドでご配入ください 計 □□ 日	<ul> <li>ありがわからない</li> <li>⇒ 間14-1へ</li> <li>います。利用希望</li> <li>吸な日数をご記。</li> <li>、)。なお事業の</li> </ul>
主でご記入ください。なお、病見・病後見のための事業等の利用・ 歳にかかりつけ医の受診が必要となります。 でされば病児・病後児の顔かり施設等を利用したいと思った ⇒ 利用したいとは思わなかった。 ・ 間12-2で「2 利用したいと思わなかった」にOをつけた方に倒いてはまる番号すべてにOをつけてください。 ・ 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の程にも ・ 別用・病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の見にる ・ 別用・対なない 4、利用料がかな など)がよくない	には、一定の利用料が □□日 ⇒ 関1 ⇒ 関13へあ つます。そう思われる時 を安がある かる・高い	かかり、利用	5、利用料がかかる・高い 7、日分が事業の対象者になるのかどうかわからない 9、その他( 間14 新用、親の連携、不定期の数労等の目的によるについて当てはまる番号・記号すべてに〇をつきい(利用したい日数の合計と、目的別の内訳にあたっては、一定の利用料がかかります。	など)だ 6、利用料な 8、事業の表 ) 不定期の事業の利利 7、利用希望がある の日数を口内に数す 昨妹を含む)や親	がよくない がわからない 同用方法(手続き) 用についてうかがら 場合は、年間のの ドでご配入ください 計 □□ 日	⇒ 関14-1へ います。利用希望 要な日数をご記 、)。なお事業の
生でご記入ください。なお、病見・病後見のための事業等の利用 前にかかりつけ医の受診が必要となります。 できれば病児・病後児の積かり施設等を利用したいと思った ⇒ 利用したいとは思わなかった。  「○をつけた方に倒いてはまる番号すべてに○をつけてください。 「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の利益性 などしがよくない。 利用用料がかななど、 ・利用料がかななど、 ・利用料がかななど、 ・利用料がかななど、 ・利用料がかななど、 ・利用料がかななど、 ・利用料がかがは事を体入でみたい」と思われましたか、当てはまるのいずれかが仕事を体入でみたい」と思われましたか、当てはまる	には、一定の利用料が	できれば父母 問12-1の[3]	5、利用料がかかる・高い     7、自分が事業の対象者になるのかどうか わからない     9、その他(      間14 私用、駅の運転、不定期の就労等の目的による について当てはまる番号・記号すべてにOをつ さい(利用したい日数の合計と、目的別の内配 にあたっては、一定の利用料がかかります。     1、利用したい     ア、 私用(質物、子ども(凡彩)      7、私用(質物、子ども(凡彩)	など)が 6、利用料な 8、事業の素 ) 不定期の事業の利 7、利用希望がある の日数を口内に数す 計算を含む)や機 (目的)	がよくない がわからない 利用方法(手続き) 用についてうかがい が場合は、年間の必 ドでご記入ください 計 □□ 日	<ul> <li>ありがわからない</li> <li>⇒ 関14-1 へ</li> <li>います。利用希望を自動きご記。</li> <li>、) 。なお事業の</li> </ul>
字でご配入ください。なお、病見・病後見のための事業等の利用・ 親にかかりつけ医の受診が必要となります。 できれば病児・病後児の障かり施設等を利用したいと思った ⇒ 利用したいとは思わなかった。  3 間12-2で「2 利用したいと思わなかった」にOをつけた方に例いてはまる番号すべてにOをつけてください。 、病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の例にではまる番号すべてにOをつけてください。 、病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の例にであると)がよくない。 、利用料がわからない 6、被が仕事を必 その他 )	には、一定の利用料が	できれば父母 問12-1の[3]	5、利用料がかかる・高い 7、自分が事業の対象者になるのかどうか わからない 9、その他( 間14 私用、親の連続、不定期の就労等の目的による について当てはまる暴号・記号すべてに〇をつ さい(利用したい日数の合計と、目的別の内談 にあたっては、一定の利用料がかかります。  1、利用したい ア、私用(資物、子ども(兄弟) の思い事等)、リフレッシュ イ、 配場特殊、学校行事、子ど	など)が 6、利用料な 8、事業の素 ) 不定期の事業の利 7、利用希望がある の日数を口内に数す 計算を含む)や機 (目的)	がよくない がわからない 利用方法(手続き) 用についてうかがら 場合は、年間のあ ドでご記入ください 計 □□ 日	<ul> <li>ありがわからない</li> <li>⇒ 間14-1へ</li> <li>います。利用希望</li> <li>吸な日散きご記。</li> <li>、)。なお事業の</li> </ul>
でご記入ください。なお、病児・病後見のための事業等の利用にかかりつけ医の受診が必要となります。  されば病児・病後児の間かり施設等を利用したいと思った ⇒ 用したいとは思わなかった。  はまる番号すべてにOをつけてください。 は、病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の質に不 はまる番号すべてにOをつけてください。 は、病後児を他人にみてもらうのは不安 2、事業の質に不 はまる番号すべてにOをつけてください。 は、病後児を他人にみてもらうのは不安 4、利用料がかな は、病後児を他人にみてもらうのは不安 5、一般が仕事を終 にの がよくない 6、機が仕事を終 の他 5 0 0 1 0 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	には、一定の利用料が	できれば父母 問12-1の[3]	5、利用料がかかる・高い 7、日分が事業の対象者になるのかどうか わからない 9、その他( 間14 新用、親の連携、不定期の数労等の目的による について当てはまる番号・配号すべてに〇をつ さい(利用したい日数の合計と、目的別の内談 にあたっては、一定の利用料がかかります。  1、利用したい ア、 私用(買物、子ども(兄弟) の思い事等)、リフレッシュ イ、 配場経験、学校行事、子ど・ む)や親の連絡 専	など)が 6、利用料な 8、事業の素 ) 不定期の事業の利 7、利用希望がある の日数を口内に数す 計算を含む)や機 (目的)	がよくない がわからない 利用方法(手続き) 用についてうかがい が場合は、年間の必 ドでご記入ください 計 □□ 日	<ul> <li>がわからない</li> <li>⇒ 間14-1・</li> <li>います。利用希望を日敷をご記載な日敷をご記載なり。</li> </ul>

2. 利用する必要はない

間 12-5 間 12-5 で 「2 休んでみることは非常に難しい」にOをつけた方にうかがいます。そう思われる暇由に

_	_
h	΄.
4	Š

80 14-1	問 14 で「1. 利用したい」	に〇をつけた方にうか	がいます。	間14の目的	でお子さんを	預ける場合。
T.	足のいずれの事業系統が	望ましいと思われますが	. STI22	る器長すべ	てにのをつけ	てください

地域住民等が子育で家庭等の近くの場所で預かる事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
 その他()

問 15 この1年間に、<u>保護者の刑事(記録書祭、保護者・客族の病気など)</u>により、宛名のお子さんを泊りがけて 家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。 あった場合は、その何応として当てはまる番号・記号すべてにOをつけ、それぞれの日数も□内に数字でご 記入ください。

- Mindolo	対応の内容	日敷 (年間)	
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	00 B	⇒ 問15-1へ
	イ 短期入所生活接助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子ども各保護する事業)	OO 18	1
	<ul><li>プログラング イ以外の確かり事業(ベビーシッターなどの有料の接がりサービス)を利用した</li></ul>	□□ 18	⇒ 問16へ
	エ 仕方なく子どもを問行させた	□□ :e	- 1 2000
	オ. 仕方なく子どもだけで留守冊をさせた	□□ æ	***
	カ、その他 ( )	□□ '8	
2. なかった			7)

間 15-1 間 15 で 「1. あった コア. (知過者を含む) 職務・知人にみてもらった」に〇をつけた方にうかがいます。その場合の問題度はどの程度でしたか。当てはまる義号1つに〇をつけてください。

1, 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではな
-----------------------------------

### 宛名のお子さんの放課後の過ごし方について

問 16 宛名のお子さんについて、現在、旅港後(平日の小学校終了後)の時間をどのように通ごしていますか。当 てはまる番号<u>すべてに</u>○をつけ、それぞれ週当たりの日数を<u>数字でご記入</u>ください。また、「学童クラブ」 の場合には、利用している時間も□内に<u>数字でご記入</u>ください。時間は24時間線でご記入ください。 (例) 1 1 8時

「学室クラブ」・学童保育などとも呼ばれています。保護者が就労等により観問家庭にいない場合な どに、施得員の下、子どもの生活の傷を提供するものです。 甲葉の利用にあたって は、一定の利用料がかかります。

1, 自官	73		B<5W
2. 祖父母若中友人·知人名	週		B<641
<ol> <li>部ハ事、スポーツ少年団 (ピアノ教室、サッカークラブ、学問題など)</li> </ol>	週		B <sn< td=""></sn<>
4、放課後子ども教業 ※	79		B<5W
5、学童クラブ [学量保育]	23		B<511
		_	- 下校時から ロロ時まで
6, ファミリー・サボート・センター		775/5/5/5	B<641
7、その他(地域の活動、公園など)	23		B<50

※ 「波涛要子ども概要:・・・・ 声間の内々の組力を同て、返走地に小学校などで学習・スポーツ・文化表表活動などを体験 する負担です。保護者の延治の有無に採わらず、すべての小学主が利用できます。接着市では、内川日小学校、能ケ森 小学校の2学校に設置しています。

**間 16-1 <u>間 16 で「6、学童クラブ」に</u>〇をつけたカにうかがいます。学童クラブを利用している主な理由と** して当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 子育でをしている方が現在就然	している	
2. 子育て(教育を含む)をしてい	る方が修族・親族などを介護している	
3、子育で(教育を含む)をしてい	る方が病気や薄がいがある	
4. その他 (		3

間 16-2 間 16 で「5. 学童クラブ」以外にOをつけた方にうかがいます。学童クラブを利用していない現由 は何ですか。現由として当てはまる番号すべてにOをつけてください。

- 1. (お子さんの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない
- 2、お子さんの祖父母や賴威の人がみている
- 3、近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4、利用したいが、学室クラブに空きがない
- 5、利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6、利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7、利用したいが、事業の質や場所など、妨碍できる事業がない
- 8, その他(

Ξ		
N		٠
ľ	`	ı
١.	•	•
^	7	٦
L	J	1

2. 祖父母若や友人・知人若	<b>⋣</b> □ B<644
<ol> <li>路い事、スポーツ少年間</li> </ol>	□ B<6N
(ピアノ教室、サッカークラブ、学習差など	9
4、 放尿後子ども教室	週 日 日<50
5. 学前クラブ (学量保育)	週 🗆 8<60
	→ 下校時から □□時まで
5. ファミリー・サボート・センター	週 🗆 8<60
7. その他 (助城の活動、公園など)	週 口 8<60
) 土曜日	に24時間制で <u>数字でご記入</u> ください。
	に24時間制で <u>数字でご記入</u> ください。
) 土曜日	
	□ 利用したい帰職等
) 土曜日 1、69年(1~3年生)の間は利用したい	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
) 土曜日 1、低学年(1~3年生)の図は和用したい 2、高学年(4~6年生)になっても利用したい	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
) 土曜日 1、低学年(1~3年生)の図は和用したい 2、高学年(4~6年生)になっても利用したい	□□帰から□□帰まで
) 土曜日 1、69年(1~3年生)の肉は利用したい 2、高学年(4~6年生)になっても利用したい 3、利用する必要はない	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
) 土曜日 1、69年(1~3年生)の間は利用したい 2、高学年(4~6年生)になっても利用したい 3、利用する必要はない 1) 日曜・祝日	□□ 和用したい機関等 □□ 開から □□ 開まで    利用したい時間帯

間17 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら(お子さんが4年生の方は、現在から6

188

1, 自官

※調在お持ちのイメージでお答えください。

年生までの間)、数課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当 ではまる番号すべて近〇をつけ、それぞれの選当たり日数を数字でご記入ください。また、「学輩クラブ」 の場合には利用を希望する時間も囗内に数字でご記入ください。時間は、2 4時間料でご記入ください。(例)

₩ D B<5W

### 花巻市の子ども・子育て支援の事業について

ここでは、子育てについての相談など、花巻市の子ども・子育て支援に関する事業の参考とするため、以下の設問にお答えください。

限20 宛名のお子さんの子育で(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる書号1つに〇をつけてください。

-							_
	1. いる/ある	$\Rightarrow$	間 20-1 へ	2. いない/ない	=>	問21へ	

問 20-1 問 20 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、準(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1、祖父母等の義族	2. 友人协知人
3. 近所の人	4. 保健所・保健センター
5. 小学校教論	6、学室クラブ指標員
7、民生委員・完重委員	8、かかりつけの医師
9, 市の子育て関連担当窓口	10、その他(

**職**(1) 宛名のお子さんの子育で(教育を含む)について、行政の窓口で相談する場合、どのようなことを相談した いと思いますが、当てはまる番号すべてに〇をつけてください。

1. 健康	2.	しつけ	з.	食事	4.	学問	5.	迎鼓	
6、典達や障がい	7.	指用	8.	子育て環境					
9. その他(									. )

**微22 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。** 

ない。これらどくしょうか。 こ日間にお暮らくだらい。	
	- 1

問23 間16 や間17 で示した故関後のお子さんの過ごす場所のほかに、故康後や土曜・休日にお子さんの居場所が必要と思いますか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

こと思う ⇒ 間23-1へ	2、必要だと思わない
---------------	------------

間 23-1 間 23 で「1」必要だと思う」にOをつけた方にうかがいます。

放課後や土曜・休日にお子さんの風傷所を設ける場合、その困場所で必要と考える活動はどのようなことですか。当てはまる書号すべてに〇をつけてください。

1. 学班	2. 読書	3. 遊び	4. 連動	
5. その他(			1	

5, わからない

てはまるものにOをつけてください。	します。現在利用されているサービスはあります
1、放除後等デイサービス等の通所施給利用	
2、入所施設利用	
3. その他のサービス料用(資体的なサービス名:	3
4. 利用していない	
	。たい子育て支援の事業はありますか。当てはま
すべてにOをつけてください。 1、子どもの原場所の提供事業	
すべてにOをつけてください。	一時的に預かる事業
すべてにOをつけてください。 1、子どちの居場所の提供事業	一時的に随かる事業

間 25 花巻市の子育ての環境や支援について満足していますか。当てはまる番号に<u>1つに</u>〇をつけてくださ い。

- 問 26 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に ご記入ください。



講査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成 30 年度 花巻市子ども・子育て支援事業ニーズ調査集計分析業務報告書

平成31年3月

花巻市教育委員会教育部こども課